

令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方

1 社会情勢の変化と基本的な考え方

近年、少子化や人生100年時代の到来、社会全体のデジタル化、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活様式の変化など、社会環境がめまぐるしく変化し、人々の行動・意識・価値観も変容する中、住民同士のつながりの希薄化が進み、個人に多様な能力が必要とされることから、社会の変化に対応できる人間力を高める多様な学習機会の提供や学習を通して人々のつながりを深める生涯学習環境の充実が求められている。

生涯学習センターの事業運営は、令和5年度2月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、取り組んでいく。計画の策定2年目となる令和6年度については、「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方」を基本としながら、令和5年度上半期の実績等を踏まえた新規事業や見直し事業に取り組み、内容の充実を図っていく。

(参考) 生涯学習センターで取り組む事業

継続	新規	見直し
<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド型の講座の実施 企業等との連携 学校や家庭ではできない体験学習等の実施 地域や外国人、親子等、参加者間の交流の場の提供 孤立しがちな子育て世代のコミュニティ形成 地域課題の共有、地域への興味・関心や郷土愛の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> リピーターでなく、新規の参加 働き世代やプレシニア世代の参加 SNSの活用など、若い世代へ向けた地域の魅力発信 講座実施後のフォローアップ（スマホ講座におけるデジタルサービスの利活用など） SNS等、デジタル技術を活用した講座の周知及び参加者募集 	<ul style="list-style-type: none"> 内容を固定せず、参加者の状況やレベルに見合った講座の実施 土日開催や託児の充実など、開催日時等の工夫 男女ともに参加しやすい環境の整備 サークル団体の活動に結びつく参加型体験型の講座の実施

2 第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画について（令和5年度～令和9年度までの5か年計画）

基本理念

学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍できる社会を実現する。

基本目標Ⅰ	基本目標Ⅱ	基本目標Ⅲ	基本目標Ⅳ
一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。	地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。	多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。	学習や学んだ成果を生かした活動に継続的に取り組める環境が整っています。

【事業全般で意識していく後期計画の特徴】



デジタルも活用して誰もが分け隔てなく参加できる、学べる環境づくり



学びの礎となる読書を推進し、市民の豊かな人間性を培うとともに課題解決力を向上(課題解決のサポートも含む)



大学や企業の協力なしではできない高度(または専門的)な学習及び様々な活動へとつなげる人材育成

3 生涯学習センター事業運営における重点項目について

「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方」を基本とした下記の4点の方向性を重点的に取り組んでいく。令和5年度上半期の実績等を踏まえた継続・新規・見直しの視点から、第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画の基本理念の実現に向けて、内容の充実を図る。

(1) 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

一人ひとりの主体的な学習活動を支援し、個人の成長や自己実現を促す講座等を開催する。

- ・「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座の開催
- ・パソコンやスマホ教室、防災に対応した講座、コロナ禍における開催方法を工夫した講座など、「社会的課題に対応した講座」の開催
- ・ZoomやYouTube等のデジタル技術を活用したハイブリッド型の講座等の開催や学習の推進
- ・参加者の状況やレベルに見合った講座の実施や、講座実施後のフォローアップ
- ・SNSやQRコード、電子申請システム等、デジタル技術を活用した若い世代への講座の情報発信や参加者募集

【参考】後期計画の基本指標

主体的に学習に取り組んでいる市民の割合

令和3年度 23.9% → (令和9年度 50.0%)

(2) 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進

家庭の教育力向上を促す講座の開催や、家庭・学校・地域が連携する、つながるきっかけづくりなど、地域全体で子どもを育む教育活動の支援に取り組む。

- ・子育て世代の保護者の気づきや悩み解決、親子の交流や仲間づくり、ネットワークづくりを促す参加交流型や体験学習型講座等の開催
- ・土日や平日夜の講座の開催など共働き世代等でも参加しやすい環境づくり
- ・魅力ある学校づくり地域協議会等の教育活動を支援する団体への支援や、学校・地域・企業等と連携して子どもの成長を支える教育活動を推進する子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

【参考】後期計画の基本指標

地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者数及び児童・生徒数

令和3年度 81,171人 → (令和9年度 170,000人)

〈内訳〉活動者数 (令和3年度)20,555人 → (令和9年度)30,000人

児童・生徒数(令和3年度)60,616人 → (令和9年度)140,000人

(3) 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

地域や社会を支える人材の育成に向けて、地域理解を促す講座や学んだ人が様々な活動主体とつながる学習機会を提供する。

- ・「地域学講座」など、地域課題を共有し、地域に対する理解や愛着を育む講座の開催
- ・SNSやデジタル技術の活用による若い世代へ向けた地域の魅力発信や「仲間づくり」の促進
- ・NPO・大学・企業等と連携し、専門的な知識や技術を獲得することができる学習機会や情報の提供
- ・サークル団体の活動に結びつく参加型体験型の講座の実施

【参考】後期計画の基本指標

地域に貢献する活動に参加している市民の割合

令和3年度 29.5% → (令和9年度 35.0%)

(4) 持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化

市民が学習や活動をしやすい環境整備とともに、学習相談、情報提供等の機能の充実を図るなど、地域拠点としての基盤の強化に取り組む。

- ・生涯学習団体や教育活動を行う団体等への施設貸出など、場の提供による活動の支援
- ・生涯学習情報提供システム(マナビス)の積極的な情報発信など、学習者や活動したい人を様々な活動へ結びつける学習相談支援サービスの充実
- ・幅広い年代の地域住民等が「交流・活動する場」として、施設の環境整備や役割の周知

【参考】後期計画の基本指標

学習や活動を行う環境に満足している市民の割合

令和3年度 - % ➡ (令和9年度 50.0%)

(現時点での実績値がないため、今後、市民意識調査で確認し、目標値を決定)

4 生涯学習センターの役割

- ・市民の最も身近な地域の学習と活動の拠点として、SDGs, 市民協働, 文化振興, 男女共同参画, 福祉, 国際化など, 地域教育に関わる本市の多様な分野の計画も踏まえた, 多様な学習機会の提供を通じた, 意識醸成の推進
(各分野の講座を開催するわけではなくとも, アイスブレイクで各分野の意識醸成を取り入れる, 各分野の啓発チラシを配布する等も含む)
- ・地域特性や地域住民のニーズなどを踏まえつつ, 個人の要望と社会の要請のバランスに配慮した講座の実施や, 学びを通して人々がつながり, 学び合うことができる機会の提供
- ・NPO・大学・企業等と積極的に連携し, 学習の分野を広げるとともに, その専門的なスキルやノウハウを活かして個人の成長を促す講座の実施
- ・土日や平日夜など講座等の開催日時の検討や託児の充実, SNSや動画配信などの実施方法を工夫した講座の実施, QRコードや電子申請システム等を活用した情報発信など, デジタル技術を活用した幅広い年代の参加の促進
- ・地域活動団体と協働・共催した講座や文化祭・地域のイベントの開催など, 学んだ人が意欲的・主体的に地域とつながる事業の実施
- ・地域住民や多様な団体が交流・活動しながらつながる場として, 施設の活用を促す事業の推進

(協議事項(1)) 令和5年度生涯学習センター事業実績 及び
令和6年度生涯学習センター事業計画(案) について

令和5年度生涯学習センター事業実施報告書 (令和6年1月31日現在)

目次

中央生涯学習センター	1
東生涯学習センター	3
西生涯学習センター	5
南生涯学習センター	7
北生涯学習センター	9
平石生涯学習センター	11
清原生涯学習センター	13
横川生涯学習センター	15
瑞穂野生涯学習センター	17
城山生涯学習センター	19
国本生涯学習センター	21
富屋生涯学習センター	23
豊郷生涯学習センター	25
篠井生涯学習センター	27
姿川生涯学習センター	29
雀宮生涯学習センター	31
上河内生涯学習センター	33
河内生涯学習センター	35

令和5年度 中央生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。

(ア) 変化する社会情勢や課題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。

(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。

(ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。

(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を養育し、その育成や活用を努める。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器への活用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	未定	2回	【実施日】 令和 6 年 9 月 6 日 ～ 令和 6 年 2 月 16 日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 36 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。 (2回中、1回開催) スマホ講座の受講者の幅広い周知と、公共予約システムとの併せた活用を進めていく。	【次年度の方向性】 公共施設利用システムの利用者が今後さらに増えることにより、スマホなどデジタル技術を活用した講座の必要性があることから、新規にデジタル機器への使用や利用技術の向上を目指した講座を開催する。
	◎金曜まなび塾	行政等が実施する活動や施策についての学習に加え、市民の生活課題になっている事柄や社会情勢の変化に対応した内容の拡充、企業等と連携した講座を企画する。また中央生涯学習センターの立地を活かし、地域の伝統・文化・モブづくり・人づくりを学ぶことで、受講生の知識・識見の向上につなげるに生きる価値観向上のきっかけとする。	市内在住・在勤の一般成人	7～12月	10回	【実施日】 令和 5 年 7 月 14 日 ～ 令和 5 年 12 月 1 日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 207 人 0 人 60代	【今年度の実施状況】 「知られざる・知ってほしい宇都宮の魅力」を中心に据えて構成した学習講座であり、参加者からは、概ね好評であった。	【次年度の方向性】 成人向けの当センター看板講座であり、毎年定員を超える応募がある。R4年度のアンケート集計結果から当市が推進している宇都宮の特徴を中心に、宇都宮中心街にある当センターの立地を活かした地域の話題も織り込みながら継続して開催する。また、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことから、当年度中に徐々に定員の拡充をはかるほか、昨年同様、午後の貸館に合わせて正午までには完全に撤収し、円滑に運営するよう努める。
	地域連携特別講座	ICTの活用も図りながら、多様化する地域課題の解決や情報共有の機会をさらに幅を広げ、学校や企業・NPOなどと連携できる企画をする。	市内在住・在勤の一般成人	未定	1回	【実施日】 令和 6 年 3 月 5 日 ～ 令和 6 年 3 月 5 日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 - 人 - 人 -	【今年度の実施状況】 令和6年3月以降実施予定	【次年度の方向性】 令和6年3月以降実施の実施を踏まえて決定する。
	修道館アカデミー【Vスタッフ】	人材かがやきセンターに登録しているスタッフに活動の場を提供し、市民目線の講座の企画を行う。内容については、多様化する市民ニーズに対応するための企画を充実させる。	市内在住・在勤の成人	6～7月	4回	【実施日】 令和 5 年 6 月 7 日 ～ 令和 5 年 6 月 28 日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 79 人 0 人 60, 70	【今年度の実施状況】 Vスタッフによる企画立案及び運営を基本としていたが、今年度の企画内容は、Vスタッフによる運営が難しいことから、センター職員が文人墨客をテーマに再構築し、実施した。（与謝野蕪村を中心としたテーマを予定していたが、松尾芭蕉や小倉百人一首などのテーマに再構築した。）充実した講師陣であったことから、参加者からも概ね好評であった。	【次年度の方向性】 次年度の企画については、速やかに精査及び確認を行い、対応する。また、単一のテーマでも対応可能な講座であることから、常に観覧をもって対応し、継続して開催する。
	いきいきシニアアップ講座	人生100年時代を迎え、より良い豊かなセカンドライフを送れるよう、学びあう人の輪の構築に努める。超高齢社会に受講生が生きがいを保ちながら生活するための素材・案地として、健康づくりや趣味・教養に幅広く興味を持つ学習機会を提供する。	市内在住の65歳以上の一般成人	1～2月	5回	【実施日】 令和 6 年 2 月 7 日 ～ 令和 6 年 3 月 6 日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 150 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 令和6年2月以降実施予定 (本年の当講座は伝統と現代を織り交ぜた構成とした。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降実施の実施を踏まえて決定する。 (高齢者に寄り添ったデジタル技術を活用した講座を展開し、また同世代の生涯学習団体の活動と講座を結び付け生涯学習への参加を促す。)
名作・名画鑑賞会	郷土に関わる題材や社会の関心が高い課題を捉えた作品を展覧・上映することで、当センターを利用したことのない幅広い市民に足を運んでもらえるきっかけづくりとする。	市内在住者	未定	1回	【実施日】 令和 - 年 - 月 - 日 ～ 令和 - 年 - 月 - 日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 - 人 - 人 -	【今年度の実施状況】 参加者数が少ないことや、市民が動画配信サービス等、スマホを利用して映画を鑑賞する機会が増えていることから、スマホの基本操作を学ぶ機会の提供を目的に、スマホ基礎講座に統合した。	【次年度の方向性】 左記のとおり、廃止とする。	
育② 活家 家庭の 教育 推進 支援の 充実と 学校や 地域と 連携・ 協力した 教	子育て広場	子育て世代の悩みやニーズを捉えた講座を実施するため、子育て相談員の配置や、親子同士の交流の場を拡充し、気軽に情報が得られる環境を整え、家庭教育の問題解決や支援に繋げる。また、ICTの活用も取り入れる企画を立案し、在宅でも気軽に受講できる機会をつくる。月に1度読み聞かせボランティアが実施している「おはなしひろば」の周知をするとともに、年齢層に合う読書の機会を設ける。	乳幼児（0～6歳）とその保護者	5～11月	5回	【実施日】 令和 5 年 5 月 17 日 ～ 令和 5 年 11 月 15 日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 宇都宮ビジネス電子専門学校 幼児保育ビジネス科 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 216 人 108 人 30代	【今年度の実施状況】 音楽教室や、フィットネス協会などから、受講生の満足度が高い講師を依頼したことで、より充実した内容で開催することが出来た。今年度は身体を動かす講座が少なかったことから、来年度はバランスを考慮し、様々な内容を組み立て、実施する。	【次年度の方向性】 一定数のニーズがあったことや、孤立しがちな未就学児保護者のコミュニティの形成の一助となることから、今後も継続して開催する。
	パパもママもはくはく子育て	子育て情報交換の場の提供、父親に参加してもらい、母親の育児ストレス軽減やリフレッシュできるような機会を提供するプログラムとなるよう、更なる内容の充実を努める。	乳幼児（0～6歳）とその保護者	6～12月	2回	【実施日】 令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 5 年 12 月 3 日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 宇都宮ビジネス電子専門学校 幼児保育ビジネス科 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 121 人 50 人 30代	【今年度の実施状況】 前半プログラムは、機材搬入等大がかりな準備が必要なことから、前日からの部屋の確保や、講師との綿密な連絡調整など、事前準備に力を入れ、円滑に実施することができた。後半プログラムは、父親と子どもがリトミック、母親が別室でリラクゼーションを実施したが、母親向けの講座の受付を1人で行ったことから、身動きが取れなくなり、気が配りが欠けてしまった。講座開始時だけでも補助者についても父親向けの講座の担当者と連絡を取れるようにしておくことが必要なことから、今後は対応していく。	【次年度の方向性】 父親が参加することで、母親の育児ストレスの軽減やリフレッシュする機会を提供していくため、今後も継続して開催する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針		
携②・家庭協力教育だ支援育の活充実の推学校や地域と連	◎親子のワーク体験講座	子どもたちの社会性の向上や生きる力の実践スキルを養うため、日常生活で体験できない内容や体験の機会を盛り込むとともに、参加者同士の交流の更なる促進を図り、親子の絆を深めていけるよう努める。 また、図書室と連携し、本への関心を持つきっかけとなるよう、資料や情報の提供を図る。	市内在住の小学生とその保護者	7～8月	5回	【実施日】 令和5年7月8日 ～ 令和5年8月19日			【今年度の実施状況】 昨年度はアウトドアや工作等が好評だったことから、今年度も同じ講師を内容を変えて依頼し、参加者からの満足度が高かった。参加人数が少なくなりましたが、「タップダン」など新しい企画も取り入れるなど、内容を工夫して実施した。		【次年度の方向性】 当センター唯一の小学生の親子向け講座であり、夏休み期間を利用した家庭教育の場や、普段家庭では出来ない体験を提供する必要があるため、継続して開催する。		
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくりの地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組みの地域の活動や学校との交流事業などの支援を行っている。	地域団体	通年	随時	【今年度の実施状況】 令和5年度活動事例 児童の登下校時の見守り活動や地域環境点検への支援・協力を行った。			【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組みの地域の活動支援を行った。		【次年度の方向性】 地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組みの地域の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。		
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域応援講座	地域の持つ魅力や人材を探るきっかけづくりに関連する企画や、地域の課題解決や活性化に資する内容を取り入れることで、地域づくりの醸成に繋げる。また、国際交流の理解に繋げられる出前講座や地域企業と連携した講座を企画する。	各地域在住者	未定	各2回	【実施日】 令和5年5月19日 ～ 令和6年2月5日			【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(14回中、12回開催)		【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。		
	西原地域講座【CKP】	地域内の魅力的な資源の掘り起こしや、歴史についての学び、地域が抱える課題の気づきや解決をめざし、地域住民自らの学びの場として開催する。	地域在住の成人	未定	1回	【実施日】 令和5年10月18日 ～ 令和5年10月18日			【今年度の実施状況】 参加者について、予定していた人数より少ない参加者だったため、今後は広報を早めに進め、より多くの参加者を募るよう努める。		【次年度の方向性】 地域資源の掘り起こしや、地域課題解決など、地域との共生を今後も続けていくため、地域での講座として考慮しながら、継続して開催する。		
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施回数 各地域の取り組み	29人 2回 28人 2回 26人 2回	0人 0回 0回	不明 不明 不明	【今年度の実施状況】 一条・旭中校区において、会場を変更した。参加者からは高評価であったが、これまでと違い、会場が広いことによる不具合が生じたことから、今後は、レイアウトを見直す必要がある。		【次年度の方向性】 各中学校区会場への誘導対応者の配置や人数増の確認をすることで、スムーズな会場内を実現する。	
④強化的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基盤	中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数 のべ来場者数 特色	40団体 600人		・センター利用団体だけではなく、地域活動団体も参加 ・同時期に行われる社会実験(まちかど広場活用)とのコラボレーションの実施	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症が明けたとにより、制限の無い文化祭を実施したことで、参加者・来場者同士の交流が深まった。		【次年度の方向性】 まちかど広場(ワークショップや音楽演奏など、まちなかのくつろぎスペースとしての空間)も活用した文化祭を実施することで、参加者・来場者の双方が交流するとともに、学習成果を発表するなど、活動の場を提供していく。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	【今年度の実施状況】 令和5年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供した。			【今年度の実施状況】 ・生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行ったほか、生涯学習サークル団体に、活動成果の発表の場を提供した。		【次年度の方向性】 当センターにおける民間学習事業者のチラシやポスターの掲示など、生涯学習情報の提供や、当センターで活動する生涯学習サークル団体や地域団体の活動成果の発表の場としての無料展示スペースの提供、PRの定期的な更新などを今後も継続して実施し、市民ニーズに的確に対応していく。		
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	【今年度の実施状況】 令和5年度実績 内訳(件) 来館 電話 FAX Eメール その他 合計 掲載問い合わせ			15 25 0 3 0 43 43	【今年度の実施状況】 意欲促進に繋がるサークル団体の紹介やマンパシの積極的な周知など、相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。		【次年度の方向性】 今後も継続して、相談者への登録団体の学習活動やマンパシの団体更新情報の周知など、活動意欲に繋がる情報提供や発信を積極的に行うことで、相談者のニーズに適切に対応し、学習相談や悩みの解決を支援していく。		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数		参加者数	
	講座数	実施回数	講座	人
子育て対象事業	2	7回	337	人
シニア対象事業	2	9回	229	人
成人対象事業	5	28回	741	人
青少年対象事業	1	5回	125	人
計	10	49回	1,432	人

令和5年度 東生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

東部地区における生涯学習の拠点として地域住民の学習活動を支援するとともに、社会教育やまちづくりなどを通して、地域に学習成果を還元する。

- (ア) 複雑かつ多様化する社会環境や市民ニーズに対応するため、地域住民が生活課題の解決や学ぶ楽しさを実感できるような魅力ある事業を展開する。
- (イ) 子育て世代を支援するため、学校や地域と連携しながら、親同士の交流機会の充実や、仲間づくりのネットワークが構築できるような事業を推進する。
- (ウ) 市民の学んだ成果を活動につなげるため、地域の各種団体やボランティア団体等と積極的に連携しながら、市民が地域で活動する機会や場の提供を行い、地域力の向上を目指す事業を推進する。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器への使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	未定	2回	【実施日】 令和5年9月29日 ～ 令和6年2月5日			【今年度の実施状況】 【実施日】 令和6年1月現在、開催途中。 (2回中、1回開催)	【次年度の方向性】 令和6年1月以降の実施を踏まえて決定する。
					【連携実績】 連携団体数 -			【今年度の実施状況】 スマホの基礎操作を学ぶことができ、高齢者などからの需要はあるが、みんなでまちづくり課主導の事業であることから、年間を通して周知などの取り組みを実施できよう、連絡調整を行っていく。	【次年度の方向性】 市民ニーズや講座を主導しているみんなでまちづくり課の意向を確認しながら事業を進めていく。	
					【参加者数】 合計 8人 うち子ども -人 主な世代 70代					
					【連携実績】 連携団体等名称【企業・学校含む】 -					
					【参加者数】 合計 8人 うち子ども -人 主な世代 70代					
	ふれあい塾【Vスタッフ】	様々な課題についてグループワークを行いながら考えるとともに、受講生同士の交流を深める。	市内在住・在勤の20歳以上の方	5～12月	8回	【実施日】 令和5年5月16日 ～ 令和5年12月19日			【今年度の実施状況】 面白実験教室、大谷石の文化、打楽器体験など、幅広い分野の教養を身に着ける内容としたが、グループ形式となるよう会場設営を行ったほか、講義・体験型学習の回をできる限り取り入れるなど、変化をつけるよう工夫して実施した。	【次年度の方向性】 成人が幅広い分野の教養を身につけ、豊かな人生を送るために開設する。従来行われていた「聞く・見る学習の場」から「聴く・考える・話し合う学習の場」を目指し、継続して開催する。
						【連携実績】 連携団体数 -			【今年度の実施状況】 自己肯定感やウォーキングなど、様々な分野の内容を実施した。コロナ禍から日常が戻り、高齢者にとって、生きがいづくり、仲間づくり、知識を得る場として、今年度も人気の講座であったことから、今後もなるべく多くの新規の応募者を受け入れていく。	【次年度の方向性】 孤立する高齢者が顕在化していることから、その人間関係を構築できる講座として継続して開催する。
				【参加者数】 合計 493人 うち子ども 0人 主な世代 50～90						
				【連携実績】 連携団体等名称【企業・学校含む】 -						
				【参加者数】 合計 185人 うち子ども 0人 主な世代 70代						
	★おとなの学び講座	現在を生き抜く中で起こっているさまざまな課題を取り上げ、それらの問題を掘り下げて理解する中で、解決するための考え方やノウハウを学んでいく。	市内在住・在勤の18歳以上の方	11月	2回	【実施日】 令和5年11月18日 ～ 令和5年11月25日			【今年度の実施状況】 世相を反映したさまざまな地域の問題を学ぶ新規講座として開催した。今年度は『子どもの居場所』に地域でどう寄り添うか学び、講座の内容としては参加者の満足度が高い講座となったが、少人数に苦戦したことから、次年度の周知の仕方を検討する。	【次年度の方向性】 地域の課題を深く学ぶ講座として定着させていくことを目指しているため、継続して開催する。
						【連携実績】 連携団体数 2			【今年度の実施状況】 令和6年2月以降実施予定 (実技を実施したことから、仕事や子育てに忙しく暮らす働き世代が、運動を通して健康の大切さを見直すきっかけ作りとなり、参加者からは好評だった。日時については連休中の開催を控え、次年度からは金曜夜間の開催とする。)	【次年度の方向性】 （社会人が生き方や働き方を考え直す講座であることから、継続しての開催を検討している。）
				【参加者数】 合計 29人 うち子ども 0人 主な世代 50代						
				【連携実績】 連携団体等名称【企業・学校含む】 まちびア						
				【参加者数】 合計 29人 うち子ども 0人 主な世代 50代						
	働き世代の土曜講座	仕事や子育てで忙しい世代を対象に、現代の課題や自己実現に取り組み活躍している人を講師として講話やワークショップなどを行い、これからの生き方や働き方について一度立ち止まって考える機会を提供する。	市内在住の18～おおよそ55歳くらいまでの方	1月～2月	2回	【実施日】 令和6年2月10日 ～ 令和6年2月24日			【今年度の実施状況】 令和6年2月以降実施予定 (実技を実施したことから、仕事や子育てに忙しく暮らす働き世代が、運動を通して健康の大切さを見直すきっかけ作りとなり、参加者からは好評だった。日時については連休中の開催を控え、次年度からは金曜夜間の開催とする。)	【次年度の方向性】 （社会人が生き方や働き方を考え直す講座であることから、継続しての開催を検討している。）
						【連携実績】 連携団体数 -			【今年度の実施状況】 コロナ禍以前の集客人数に戻したことから、賑やかな講座となった。親子ともに広いホールで思い切り身体を動かしたため、満足したとの声が多く、参加者からは好評だった。	【次年度の方向性】 親子のスキンシップや親同士の交流など、家庭教育を支援する講座であるため、継続して開催する。
				【参加者数】 合計 -人 うち子ども -人 主な世代 40代						
				【連携実績】 連携団体等名称【企業・学校含む】 -						
				【参加者数】 合計 112人 うち子ども 56人 主な世代 40代						
	親子でDoing	様々な体験を通して、親子の絆を深める。地域人材の協力を得て地域教育力の向上を目指す。	市内在住の小学3、4年生とその保護者	7～8月	3回	【実施日】 令和5年7月1日 ～ 令和5年7月29日			【今年度の実施状況】 コロナ禍以前の集客人数に戻したことから、賑やかな講座となった。親子ともに広いホールで思い切り身体を動かしたため、満足したとの声が多く、好評だった。課題としては、外で遊べない梅雨～猛暑時期の講座をもっと増やしてほしいとの声があることから、来年度は開催時期の検討が必要である。	【次年度の方向性】 親子のスキンシップや親同士の交流など家庭教育を支援する講座であるため継続とする。
						【連携実績】 連携団体数 -			【今年度の実施状況】 何の規制もない久しぶりの夏休みに、参加者同士が、3日間、広い空間で友達と交流しながら、世界の国について学ぶことができた。参加者にいろいろな世界を学んでもらうため、多くの国の講師から学ぶ機会を構築したいと考えているが、日本語を話すことができる講師選定が難しいことから、検討していく。	【次年度の方向性】 国際理解の分野のサマースクールは長年実績があるほか、認知もされており、要望が高いことから、継続して開催する。
				【参加者数】 合計 415人 うち子ども 206人 主な世代 30～40						
				【連携実績】 連携団体等名称【企業・学校含む】 国際交流プラザ、宇大国際学部附属多文化共生センターHANDS						
				【参加者数】 合計 415人 うち子ども 206人 主な世代 30～40						
	すくすく子育て講座	季節の行事や体操・音楽鑑賞などを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、子育てについての知識や技術を学び、健やかな子育てができるよう支援する。また、参加者同士の交流をはかり仲間づくりを促す。	乳幼児・児童と保護者	5～12月	9回	【実施日】 令和5年5月11日 ～ 令和5年12月16日			【今年度の実施状況】 コロナ禍以前の集客人数に戻したことから、賑やかな講座となった。親子ともに広いホールで思い切り身体を動かしたため、満足したとの声が多く、好評だった。課題としては、外で遊べない梅雨～猛暑時期の講座をもっと増やしてほしいとの声があることから、来年度は開催時期の検討が必要である。	【次年度の方向性】 親子のスキンシップや親同士の交流など家庭教育を支援する講座であるため継続とする。
						【連携実績】 連携団体数 -			【今年度の実施状況】 何の規制もない久しぶりの夏休みに、参加者同士が、3日間、広い空間で友達と交流しながら、世界の国について学ぶことができた。参加者にいろいろな世界を学んでもらうため、多くの国の講師から学ぶ機会を構築したいと考えているが、日本語を話すことができる講師選定が難しいことから、検討していく。	【次年度の方向性】 国際理解の分野のサマースクールは長年実績があるほか、認知もされており、要望が高いことから、継続して開催する。
				【参加者数】 合計 415人 うち子ども 206人 主な世代 30～40						
				【連携実績】 連携団体等名称【企業・学校含む】 国際交流プラザ、宇大国際学部附属多文化共生センターHANDS						
				【参加者数】 合計 415人 うち子ども 206人 主な世代 30～40						
	◎子ども国際理解サマースクール	参加型の活動を通して、「協力・相互理解」などの力を養う。また、外国人と身近に接し、異文化に触れることにより、外国に目を向けるきっかけや国際理解の推進を図る。	市内在住の小学4～6年生	8月	3回	【実施日】 令和5年8月1日 ～ 令和5年8月3日			【今年度の実施状況】 何の規制もない久しぶりの夏休みに、参加者同士が、3日間、広い空間で友達と交流しながら、世界の国について学ぶことができた。参加者にいろいろな世界を学んでもらうため、多くの国の講師から学ぶ機会を構築したいと考えているが、日本語を話すことができる講師選定が難しいことから、検討していく。	【次年度の方向性】 国際理解の分野のサマースクールは長年実績があるほか、認知もされており、要望が高いことから、継続して開催する。
						【連携実績】 連携団体数 2			【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会などの地域団体のパンフレットやチラシを情報提供し、活動の周知を行った。	【次年度の方向性】 地域に根ざす多活ある教育力向上に取り組み団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。
				【参加者数】 合計 108人 うち子ども 108人 主な世代 10代						
				【連携実績】 連携団体等名称【企業・学校含む】 魅力ある学校づくり地域協議会などのパンフレットの配架、チラシの配布を行った。						
				【参加者数】 合計 108人 うち子ども 108人 主な世代 10代						
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動を支援する。	地域団体	通年	随時	【今年度の実施状況】 令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会などの地域団体のパンフレットやチラシを情報提供し、活動の周知を行った。	【次年度の方向性】 地域に根ざす多活ある教育力向上に取り組み団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針				
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	地域の宝、世界の宝 旅する画家 夫 松本哲男 を語る	地域と連携し、美術への造形を深め、居住する地域への誇りや愛着を持ち、地域の一員としての意識を醸成する。	市内在住で通勤通学している方	1月	1回	【実施日】 令和 6 年 1 月 21 日 ～ 令和 6 年 1 月 21 日			【今年度の実施状況】 地域が誇る歴史や文化、芸術を改めて再評価し共有する機会を得ることや、地域全体で文化を守り継承する意識を醸成することができた。	【次年度の方向性】 講座として連続性を持たせることは難しいものの、東生涯学習センター管轄エリア内で活躍した偉人や後世に伝えるべき文化、芸術などを定期的に取り上げ再評価することで、地域が誇る歴史や文化、伝統を大切に継承する意識付けを生生涯学習を通して取り組む必要性があるため、継続して開催する。				
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 地域の実施委員と連絡調整を密に図ることで、問題なくスムーズに実施する事が出来た。	【次年度の方向性】 今年度同様の形で行う。継続して実施委員等と連携を図り、新成人（二十歳）が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に開催する。			
④ 継続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の	東生涯学習センター文化祭	東生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体に学習成果発表の場を提供することにより、親睦を図り、仲間づくりを進め、さらに質の高い生涯学習活動を推進する。	東生涯学習センター登録団体及び一般（地域住民）	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 コロナ禍前の状態での開催することができた。4年ぶりの完全開催で、多くの来場者もあったほか、生涯学習団体が、日頃の活動を発表する事ができ、満足との声が多く聞かれた。	【次年度の方向性】 今後も継続して、今年度同様の形で行い、生涯学習団体の発表の場を提供するとともに、地域と連携し参加団体を増やしていく。				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・主催講座について、地域の大学教員や学生と連携して行い、地域教育力の向上を目指した。また、アンケートを行い実施を把握し、研修等で社会的関心の高い内容について、情報収集を行った。 ・生涯学習センター内に、チラシやポスターを掲示し情報を提供した。			【今年度の実施状況】 主催講座や文化祭のチラシを、所管8地区コミセンと地域の8小学校へ配架依頼し、地域への回覧も行った。	【次年度の方向性】 ・今後も引き続き、研修等に参加し生涯学習に関する情報を収集し、市民のニーズに対応していく。 ・今後も、生涯学習センター内に、チラシやポスターを掲示し情報を提供していく。				
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決のサポートなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。	【次年度の方向性】 今後も引き続き、相談者の立場に立ち、相談内容への的確、迅速な対応を心がけていく。					
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	お問い合わせ		
						20	12	0	0	0	32	29		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数			参加者数		
	講座数	実施回数				
子育て対象事業	2	講座	11	回	527	人
シニア対象事業	1	講座	2	回	8	人
成人対象事業	4	講座	20	回	857	人
青少年対象事業	1	講座	3	回	108	人
計	8	講座	36	回	1,500	人

令和5年度 西生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、生涯学習及び市民活動の拠点として、新型コロナウイルス感染症対策の動向に配慮しながら、オンライン等の活用も含めた多様な学習機会の提供や、地域コミュニティの強化に向けて、まちづくり活動を支援するとともに、ボランティアなど地域で活動する団体と連携も図りながら、学んだ成果を地域に還元できる機会の提供に努める。
 (ア) 「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座、「生活課題の解決」に資する講座を実施する。
 (イ) 地域の人々と子育て世代の親やその子どもたちとが交流する機会、次世代を担う青少年と子育て世代の親子が交流する機会、また子育て世代の親同士が交流する機会を充実させた「参加交流型講座」を学校や地域と連携を図りながら実施する。
 (ウ) 地域社会を支える人材育成や学習成果の活用促進を図るため、地域の魅力を再認識し愛着を育む講座や、学んだ成果を活かした、地域活動や交流の促進につながる講座を実施する。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【スタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域がやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要					令和5年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	未定	2回	【実施日】 令和5年11月30日 令和6年3月17日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 25人 0人 60・70代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(2回中、1回開催) (第1回目は、市の事業体験(まちづくり活動応援事業の利用者登録)を講座の内容に入れ込んだが、利用者にとっては難しいものであったため、第2回はスマホの基本操作にしたことにより、初心者にはわかりやすかった。)	【次年度の方向性】 令和6年3月以降の実施を踏まえて決定する。 (市民ニーズや講座を主導しているみんなでまちづくりの意向を確認しながら事業を進めていく。)	
	シニア快活！元氣講座【Vスタッフ】	Vスタッフが主体となり、受講者の関心が高い活動や、宇都宮と関わり深いテーマを中心に講座の企画を行う。また、地域ゆかりの「人情文化」の紹介など、地域の人材にも講師として協力を得ながら、受講者に有用な知識を深め、交流を促進し、生きがいづくりにもつながる学習の場とする。	50歳以上の方(市内在住・在勤)	5~11月	6回	【実施日】 令和5年5月23日 令和5年11月28日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 119人 0人 70代	【今年度の実施状況】 レクリエーションや地域のまちあるきなど、多様な企画を実施し、リピーターの受講生の皆様にも楽しんでいただけた印象があった。Vスタッフとセンターとの役割分担を次年度以降の課題とし、検討していく。	【次年度の方向性】 西木の芽会が解散することから、全回連続のVスタッフ企画ではなく、単発の募集として継続して開催する。	
	◎西楽アカデミー【CKP】	健康な現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行うとともに、運動を伴ったレクリエーションや創作活動を通して受講者同士のつながりが深まるようコミュニケーション活動を取り入れる。	一般成人	6~12月	7回	【実施日】 令和5年6月15日 令和5年12月21日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 104人 0人 60代	【今年度の実施状況】 制作作業は班ごとに行っていたが、分からない所を教え合ったり、お互いの作品を見せ合うことで受講生同士の交流が生まれ、よりよい制作ができる相乗効果が生じた。また、高齢の方の関心が高い体験型や体験を取り入れることにより、健康づくりに対する関心や講座受講の満足感を高めることができた。	【次年度の方向性】 毎年講座に参加することを楽しみにしている受講生も多く、地域の方々の生きがい学習の場となっているため、継続して開催する。受講者の関心の高さを取り入れながら、引き続き充実した学びに繋がるような内容を検討する。	
宇都宮再発見！	戦前・戦後を通して日本人の価値観・経済・文化・産業などが大きく変化した「昭和」という時代にスポットをあて、宇都宮の歴史を再確認するとともに、未来を考える機会とする。	一般成人	5~9月	4回	【実施日】 令和5年5月26日 令和5年9月22日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 69人 0人 70代	【今年度の実施状況】 昭和をテーマにし、歴史だけでなく「シャス」を取り上げ、新しい興味・関心をもってもらうと企画した。受講生自身の興味の深い回は出席率が高かったことや、楽しみにしている層が一定数あり、講座の回数を増やしてほしいとの声も聞かれたことから、受講生のニーズに合わせた実施方法や内容を検討しながら、継続して開催する。	【次年度の方向性】 楽しんで実施する子どもたちの興味関心に沿った企画であり、児童や保護者からの期待も大きいことから、継続して開催する。		
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう支援する。また、子育ての知識・技術を身につけ、家庭の教育力の向上を図る。	1歳~3歳の乳幼児とその親	6~12月	6回	【実施日】 令和5年6月14日 令和5年12月13日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 114人 57人 30代	【今年度の実施状況】 家では体験できないダイナミックな遊びや、家族以外との交流など、お子様や保護者双方にとって有意義な時間を過ごすことができ、高校生ボランティア、講師、受講者から概ね好評だった。学校行事との兼ね合いで、参加人数にバラつきが生じてしまうこと、参加本人にボランティア意識を持ってもらうことが課題であることから、今後は検討する。	【次年度の方向性】 同世代のお子様同士の関わりや、保護者の気分転換、情報交換などに有意義な講座であることから、継続して開催する。また、近隣学生に、親子(受講者)との交流及び学習の場を提供していく。	
	◎親子トライ&ゴー	工作など様々なアクティビティを行う中で、親子の絆を深めながら、生活に役立つ知識や体験を共有することにより、家庭の総合的な教育力の向上を図る。	小学校1年生~3年生とその保護者(市内在住・通学)	6~10月	5回	【実施日】 令和5年6月17日 令和5年10月14日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 92人 48人 10代	【今年度の実施状況】 コロナ禍も過ぎたことから、コロナ禍前のレベルに若干講座内容を戻すなど、定員や内容に創意工夫を加えて取り組むことで、より魅力的な講座が開催できるよう努めた。講座内容は魅力的な内容であったが、講座のピーク度が少なく、一部参加者が減員したものが出たことから、今後は積極的な周知に力を入れていく。	【次年度の方向性】 親子での参加体験講座として高い要望があることから、来年度も方向性はそのまま継続して開催する。	
	わくわくサマースクール	夏休みを利用して様々な体験学習を行い、好奇心や想像力、思考力を培う。また他校の仲間との交流を深めると共に、栃木県立博物館等近隣施設を活かした館外学習や、宇都宮環境行動フォーラムと連携した環境保全に関する体験講座等、子どもたちの自発的な学びの場を提供する。	小学4年生~6年生(市内在住・通学)	7~8月	6回	【実施日】 令和5年7月25日 令和5年8月4日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 186人 167人 10代	【今年度の実施状況】 毎年人気の講座であり、定員を大きく上回る申込者があった。様々な分野で体験を中心とした児童の興味のある内容であったが、やや難しいと感じていた児童も一定数いることから、今後は、より楽しくわかりやすく講師の先生の選定や、講座の運営方法など工夫していく。今回は第6回に保護者も参加可能としたが、保護者からはとても好評であった。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくりの地域協議会など、地域の教育向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり協議会など地域の教育向上に取り組む団体の活動支援を行った。	【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり協議会など地域の教育向上に取り組む団体の活動支援を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		
つ座③ など地げ学域るん理仕だ解成をみ果促のを進充活す実動に講	地域コミュニティの促進【CKP】	地域のニーズに沿った課題解決や地域住民のコミュニティの促進を図る。	富士見地域住人	7月	1回	【実施日】 令和 - 年 - 月 - 日 令和 - 年 - 月 - 日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 - 人 - 人 -	【今年度の実施状況】 地域と調整して講座を企画したが、地域の方針により、新型コロナウイルス感染症のため中止となった。今後は、もっと早い段階から企画や調整を地域へ伝えるよう努める。	【次年度の方向性】 地域の現状を理解し、地域交流を深めるほか、まちづくりへの参加のきっかけや、活動の促進にも繋がるため、継続して開催する。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針												
		内容	対象	時期	回数	事業実績					評価					今後の方針		
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	桜・うつのみやをやる講座(宇都宮はなぜ交通の要衝として栄えたのか)【CKP】	宇都宮の歴史のなかで、自分たちの住むまちがどのような役割を果たしたのかを学ぶことにより、地域への理解を一層深め、愛着心を高めることで、まちづくりのさらなる推進を図る。	桜地域住民	10~11月	4回	【実施日】 令和5年10月24日 ~ 令和5年12月5日 【連携実績】 連携団体数 1 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 桜地域まちづくり協議会 【参加者数】 合計 54人 うち子ども 0人 主な世代 70代					【今年度の実施状況】 参加者の満足度は高く適切に実施できているが、参加者が高齢者に偏っていることから、年齢層を広げるよう、実施方法等を検討する。 【次年度の方向性】 地域の歴史を振り返ることで、参加者の満足度も高く、地域づくりに対する意識醸成等を効果的に推進できることから、参加者の年齢層を広げることにも配慮しながら、継続して開催する。							
	持続可能なまちづくり【CKP】	明保地区の地域資源(雨情文化や企業)を学ぶことにより、地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくりを推進する。	明保地域住民	7月	1回	【実施日】 令和5年11月30日 ~ 令和6年3月17日 【連携実績】 連携団体数 1 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 明保地区明るいまちづくり協議会 【参加者数】 合計 41人 うち子ども 10人 主な世代 -					【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(2回中、1回開催) 公共交通系カードの利便性やNCCについて周知することができ、明保地区地域内交通と併せて考える機会を持つことができた。また、定期的に行っている、健康づくり推進員活動のウォーキングに、地域を知るきっかけとなる、ガイド案内を取り入れたことにより、地域への愛着や知識を習得することへの関心の向上につながった。 【次年度の方向性】 令和6年3月以降の実施を踏まえて決定する。 地域の問題点を情報収集し、活動者とともに、課題解決に沿った講座を継続して開催することにより、今後のまちづくり活動に対し、意識の向上を図る。							
	二十歳を祝う大人のついで	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 宮の原 28人 陽西 33人	実施委員会 実施回数 1回	各地域の取り組み 成人(二十歳)が自分たちの意思で地域交流事業を企画し、地域の実施委員とともに運営した。コロナ禍は過ぎたが、今回も念のため、懇談会及び地域特性を活かした事業はしなかった。 成人(二十歳)が自分たちで大人のついでを作り上げるといふ意識で地域の実施委員と連携しながら地域交流事業の企画・運営を行った。			【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、感染症対策を講じる必要は無くなったが、成人(二十歳)代表打合せをリモートにしたほか、連絡方法にLINEを取り入れるなど、実施委員会や会場と密な調整を行うことで、より迅速な運営を行うことが出来た。 【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と密な連絡調整を図り、より円滑かつ効果的な運営を行う。							
④ 持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基盤の強化	西生涯学習センター文化祭	西生涯学習センター利用者などの各種団体や地域・学校・企業が一体となって事業を展開することにより、特色ある地域文化の向上ならびに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	西生涯学習センター利用者及び一般市民	10月	1回	出展団体数 22団体 のべ来場者数 -人	特色 作品展示を長期開催することにより、センター来館者(図書利用者・都立貸出者)に幅広く披露することができた。			【今年度の実施状況】 センターロビーにて、サークル団体ごとに2週間程度の作品展示を行ったほか、サークル発表や模擬店等、生涯学習団体が日頃の活動を成果する場を提供した。 【次年度の方向性】 今後も継続して、サークルの発表の場を提供するとともに、地域と協力しながら事業を企画する。								
	クールシェア・コンサート	近隣地区の住民を対象に、夏季に公共施設で涼しさを分け合いながら演奏会を開催する。演奏会を通して、より多くの地域住民に生涯学習への関心を持ってもらう機会とする。	主に桜・富士見・明保地区内の市民	7月	1回	【実施日】 令和5年7月8日 ~ 令和5年7月8日 【連携実績】 連携団体数 -回 【参加者数】 合計 29人 うち子ども 0人 主な世代 60代					【今年度の実施状況】 対象者を地域の方から市内内へと広げ、音楽鑑賞による教養の向上と国際理解、多文化共生の両面で成果が見られた。 講師の先生がとても魅力的であったことや、チラシの効果もあり、申込も定員を大きく上回った。満足度もほぼ100%であり、参加者から好評であったことから、来年度も同様に開催する。 【次年度の方向性】 参加者に好評で、来年度の開催を希望する声が多く聞かれたことから、継続して開催する。							
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、チラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体に、主催講座の講師等を依頼し、活動成果の発表の場を提供した。 【今年度の実施状況】 ・情報の共有化を図り、活動している生涯学習団体に講師の依頼をするが、なかなか都合や、条件が合わないこともある。更なる情報共有や、迅速な判断が必要。 【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内にチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 ・今後も継続して、主催講座の講師等を依頼し、生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場を提供する。												
学習相談	相談者のニーズに応じて具体的な学習活動へつなげるとともに、相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みへの解決に向けた支援などを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳(件) 来館 17 電話 13 FAX 0 Eメール 0 その他 0 合計 30 簡易問い合わせ 16					【今年度の実施状況】 相談者の要望に対して迅速な対応をするように心がけたが、まだ十分ではなかったことから、更に相談しやすい環境づくりに努めていく。 【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じて具体的な学習活動へつなげるとともに、相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みへの解決に向けた支援などを行う。								

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数
	講座数	講座	実施回数	回	
子育て対象事業	2	講座	11	回	206人
シニア対象事業	1	講座	6	回	119人
成人対象事業	6	講座	20	回	322人
青少年対象事業	1	講座	6	回	186人
計	10	講座	43	回	833人

令和5年度 南生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針										
「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、地域住民の生涯学習ニーズや地域及び全市民的な課題に応じた学習支援をすることで、地域の学習情報拠点として地域団体等と連携し情報の発信や地域で活躍できる人材の育成を図る。 (ア) 地域の特性や課題及び社会的に関心が高い課題に応じた学習支援を行い、積極的に地域まちづくり活動に参加する人材の育成に取り組む。 (イ) 増加する高齢者の健康を生活から学び、子育て世代の不安を解消し、親子双方の成長を促す講座、豊かで美しい生活設計のための講座など、幅広い世代を対象に多様な学習の提供を図る。 (ウ) 地域でのボランティア活動や、地域のまちづくり活動を支援し、学習の成果や経験を活かせる機会と場の提供などに努める。										
★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域ががやきプロジェクト										
重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住のスマホ初心者	7月	2回	【実施日】 令和5年9月4日 令和6年2月19日			【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(2回中、1回開催)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。
	◎シニアセミナー南窓塾	シニア世代の受講者が、学びを通して交流を図り教養を深めることで、充実した日々を送る手助けをする。	市内在住、通勤の60歳以上の人	6~12月	6回	【実施日】 令和5年6月9日 令和5年12月1日			【今年度の実施状況】 刀剣やよさこい、介護など、様々な内容を実施し、受講者は毎回講座を楽しみに学んでいるが、個人の内容の関心度により出席率が変動する印象がある。シニア世代が受講したいと思えるような楽しい講座企画に努めていく。	【次年度の方向性】 シニア世代が学びをとおして交流を図り、充実した日々を送る手助けとなる講座を実施するため、継続して開催する。
	暮らし彩り講座～セカンドライフに向けて～	人生100年時代、セカンドライフ充実に向けて、衣・食・住の暮らしを彩るアイデアを学ぶ。	市内在住、通勤の18歳以上の人	6月	3回	【実施日】 令和5年6月8日 令和5年6月22日			【今年度の実施状況】 定員が30人のところ、各回の参加者が10人前後と少なかったことから、参加希望者が増加するよう、周知を工夫していく必要がある。また、アフターコロナの影響か、座学形式の講座よりも実習及びワークショップ形式を希望する声が多かったことから、検討していく。	【次年度の方向性】 アフターコロナ後の生活様式の変化に伴い、衣食住のニーズが求められていることから、継続して開催する。
	★健康講座	健康年齢・健康寿命・平均寿命について考え、健康を保つための知識・運動を学ぶ。	市内在住、通勤の18歳以上の人	5月	2回	【実施日】 令和5年5月11日 令和5年5月25日			【今年度の実施状況】 講座自体は全体的に好評だったが、定員が20人のところ、各回の参加者が10人前後と少なかったことから、参加希望者が増加するよう、周知を工夫していく必要がある。	【次年度の方向性】 全体的に好評であることや、健康に関する市民の関心は高く、運動を継続して行うことができるニーズが多く求められていることから、継続して開催する。
	宇都宮再発見講座	映画・テレビドラマのロケ地として人気の高い大谷地区を映像で紹介すると同時に、今昔を比較しその人気の秘密を探る。	市内在住、通勤の18歳以上の人	7月	2回	【実施日】 令和5年7月6日 令和5年7月13日			【今年度の実施状況】 大谷地区ならではの、ロケ地としての魅力や変遷してきた様子を知ることができ、有意義な講座となった。今後の課題としては、2時間では伝えきれないことが多かったことから、もう少し絞るほか、回数を増やすなど、実施方法を検討する。	【次年度の方向性】 宇都宮に住んでいても知らないことが多く、その土地ならではの発見ができたことから、今後は、大谷地区に限らず他の地区の魅力も再発見し、地域理解や郷土愛の醸成を目指すため、継続して開催する。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	すくすく子育て応援講座(前期)	親子が楽しみながら触れ合い、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合えるから交流を図る。	市内在住の乳幼児(概ね生後4ヵ月程度～1歳前後)とその保護者	5~7月	4回	【実施日】 令和5年5月10日 令和5年7月12日			【今年度の実施状況】 3ヶ月～1歳前前後の乳幼児対象のため、安全面から和室で実施した。両親で参加する熱心な保護者もいた。音楽や歌、カラフルな色の教材などを使うことで、赤ちゃんの情操教育などに効果を上げることができた。	【次年度の方向性】 受講申込が多く、子育て講座への市民ニーズが高いことから、子どもとのスキップや母親同士の交流をしながら楽しめる講座を提供するため、継続して開催する。
	すくすく子育て応援講座(後期)	親子で遊びや運動をすることでふれあいを深め、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合えるから孤立しがちな子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。	市内在住の2~3歳児とその保護者	10~12月	3回	【実施日】 令和5年10月4日 令和5年12月6日			【今年度の実施状況】 申込が定員に満たず追加募集を行った。今後は、チラシ作成の際に内容欄に織り込むワードやレイアウト等に工夫を加え、積極的に周知する必要がある。	【次年度の方向性】 体を動かす講座での親子のふれあいや、親同士の交流など、講座に参加することで、子育ての悩みを分かち合い、また楽しみながら子どもと触れ合う機会を提供するなど、保護者がリフレッシュできる講座を実施するため、継続して開催する。
	親子で学ぶ作文の書き方講座	作文の書き方を基礎から学ぶことで、「考え」を文章にまとめる力を養い、コミュニケーション力をつける一助とする。	市内在住の小学4~6年生の児童とその保護者	8月	2回	【実施日】 令和5年8月2日 令和5年8月9日			【今年度の実施状況】 アフターコロナで夏休み小学生向け講座が多く広報誌に掲載され、日程が重なったこともあり、思ったより参加者が集まらなかった。親子で学ぶことで、自分の「考え」をまとめる力がつき、コミュニケーション力も養われた印象があるため、今後は、より多くの参加者を募るため、積極的に周知していく。	【次年度の方向性】 作文の書き方を学ぶことにより、表現力、伝える力、論理的思考を身につけることができることから、継続して開催する。次年度は、地域の小学校に向けて、参加者募集の呼びかけを行っている。
	プログラミング入門講座	小学校で必修科目となったプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。	市内在住の小学生	7月	2回	【実施日】 令和5年7月26日 令和5年7月27日			【今年度の実施状況】 ロボカンをプログラミングして動かすことは、思ったより難しくなく、子どもたちは楽しんでおり、好評だった。トライ＆エラーを繰り返すことも楽しそうだったが、最後まで課題をクリアする時間が足りなかった、の声が多く聞かれた。	【次年度の方向性】 プログラミングの基礎を学び、トライ＆エラーを繰り返すこと、問題解決への過程・思考を養うことに繋がることから、継続して開催する。
	★親子で学ぶコミュニケーション講座	コロナ禍で変遷していく人間関係、親と子、子と子、親と親等コミュニケーションの取り方を親子で学ぶ。	市内在住の小学4~6年生の児童とその保護者	8月	1回	【実施日】 令和5年8月3日 令和5年8月3日			【今年度の実施状況】 アフターコロナで夏休み小学生向け講座が多く広報誌に掲載され、日程が重なったことや、親が参加を希望しても子どもが嫌がったケースもあったことから、思ったより参加者が集まらず、講座内容のPR不足を感じた。	【次年度の方向性】 アフターコロナで、市全体的に夏休み小学生向け講座が多く企画され、予測よりも市民ニーズがないことから、廃止とする。
夏休み小学生講座	小学4~6年生の児童が、他の学区の児童と親睦を深めながら実験や工作などを通して夏休みの自由研究などの一助とする。	市内在住の小学4~6年生の児童	8月	3回	【実施日】 令和5年8月1日 令和5年8月8日			【今年度の実施状況】 応募数が少なかったことから、地域担当職員を通して小学校にチラシ配付依頼をした。また、講座依頼先からの返答が遅かったため市の出前講座に変更して実施した。	【次年度の方向性】 保護者による送迎の負担軽減なども考慮し、近い日程で回数を2回として継続して開催する。また、円滑に運営するため、日程に余裕を持った講師の確保や、地域小学校の対象学年あてに早めのチラシ配布依頼を検討する。	
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 陽南中学校魅力ある学校づくり地域協議会会議に3回出席した。			【今年度の実施状況】 地域協議会会議に出席し、情報交換を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
③ 活動域に理解を促す進捗を組み立てる講座と学んだ成果	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げるにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 「式典」「地域交流事業」の二部構成で実施し、「二十歳の祝福」と「二十歳としての自覚や地域への感謝の気持ちの醸成」を図るつどいを開催することか出来た。	【次年度の方向性】 次年度も参加者への二十歳としての自覚や地域に対する感謝の気持ちを育む内容の式典を開催する。	
						開南	26 人	2 回				
						若松原	22 人	2 回				
④ 持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基盤の強化	南生涯学習センター文化祭	地域住民やセンター利用者が一致協力して、関連事業を展開することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の向上を図る。	南生涯学習センター利用団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 生涯学習団体が主体となって準備や当日の運営等を行うことで、日頃の活動成果を十分に発表することができた。また、文化祭に参加することで、活動意欲やモチベーションが高まり、団体活動の活性化に繋がった。	【次年度の方向性】 新型コロナウイルス感染症の影響や団体構成員の高齢化などにより、参加団体が少なかったことから、より参加団体を増やす工夫や取組みを行うことで、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を十分に発表できる場とする。		
					9 団体	280 人	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭に参加する生涯学習団体が内容や実施方法について検討し、当日の運営や準備、後片付けについても自分たちで行うなど、参加団体が主体となり、開催した。 実施内容を作品展と演奏発表に絞ることで、生涯学習団体が日頃の活動成果を十分に発表できる文化祭を開催することができた。 					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関する市民ニーズや社会的な課題について情報収集を行うことが出来た。 生涯学習に関する講座やイベント、登録団体の概要や活動内容等について情報提供を行うことが出来た。 	【次年度の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> 次年度も引き続き、下記より情報の収集・提供を実施していく。 ▶ 研修に参加して、他の生涯学習センターや公民館における生涯学習に関する活動事例を収集 ▶ 市や県等が主催、後援する生涯学習に関するポスター及び講座等について情報を提供 ▶ 主催講座について、パンフレットの配架や地域への回覧のほか、受講者の感想や効果について所内掲示により情報を提供 ▶ 生涯学習団体について、団体概要や活動内容等のPRの場を提供 		
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）			【今年度の実施状況】 <ul style="list-style-type: none"> 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。 登録団体から変更申請等を受けた場合は、速やかな事務処理と所内の情報共有を行うことができた。 	【次年度の方向性】 今後も相談者の立場に立った親切で丁寧な学習相談を行うとともに、学習相談の参考となる登録団体が作成した団体紹介紙の館内掲示を継続して実施し、気軽に学習相談をしやすい環境整備に努める。			
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	難聴問い合わせ	
					39	15	0	0	0	54	16	

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数			参加者数
	講座数	実施回数		
子育て対象事業	2	7 回		203 人
シニア対象事業	1	6 回		237 人
成人対象事業	4	9 回		121 人
青少年対象事業	4	8 回		76 人
計	11	30 回		637 人

令和5年度 北生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 地域に居住する一人ひとりが生きがいを持ち、充実した日々を過ごすことができるよう、主体的に継続して学んでいくための機会を提供するとともに、今後とも地域の活力が持続されるよう、子育て、環境、まちづくりに関わる人材育成など地域が持つ課題に対応した事業を実施する。
 (ア) 一人ひとりの学習意欲を向上させることができるよう、社会の変化に対応できる知識の習得、社会への参画や人との交流を促していく講座のほか、伝統文化や教養を高める講座を実施する。
 (イ) 子育て世代の保護者の気づきや子育てに必要な知識等を得ることができるよう、参加交流型の講座を実施するとともに、子どもたちが知的探究心や創造する力を高め、地域の自然や伝統工芸などを学ぶ体験活動等を行う。
 (ウ) 地域の理解や愛着を深めるとともに、住みやすい、より良い地域としていくための課題に気づききっかけとすることができるよう、地域を構成する自然や歴史などを学ぶ講座を実施する。
 (エ) 生涯学習活動の活性化と地域住民の学習や活動を持続的に支援するため、センター利用団体と協働による講座の実施や施設環境の充実を図る。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	7・8月	2回	【実施日】 令和5年8月29日 ～ 令和6年2月26日	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。 (2回中、1回開催)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (まます、近くて、身近なスマートフォンを学ぶことをきっかけにすることで、市民の特に高齢者の情報格差の解消を目指すため、継続して開催する。)	
	北洲塾【Vスタッフ(一部)】	生きがいづくりや仲間づくりを目的に幅広い分野を身に着け、地域社会への参加の輪を広げる。 ※1うち2回をVスタッフ企画講座として実施予定	市内在住・通勤の65歳以上の方	6～12月	6回	【実施日】 令和5年6月14日 ～ 令和5年12月13日	【今年度の実施状況】 定員を超える応募があったほか、講座内容についても満足度が高く、受講者も積極的に講座に参加する姿勢がみられた。プログラムも多様な内容の中に、社会課題や受講後も各自活用できる内容のプログラムを行う事ができた。また、Vスタッフの企画講座を行う事により、新たな視点を入れた講座を実施することができた。ただ、高齢者対象の講座の為、新型コロナウイルスの感染リスクを考えた実施しことから、参加者同士の交流につながるワークショップなどが少なく、仲間づくりにつなげることができなかったため、今後は、仲間づくりにつなげるようなプログラムの検討が必要である。	【次年度の方向性】 様々な学びの場になると受講者の満足度も高いことから、継続して実施する。実施にあたっては、参加者同士がコミュニケーションをとり、つながりができるようなワークショップ等を取り入れたプログラムも実施する。	
	防災講座	台風・大雨など、自然災害への備えを学び、地域防災の課題解決につなげていく。	一般成人	6月	3回	【実施日】 令和5年6月16日 ～ 令和5年6月23日	【今年度の実施状況】 参加者からは、「栃木県の気象情報の活用について知ることができた。」「HUG(避難所運営ゲーム)については、臨場感を持って取り組むことができ、大変有意義な経験だった。」などの感想があったほか、「満足。」「やや満足」の回答が割合を超えており、講座の成果をあげることができた。 また、対象者を地域防災への関わりや関心のある人と限定したことから、参加者の多くが、地域防災のリーダーである自治会関係者や地域役員であり、地域の防災意識の向上につなげることができた。	【次年度の方向性】 防災会関係者や地域役員が交代する年数を踏まえて実施するなど、より効果的・効果的な開催間隔を検討する必要があるため、令和7年度の開催に向け準備を進める。	
	聴いて読む名作	プロのアナウンサーの朗読を聴くことで、日本の古典をより深く味わうとともに、朗読への興味関心を高め、朗読のコツ等を学ぶ。	一般成人	10月	2回	【実施日】 令和5年10月5日 ～ 令和5年10月5日	【今年度の実施状況】 ・定員30名のところ、申し込み多数だったこと、例年当日の欠席があることをらまえて、35名として開催した。 ・講師都合(講師依頼後の県外への転居)で2回の講座を1回に集約した。1回に集約したことで内容の充実した講座となった。 ・迫力の朗読を鑑賞し、講師の解説で2作品の背景を知ることができたと好評だった。 以上を踏まえ、次年度の方向性を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 北生涯学習センター独自の講座であり、専門的技術を有する講師の朗読を鑑賞する、毎年申込の多い講座であることから、継続して開催する。実施にあたっては、1回の講座としたことで、欠席者も少なかったことから、次年度については、県内の講師に依頼し、1回の講座として実施する。	
	和文入門講座	楽しく日本文化の粋に触れ、また、国際化の流れの中で自国の文化を知り、和の心をもったコミュニケーション能力を養う。	一般成人	11～12月	5回	【実施日】 令和5年11月9日 ～ 令和5年12月7日	【今年度の実施状況】 普段なじみのない日本の伝統文化に触れる貴重な機会を入門講座として提供するもので、受講者の満足度も高い。 一方毎年継続している講座では定員に満たないものもあり、見直しを検討する必要がある。	【次年度の方向性】 各分野の講座を選択できるスタイルは好評であることから、選択式は継続しつつ、あまりなじみのない和文文化の分野のものを学び・体験できるように新たに加えながら、実施する。	
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	子育て/パパ・ママ応援講座1	乳幼児期に育てたこと(発達課題や生活経験)、親としての心得(自我が芽生えた子どもへの接し方)をグループワークを行いながら学ぶ。また、ワークライフバランスの視点から、育児復帰への心構えや様々な課題を乗り越える方法をZoomを使い学ぶ。	未就学児を持つ親	6～7月	3回	【実施日】 令和5年6月3日 ～ 令和5年7月8日	【今年度の実施状況】 子育て世代を対象とした託児付き講座については、「落ち着いた受講できる」など満足度も高く、また、ワークショップ形式での学習方法は、「他の人の表情を見ながら意見交換ができた」などの声もあり満足度も高かった。デジタルを活用したZoom講座は、新型コロナウイルスの影響も落ち着いた時期でもあり、集客型のニーズの高まりにより、受講者が少なかつたことから、学習の方法を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 保育園など多い地域特性を踏まえ、引き続き子育て世代を対象とした講座を継続して開催する。学習方法としては、満足度の高い集合型で、託児付きとして実施する。	
	子育て/パパ・ママ応援講座2	子育て世代の保護者がアンガーマネジメントについて理解することにより、子育てへの気づきや課題解決の方法を学ぶ。	子育て中の保護者	9月	2回	【実施日】 令和5年9月8日 ～ 令和5年9月15日	【今年度の実施状況】 他にないプログラムでのアンガーマネジメント講座であり、座学だけでなく、体を動かしたり、ゲームをするなど終始楽しく学ぶことができ、参加者同士の交流を図ることができた。また、「託児があつてありがたい、子どもの経験にもなった」など、参加者からの満足度も高かった。今後は、幼児から小学生までのお子さんの保護者が対象であることから、平日開催だと仕事で参加できない方も多いため推測できることから、休日開催も検討する必要がある。	【次年度の方向性】 子育て中の悩みを解決する講座として、参加者の満足度は高いことから、継続して開催する。実施にあたっては、講座の参加促進を図るため土曜日に開催することで、参加者の増加を図る。	
	親子自然探検隊	地域の未来を担う世代(子育て世代とその子ども)が、地域の保全グループと交流しながら自然に親しむことを通じて、生物多様性の大切さを知り、守ることの意義を知る機会とする。	小学生以下の子どもとその保護者	5～12月	5回	【実施日】 令和5年5月20日 ～ 令和5年12月16日	【今年度の実施状況】 自然相手の講座であることから、内容により、受講者の思った野外活動が実現できなかった(幼虫探しやザリガニ釣り)面もあるが、内容的には好評だった。求年度は、県立博物館の講師への依頼が相手方の都合で1回となるため、講師の確保を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 地域資源(戸祭山緑地、グリーントラスト)を活用しながら、子育て世代とその子供が、自然といのちの繋がりにつなげて体験しながら学ぶ機会であり、参加者の要望も満足度も高いことから、講師の確保を図り、継続して実施する。	
	親子でチャレンジ	親子が一緒に様々な体験活動(伝統工芸品作りや工作など)を行い、互いが認め合い尊重し合いながら親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。	小学1年生から4年生とその保護者	7～8月	4回	【実施日】 令和5年7月22日 ～ 令和5年8月19日	【今年度の実施状況】 親子が共に体験活動を行うことから、相互理解を深めることや、活動の中で、子ども同士が交流することができた。今年度は募集組数に満たず、応募段階で4回の連続での参加が難しいなどの意見があったことから、今後は、4回の連続講座として開催するのではなく、4回の単体講座として開催する必要がある。	【次年度の方向性】 受講者の満足度は高く、親子や子ども同士の交流や普段経験できないものを体験できることから、継続して開催する。実施にあたっては、連続での参加が難しいとの声もあったことから、単体の講座として実施するなど実施方法を再検討する。	

重点項目	事業名	事業の概要					令和5年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針			
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	青少年リーダー養成講座	日常生活では経験できない体験をすることにより、社会や地域などについて学習する。また、同学年や別学年の児童がともに学ぶことを通じて、物事に積極的に取り組むことのできるリーダーの資質を磨く機会とする。	戸察地区の小学校高学年	7月	1回	【実施日】 令和 年 月 日 令和 年 月 日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代	【今年度の実施状況】 地域との日程調整がつかなかったことから、中止とした。	【次年度の方向性】 当講座は、地域と連携した小学生講座として実施していたが、次年度は、地域の教育機関等と連携し、小学生を対象とした体験学習講座の実施を検討し、多世代交流を推進する。			
	昔あそび体験講座	ボランティアによる昔遊び体験を通して、普段体験する機会が少ない遊びへの挑戦や子ども同士、ボランティア等とのふれあいを深める。	小学生とその家族	7月	1回	【実施日】 令和 5 年 7 月 27 日 令和 5 年 7 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 1 つくしんぽ(ボランティア団体) 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 9 人 6 人 40代	【今年度の実施状況】 北生涯学習センター登録団体が講師として昔あそびを実施し、参加した子どもたちに、好評であった。今後は、応募者の増員を図るため、市の広報紙だけでなく、地域の「子どもの家」など、地区内の対象者に積極的に広報するなど検討する必要がある。	【次年度の方向性】 普段経験ができない「水鉄砲」や「紙ヒコーキ」など、昔ながらの遊びを通して、子ども同士や親子の交流につながったことや、センター登録団体が講師となり、北生涯学習センターの活動内容も合わせて参加者を知ってもらう機会となったことから、継続して実施する。			
	とちぎ子どもの未来創造大学出前講座	子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加えて、学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む姿勢を涵養することをねらいに、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら、子どもたちが「本物」に触れる学習機会を提供する。	小学生とその家族	7月	1回	【実施日】 令和 5 年 10 月 14 日 令和 5 年 10 月 14 日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 1 栃木県教育委員会事務局/河内教育事務所 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 13 人 13 人 10代	【今年度の実施状況】 集客に結び付くテーマ設定が難しい青少年対象の講座を県との共催で実施することができ、また、北生涯学習センターを初めて利用したこの参加者の意見も多くあったことから、当センターの周知につなげることができた。 県との役割分担が不明瞭だったため、周知が足りなかった部分もあり、定員を満たすことができなかった。ただ、当日は参加者家族の見学が可能だったため、参加者だけでなく保護者や兄弟も一緒に参加、楽しめる内容であった。 以上のことから、周知方法を見直しながら講座開催を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 内容的に大変好評であったが、県からの事業の募集が次年度に入ってからのため、募集要項等の周知があった際に改めて検討する。			
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 地域環境点検への支援・協力を行った。	【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり協議会など地域の教育力に取組む団体の支援活動を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体への協力・活動支援を行っていく。			
③ 地域組織の理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	★郷土の歴史を学ぶ【CKP】	中世宇都宮氏の足跡を学ぶことで、郷土愛への機運を作るとともに、郷土の文化に関する知識を身につけ、地域社会への参加のきっかけ作りを図る。	一般成人	11月	2回	【実施日】 令和 5 年 11 月 20 日 令和 5 年 11 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 48 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 受講者のレベルの差も見受けられたが、内容的に難しかったことから、受講者の評価が分かれた。しかし、2回目の百人一首では、受講者同士が和気あいあいと取り合っている姿が、印象的であった。このような課題の講座については、受講者のレベルの問題があり、難しいところがある。 以上のことから、今後は、講座の内容などについて検討する必要がある。	【次年度の方向性】 ボランティアスタッフの提案講座のため、来年度については、未定である。			
	二十歳を祝う成人のついで	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	【実施日】 令和 5 年 1 月 20 日 令和 5 年 1 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 48 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 昨年度から会場が変更となったが、実施委員の協力もあり、「式典」「地域交流事業」とも円滑に運営することができた。	【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と連携を図り、より円滑かつ効果的な運営を行う。			
④ 持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化	サークル活動体験	サークル活動に興味のある人が、気軽に活動に参加できるよう支援するため、北生涯学習センター利用団体と協働で、サークル活動を体験できる講座を実施し、生涯学習活動をはじめるきっかけ作りとする。	一般市民	2月	10回程度	【実施日】 令和 6 年 3 月 10 日 令和 6 年 3 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 17 北生涯学習センター利用団体連絡協議会、センター登録団体 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 112 人 0 人	【今年度の実施状況】 令和6年3月以降実施予定 (前年度は、モデル事業としてきた生涯学習センター利用団体連絡協議会の加盟団体にて実施し好評だった。北生涯学習センターの登録団体(90団体)に募集をした結果、参加団体を増やすことができたことから、次年度も継続する方向で検討する必要がある。)	【次年度の方向性】 令和6年3月以降の実施を踏まえて決定する。 (サークル活動への興味関心を高め、市民の参加や交流を図ることができると、また、サークルが初心者の受け入れのためのプログラムを検討するなど、サークルの活性化に繋がる事業であることから継続して開催する。)			
	北生涯学習センター文化祭	北生涯学習センターを拠点に活動している団体の学習成果の発表の場を提供する。	北生涯学習センター利用団体及び一般市民	10月	1回	【実施日】 令和 5 年 10 月 14 日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 31 団体 750 人	【今年度の実施状況】 生涯学習団体が日頃の成果を発表することができ、活動意欲やモチベーションを高めることができた。また、今回初めて活動体験コーナーを設けたことで、見学者も観覧するだけでなく、参加することができたことから、興味・関心の向上につながった。また、文化祭を映像化し、来館者への周知も行った。	【次年度の方向性】 利用団体の構成員の高齢化などにより、参加団体が少なかったため、地域団体や学校なども巻き込みながら、参加団体を増やす取り組み等を検討し、実施する。			
情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・北生涯学習センター登録団体一覧を配架。また、団体活動のチラシを掲示するなど、生涯学習情報を提供した。 ・「生涯学習サークルを体験してみよう」に参加する団体については、サークルの活動内容などの情報を事業の周知用チラシなどにより、広く市民へも情報提供を行った。	【今年度の実施状況】 生涯学習に関する講座やイベント、登録団体の概要や活動内容等の情報提供を行う事ができた。	【次年度の方向性】 生涯学習センター内に、センター主催事業や市や県等が主催、後援する生涯学習事業のちらしやポスターを掲示するほか、生涯学習団体について、団体概要や活動内容等のPRの場を提供するなど、引き続き、生涯学習の情報収集・提供を行っていく。				
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者が取り組む活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳(件) 来館 電話 FAX Eメール その他 合計 電話 利用しなかった 22 21 0 0 0 43 41	【今年度の実施状況】 サークル一覧を窓口配架し、学習への意欲促進を行う事ができた。また、生涯学習サークルを体験しようを実施することにより、学習意欲を盛り起こすことができた。	【次年度の方向性】 引き続き、相談者への登録団体の紹介や情報提供など、活動意欲に繋がる発信を積極的に行っていく。				

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数			参加者数
	講座数	実施回数	参加者数	
子育て対象事業	4	14	205	人
シニア対象事業	1	6	141	人
成人対象事業	6	61	308	人
青少年対象事業	2	2	22	人
計	13	83	676	人

令和5年度 平石生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>平石地区においては、少子高齢化の進行、特に高齢化が顕著であるとともに、核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化などにより、地域を担う活動者の固定化や若い世代の活動者が少ないことなどから、地域活動の活性化や新たな人材の発掘・育成が必要となっている。</p> <p>こうしたことから、子どもから高齢者に至るまでの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活を送り、学んだ成果が地域活動への参加や次代を担う地域リーダーの育成に結び付きかけとなるよう、交流による仲間づくりや身近な地域の魅力の再発見による郷土愛の醸成を図る講座を実施する。</p> <p>また、保健福祉の東部地区の拠点としての利点を最大限生かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携し、地域住民の健康づくりや子育てに関する講座など、特色ある事業を積極的に展開していく。</p>	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 推進 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	未定	1回	【実施日】 令和 5 年 8 月 4 日 ~ 令和 6 年 1 月 25 日 【連携実績】 連携団体数 (連携団体等名称 (企業・学校含む)) - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 10 人 0 人 60代	【今年度の実施状況】 受講者が少数であったため、個別質問に対して丁寧に対応することができ、気づきや課題解決を図ることができた。平石地区のほか近隣地区(石井、隣東)に講座チラシを配布するなど周知啓発に取り組んだところであるが、受講者は少人数となってしまったため、さらなる周知啓発に取り組んでいく。	【次年度の方向性】 開催日時の検討や講座内容の充実を図りながら、デジタルデバイス対策や世代・ニーズに応じた講座を継続して実施していく。
	きらきらセミナー	幅広い世代が交流するきっかけづくりと、社会性や適応力を高めるため、学びをおして個々の教養を深めて人間力を高め心の豊かさに繋げる。	地域内の成人	7~1月	4回	【実施日】 令和 5 年 7 月 13 日 ~ 令和 6 年 2 月 28 日 【連携実績】 連携団体数 (連携団体等名称 (企業・学校含む)) - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 39 人 0 人 60代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(4回中、3回開催) (今年度のテーマを「音楽」とし、4回の講座をそれぞれ音楽に関する様々なジャンルやアプローチを取り入れ、多才な講師に依頼するなど、講座内容をより充実させることができ、受講者のアンケート結果も99%が満足と回答があり、好評だった。学習目標の幅広い世代の交流に資するため託児を設けたが、子育て世代(30代40代)の参加が少ない状況であった。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (託児を設けるなど、幅広い世代の参加や交流を目的として引き続き企画するとともに、子育て世代(30代40代)の参加に繋がるよう講座内容の充実、開催日時等の調整や周知啓発に取り組んでいく。)
	◎親子の広場「はくはく」	・乳児を持つ親と子ども(子育て中の親子)が気軽に集い、母親同士の情報交換、育児相談を行う。 ・年7回のお楽しみ講座「はくはく+」において、家族で参加できる企画も取り入れ拡充を図る。	主に乳幼児(0~3歳)を持つ子育て中の親子	5~3月	40回	【実施日】 令和 5 年 5 月 9 日 ~ 令和 6 年 3 月 19 日 【連携実績】 連携団体数 (連携団体等名称 (企業・学校含む)) - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 308 人 147 人 30代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(9回中、8回開催) (乳幼児を持つ親同士のコミュニケーションがもっと活発にできるよう「はくはく」(申込不要で開設時間(10:00~12:00))を自由に入力できるように開催し、参加者同士の子育てでの不安解消や感動の共感を持って楽しくしていく機会として講座を実施することができた。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (少子化が著しいことから、より一層、乳幼児を抱える親同士の触れ合い場が必要である。乳幼児期の子育ての悩みを気軽に話すことで、心身のストレスのリリースに繋げ、同じ仲間とふれあうことで悩みを共有し、安心して子育てに繋げる講座とするため、継続して開催する。)
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	わくわく教室	多文化共生の推進につながる体験活動や交流を通して、仲間との関わりを深めるとともに、育成会と連携しながら異世代との交流を通して、少年の生きる力を育む。	地域内の小学生	7~8月	2回	【実施日】 令和 5 年 7 月 27 日 ~ 令和 5 年 10 月 10 日 【連携実績】 連携団体数 (連携団体等名称 (企業・学校含む)) 2 平石地区まちづくり協議会、宇都宮市国際交流プラザ 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 26 人 26 人 10代	【今年度の実施状況】 ・LRT開業記念の一環として、小学生を対象にLRT車両などの塗り絵をもとにデコレーションを行う「創作塗り絵」を開催し、センターロビーに展示するなど、LRTへの関心・機運醸成の一助として貢献することができた。 ・多文化共生の推進を図るため、国際文化の理解を図る講座を毎年度実施しており、昨年度がヨーロッパ圏であったことから、今回はスリランカについて学習機会を設けた。より理解が深まるよう、スライドショーの創製工夫を図り、講師も熱心に対応していただいたことにより、充実した内容で実施することができた。 ・ものづくり(木工)の講座が今回で内容に富んでしまったことから様々な内容を検討していく。	【次年度の方向性】 ・国語理解の講座は、率先して取り組むテーマであることから、次年度も継続して実施する。 ・地域の育成会と連携する部分が多いため、今後は協力しながら共同開催するなど、内容の充実を図っていく。 ・地域資源を活用した内容を盛り込んだ講座を検討する。(平石塾が製作した「郷土料理のレシピ本」を教材として、地域人材を講師に迎え、調理実習を行うなど、郷土に対する愛着や感謝の心を育む取組としていく。)
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 ・魅力協で行うイベント等をセンター内で情報提供している。 ・魅力協から提供された地域課題等について、迅速に関係課等へ連絡調整を行い、魅力協にフィードバックするなど、円滑に対応した。	【今年度の実施状況】 LRT開業イベント等では、魅力協と連携しながら事業を実施することができた。 【事業概要】 児童が描いた顔絵を横断幕に印刷し、沿線駅舎欄に掲示したほか、似顔絵作成や開業記念の取組がとちぎテレビで放映された。	【次年度の方向性】 ・引き続き、魅力協事業に係る地域への情報発信や学校に対する情報提供等により活動支援を行う。 ・魅力協が地域団体と協働できる事業に対して、センターが連絡調整役を担い、魅力協・学校・地域団体の連携強化に繋げる。
	◎ひらり発見講座	地域団体との連携により、身近な地域団体の活動を地域に広め地域理解に繋げるとともに、地域資源を活かし地域に関心を持ち、地域活動の活性化や郷土愛を生む促進に繋げる。	地域内の成人	5~9月	3回	【実施日】 令和 5 年 5 月 21 日 ~ 令和 5 年 9 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 (連携団体等名称 (企業・学校含む)) - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 138 人 65 人 60代	【今年度の実施状況】 宇都宮の歴史資源や地域資源を活かした内容とすることで、地域への関心を持つことや、地域活動の活性化、郷土愛の育成の促進に繋がるように努めた。 また、LRT乗車体験を取り入れたことにより、LRT(地域資源)への関心・利用向上を図ることができた。	【次年度の方向性】 歴史・文化等、地域資源に関する様々な興味や関心等をテーマに取り入れ、地域団体の活動を地域に広め、地域理解に繋げるために継続して開催する。
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中校区 実施委員数 各地域の取り組み 鬼怒 20 人 2 回 ・実施委員は全体会を1回、成人のみを対象に1回実施した。 ・記念品として、地元洋菓子店が製作した「LRT焼菓子詰合せ」を提供した。 ・地域交流事業において、地元企業等の協賛金により、成人の実施委員が企画した在中のライドショーを実施した。 ・会場変更に伴い、手荷物置き場が確保できなかったことから、記念品用紙袋を大サイズにし、コートやショール等を入れられるように工夫した。	【今年度の実施状況】 記念品として、地元洋菓子店が製作した「LRT焼菓子詰合せ」を提供し、今年開通して話題となった地域内交通の周知の一助となった。また、地域交流事業では、成人の実施委員が企画した在中のライドショーを実施するなど、新成人が地域とともに式典を作り上げ、二十歳としての自覚や地域社会の一員としての意識醸成に努めた。	【次年度の方向性】 ・同フロアで複数の学校区と同時開催であったことから、今後は導線や受付場所等を調整しながら、円滑に事業を運営する。 ・大サイズの紙袋は好評であったことから、次年度も対応予定

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針			
						出展団体数	のべ来場者数	特色					
盤④の持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基	平石地区文化祭 (同時開催：農業祭)	小・中学生の作品展示や、平石地区福祉施設や平石生涯学習センター利用団体による学習成果を発表することで、文化活動や生涯学習を推進する機会とする。また、参加することにより、地域住民との連帯意識高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	24	250	・LRT開業に伴う、地元パン屋さんによる「LRTパン」の製作や特別販売 ・ピンコ大会実施による集客力の向上	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、実施内容をコロナ禍以前の制限がない状況に戻したことで、参加者・来場者の双方が交流が深まり、賑やかな文化祭となった。	【次年度の方向性】 地域主体のアイデアや意見を活かし、地域住民同士が文化祭を楽しみながら、コミュニティの輪を広げていく。また、生涯学習の発表の場として提供し、学習の意欲向上や継続に繋げていく。			
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・時節にあった内容等を掲示し、来所する市民に対して、周知啓発を実施している。 ・生涯学習団体や地区内の放課後子ども教室等の活動成果(制作物など)の発表の場として、センターロビーに展示スペース(ギャラリーひらいし)を提供している。			【今年度の実施状況】 生涯学習団体や地区内の放課後子ども教室等の活動成果をセンターロビー展示スペース(ギャラリーひらいし)で周知したことで、生涯学習団体の作品展示の希望が増加し、生涯学習団体のPRや、センター利用者の際し、生涯学習事業への関心にも繋がった。	【次年度の方向性】 ・継続して、センター内で講座のチラシやポスターによる周知啓発を図り、生涯学習情報を提供するほか、生涯学習団体の活動成果(制作物など)の発表の場として、センターロビー展示スペースを提供する。 ・動画やSNS等を活用し、各種地域団体の活動の情報発信に取り組む。			
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上のほか、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳(件) 来館 電話 FAX Eメール その他 合計 職員問い合わせ 9 3 1 0 0 13 21			【今年度の実施状況】 相談者の多くは60歳代以上の方であり、相談者が希望する活動における、当センターで活動する団体情報に関する相談内容が多かった。相談者の意向をよく聞き、ニーズを把握したうえで助言・支援を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じ、その活動に関する課題や相談内容について適切な助言や学習活動へのつなぎ・支援を行う。また、持続的に多種多様な分野の学習が持続的にできるよう取り組む。			

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	講座	実施回数	回	人	人
子育て対象事業	1	講座	9	回	308	人
シニア対象事業	1	講座	2	回	10	人
成人対象事業	2	講座	7	回	177	人
青少年対象事業	1	講座	3	回	26	人
計	5	講座	21	回	521	人

令和5年度 清原生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針											
LRTの開通を見据えた「まちづくり」や地域の観光振興を推進していくため、次世代のまちづくりを担う人材の育成が不可欠である。 このことから、地域住民一人ひとりがまちづくりの推進力となるよう、人材育成に資する講座を開催するとともに、オンラインの活用検討など、幅広い世代が講座に参加しやすい環境整備を図る。 ・住民が地域の歴史や文化等の魅力を知り、地域への愛着を深めるとともに、観光振興や賑わいの創造に携わる人材の育成に向けた講座を展開する。 ・子育て世代の不安解消や家庭力を向上させるため、地元大学や地域在住の専門家などとの連携を強化し、専門性が高く、子育て世代の学習ニーズに対応した事業を展開する。											
★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト											
重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針					
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	未定	2回	【実施日】 令和5年8月22日 ～ 令和6年2月27日			【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(2回中、1回開催) 【今年度の実施状況】 (みんなでまちづくり課が主導の講座であり、指定された日程で行うため実施時期が限定された。夏と冬の時期ではなく、高齢者が外出しやすい時期に行ったほうが集客が見込めるため、調整する。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (市民ニーズや講座を主導しているみんなでまちづくり課の意向を確認しながら事業を進めていく。)	
	青少年指導者・育成者研修会	地区の子どもの役員や育成会役員など、地域で子育てに関わる人材のスキルアップを図り、地域における教育力の向上を図るもの。ゆいの荘地区の人口増加に伴い、外国人住民も増加しており、地域における相互理解の必要性が高まっていることから、地区国際交流協会等と連携を図り、外国人家族との交流や生活課題の解決を目的とした講座を開催する。	地域内青少年育成関係者	5～12月	2回	【実施日】 令和5年11月10日 ～ 令和5年11月10日			【今年度の実施状況】 コロナ禍で、思うように学校生活が過ごせなかった青少年に対し、支援やアドバイスに繋がる手法を学ぶ機会となり好評だった。今後は、多くの青少年指導者や育成者が参加できるように、講座開催案内の時期や募集方法等について検討する。	【次年度の方向性】 地区の青少年育成協議会及び子ども会育成会連絡協議会などと連携し、新たな地域居住者とのコミュニケーションを通して、子育て中の若年世帯の不安解消や地域で子育てに関わる人材のスキルアップを図るため、継続して開催する。	
	清原の魅力を発信しよう!! 講座	LRTの開通を見据えた「まちづくり」や清原地区における観光振興を図るため、地域住民が地域の歴史・文化や産業物などの地域資源の魅力を幅広く学び、わがまち意識の醸成を図るとともに、SNS等を活用した情報発信や、新たな販売の創出が図れるような講座を開催する。	地区内住民	5～12月	3回	【実施日】 令和5年9月21日 ～ 令和5年12月13日			【今年度の実施状況】 地区内の歴史を知るために館外学習を入れたことで、清原の魅力を更に知る事ができた。また、学生から学んだSNSの活用等を更に観光振興としてつなげていけるように情報発信していくことが必要なため、検討していく。	【次年度の方向性】 地区内の埋もれた歴史・文化等及びその歴史を語る人による講話を行うなど、清原地区の観光振興、さらには「まちづくり」にも繋げていくため、継続して開催する。	
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	ふれあい子育て広場	親子のふれあいを通じ、親子の絆を深めるとともに、同世代の保護者同士の交流を深め、子育て世代の不安解消を図り、生き生きとした親子関係を育む。作新学院大学との連携により、専門的な学習内容を提供するとともに、受講者がオンラインで対面を避けるようにするなど、学習機会の充実を図る。	地区内の未就学児とその保護者	5～12月	3回	【実施日】 令和5年6月27日 ～ 令和5年12月7日			【今年度の実施状況】 親子での参加ということもあり、天気の影響で出席数の変動が大きかった。また、今年度は、ボランティアによる絵本の読み聞かせを毎回行い、参加者からは好評だった。今後は、多くの親子が参加できるように、講座開催案内の時期や募集方法等について検討する。	【次年度の方向性】 親子のふれあいを通じ、親子の絆を深めるとともに、同世代の保護者同士の交流を深め、子育て世代の不安解消を図るため、継続して開催する。	
	チャレンジ遊び塾	日常生活では体験できない「遊び」や「学び」を通して、新たな物事への好奇心やチャレンジ精神を育む。	地区内小学生	7・8月	1回	【実施日】 令和5年8月1日 ～ 令和5年8月1日			【今年度の実施状況】 川原の石の色や形を見ながら自由にペインティングを行うなど、「遊び」を通して、自ら考え自然を大切にすることを学ぶことができた。今後は、多くの児童が参加できるように、講座開催案内の時期や募集方法等について検討する。	【次年度の方向性】 子どもに関心の高い「自然」をテーマに、毎年、メニューをリニューアルし、魅力ある講座を開催する。	
	企業体験教室	清原工業団地の企業との連携による講座を開催し、「日本のものづくり」の偉大さや、日本を代表する企業が地域にあることを認識させ、子ども達の郷土の誇りと愛着を育む。	地区内小学生	7月	1回	【実施日】 令和5年8月8日 ～ 令和5年8月8日			【今年度の実施状況】 「カメラレンズ」の仕組みや技術について学び、日本を代表する企業が地域にあることへの誇りと郷土愛の醸成へと繋げることができた。今後は、さらに学習効果が更に高まるよう、地域企業を会場として講座が開催できるよう調整する。	【次年度の方向性】 地域企業と連携し、学校や家庭では学ぶことのできない「ものづくりの素晴らしさ」を体感できる講座を開催する。	
③ 活動的に域づく理解を促進する講座と学んだ成果を	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 清原中学校生徒会が実施する地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行った。			【今年度の実施状況】 清原中学校生徒会が実施する地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行った。	【次年度の方向性】 令和5年度は「環境問題」をテーマに行ったが、今後は「清原地区をもっと知る」「LRTの魅力発信」「もっと人が集まるまちづくり」などをテーマに地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行っていく。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 昨年度の式典会場から変更となったため、事前に会場の見学等や打合せを綿密に実施した。	【次年度の方向性】 次年度も式典会場の下見や、担当者との打合せを行い、スムーズに対応ができるよう実施していく。
						清原	34人	1回			

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針									
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針					
						出席団体数	のべ来場者数	特色							
の④ 基盤的 的強に 地域住 民の学 習や活 動・交 流を支 援する 地域教 育	清原地区文化祭 (同時開催：農業祭)	清原生涯学習センターの利用団体が、日頃の成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	生涯学習センター利用団体及び地区内小中学生等	11月	1回	50 団体	3000 人	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前の規模に戻し実施 ・清原体育館の無料開放デーに併せて開催 ⇒清原公園も含め会場の拡大（農業祭会場）、来場者駐車場の確保 ・LRT開業記念事業 ⇒停留場をスタンプラリーポイントにしLRT周知 	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>LRT開業年を記念し、清原体育館無料開放デーとの同日開催により、例年より拡大した会場をスタンプラリーで周遊するなど、今までにない文化祭を企画した結果、来場者も増え、賑わいの創出につながった。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>引き続き、多くの来場者を迎えられよう、文化祭の日程調整（地域内行事や清原体育館無料開放デー）を図り、地区外にも積極的に周知を行う。</p>					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			<p>【今年度の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報は、市民に対し随時提供していく必要があることから、センター内に設置している掲示板にて提供している。 ・市民から、サークル活動の内容が分かる一覧表を求められたことから、その問合せを踏まえた資料を作成する必要がある。 	<p>【次年度の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、センター内の「地域情報コーナー」において、チラシやポスター等の媒体をととして生涯学習情報を提供する。 ・サークルの活動内容が分かりやすい一覧表を作成し、市民の目を引くような場所へ配置する。 					
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上のほか、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績			<p>【今年度の実施状況】</p> <p>生涯学習団体登録やマナビス講師登録等の問合せや相談に際し、適切に対応する必要がある。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>引き続き、相談者のニーズに応じた団体情報の紹介や施設情報への対応を丁寧に行うほか、的確、迅速に対応できるよう取り組むことで、学習中の課題や悩み解決のための支援をしていく。</p>					
						内訳（：件）									
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ			
						0	0	0	0	0	0	12			

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数				
子育て対象事業	1	講座	6	回	82	人
シニア対象事業	1	講座	2	回	12	人
成人対象事業	2	講座	4	回	78	人
青少年対象事業	2	講座	2	回	27	人
計	6	講座	14	回	199	人

令和5年度 横川生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針									
横川地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が中心となり、様々な活動を展開しており、また、近年人口が増加するとともに、若い世代の割合が高い状況にある。一方で、少子・超高齢化や核家族化の進行に伴い、地域コミュニティの希薄化など様々な課題が生じており、地域の連帯感の醸成や地域を担う人づくりが急務となっている。このようなことから、住民自らが地域に目を向け、地域の課題に基づき、解決に向けた契機とするための講座や、青少年や子育て世代、高齢者など幅広い世代を対象に、学ぶことの楽しさや仲間づくり、生きがいづくりにつながる講座を実施し、学んだ成果を活かして地域で活動する人材の育成や、家庭・地域の教育力の向上に結びつこうとする事業を展開する。									
★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト									
重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	7月	2回	【実施日】 令和5年9月27日 ～ 令和6年1月24日		【今年度の実施状況】 講師の説明がとてわかりやすく、また補助者も4人いたことから、一人一人にきめ細かな対応をすることができ、受講者はとても満足していた。 しかしながら、高齢者の方にとって操作は難しく、1回の講座で覚えることは容易なことではないことから、繰り返し講座を開催していくことが必要のため、検討する。	【次年度の方向性】 人気の高い講座であり、繰り返し開催していくことが必要であることから、継続して開催する。
	ことぶき塾	日常生活に即した課題や社会問題、歴史、文化、芸能等、生きがいの創出につながるような講座を開催することで、高齢者がいつまでも元気でいきいきと豊かな暮らしを送れるよう支援を図る。	横川地区の60歳以上の住民	6～11月	5回	【実施日】 令和5年6月8日 ～ 令和5年11月9日		【今年度の実施状況】 高齢者の生活における問題などをテーマにした講座や、いつまでも元気でいられるように運動や健康についての講座、また、生きがいの創出につながるような講座を開催することができた。課題としては、コロナ以前と比べ受講者が減少傾向にあることから、講座内容等を精査し、より関心を持ってもらえるよう講座を企画していく。	【次年度の方向性】 引き続き、高齢者の生きがいとなり、より良い暮らしができるよう参加される方が満足できる講座を開催していく。
	大好きヨコカワ【CKP】	横川地区のまちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用につながるよう、地域活動参画の契機となるような内容の講座を実施する。	横川地区住民等	7月	1回	【実施日】 令和6年2月17日 ～ 令和6年2月17日		【今年度の実施状況】 令和6年2月以降実施予定	【次年度の方向性】 令和6年2月以降実施の実施を踏まえて決定する。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動	親子のひのひ講座	就園前の幼児期に、体操やレクリエーション等を通して、親子のスキンシップを深め、親子双方の育ちを支援するとともに、同じ子育て世代同士が知り合う場や母親のライフデザインを考える契機を提供する。	2～3歳児とその保護者	7～12月	5回	【実施日】 令和5年7月23日 ～ 令和5年12月13日		【今年度の実施状況】 生の演奏を聴くコンサートや読み聞かせなど、新たな内容を設定し、講座内容の充実を図ったことで、参加者アンケートからも満足度が高い講座が実施できた。参加申込についてもコロナ感染症の5類移行など影響が低くなったこともあり、講座実施の後半には申込者の増加傾向にあった。引き続き、参加者のニーズに合った講座内容の充実に努めていく。	【次年度の方向性】 引き続き、講座の目的である親子双方の育ちの支援や、子育て世代同士が知り合う場や母親の自己肯定感を高めるために有効な講座であることから、継続して開催する。
	ワクワク体験教室	児童が、同年代の子とも遠く「ものづくり」などの体験活動を通して仲間意識を育みながら、創意工夫する力を身に付ける講座を実施する。	小学生	8月	3回	【実施日】 令和5年8月2日 ～ 令和5年8月23日		【今年度の実施状況】 地元企業や地域の関係者と連携を図ったことで、企業ならではの専門的な技術を学ぶ講座が実施できたことや、参加者からも十分楽しめたとの評価があったことなどから、当初計画どおりの実施をすることができた。	【次年度の方向性】 講座の目的である「学ぶ楽しさ」「自ら考える」ことや仲間づくりに有効な講座であるため、次年度も継続して開催する。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時	【令和5年度活動事例】 横川中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援を行った。		【今年度の実施状況】 地域協議会に3回出席し、情報共有・意見交換等を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、地域協議会の委員として地域の教育力向上に取り組む団体への協力・支援を行っていく。
③ 地域組織の解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	まるごと横川【CKP】	地域学講座として地元横川の魅力などについて学ぶことを通じて、地域に対する理解や愛着を深め、地域づくりに対する意識の醸成を図ることで、人材育成や地域ビジョンの推進につなげる。	横川地区住民等	9～11月	2回	【実施日】 令和5年10月21日 ～ 令和5年11月18日		【今年度の実施状況】 地域の文化財調査員と連携を図ったことで、地域の歴史や史跡等の知識を学ぶ講座が実施でき、参加者からも十分勉強になったとの評価があり、概ね当初計画どおりの実施ができた。引き続き、地域ビジョンの取り組みの一つとして魅力ある講座内容を設定していく。	【次年度の方向性】 横川地区の文化財の冊子リニューアルするため、歴史史跡等に興味のある方々に冊子作成に参加・協力してもらえよう、次年度も継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	【実施日】 中学校区 実施委員数 実施委員会 実施回数 各地域の取り組み		【今年度の実施状況】 コロナ前に使用していた会場に戻っての開催であったが、滞りなく和やかに実施することができた。	【次年度の方向性】 今年度同様の形で行う。継続して実施委員等と連携を図り、新成人（二十歳）が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に開催する。
						合計	うち子ども	主な世代	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針			
						出展団体数	のべ来場者数	特色					
域④ 教 育 統 的 基 盤 に 基 づ き 地 域 強 化 住 民 の 学 習 や 活 動 、 交 流 を 支 援 す る 地	横川ふれあいまつり（文化祭）	横川生涯学習センター利用団体や地区内の小学校及び各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上や生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	横川生涯学習センター利用団体、地区内の小中学生及び各種団体、一般市民	11月	1回	24	800	人	・横川の特産である宇都宮牛入りのカレーの無料配布や牛串の販売、地元横川産の農産物の直売。	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、コロナ禍前の状態での開催をすることができた。4年ぶりの完全開催で、多くの来場者もあり、盛況のうちに終わった。	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、コロナ禍前の状態での開催をすることができた。4年ぶりの完全開催で、多くの来場者もあり、盛況のうちに終わった。	【今後の方向性】 今年度同様の形で行い、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を存分に発表できる場を提供する。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 生涯学習情報の発信の場として、出来るだけ新しい情報提供ができるよう、生涯学習サークル団体へ適宜、働きかけをしている。	【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内において学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供するほか、生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供する。			
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩み解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩み解決に向けた支援を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、相談者のニーズに応じた団体情報の紹介や施設情報への対応を丁寧に行うほか、的確、迅速に対応できるよう取り組むことで、学習中の課題や悩み解決のための支援をしていく。			
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
						0	0	0	0	0	0	34	

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数
	講座数	講座	実施回数	回	
子育て対象事業	2	講座	6	回	108人
シニア対象事業	1	講座	5	回	61人
成人対象事業	2	講座	4	回	77人
青少年対象事業	1	講座	3	回	32人
計	6	講座	18	回	278人

令和5年度 瑞穂野生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 瑞穂野地区においては、まちづくり協議会を組織する各種団体が中心となりさまざまなまちづくり活動を展開している。当該地域は、大規模な住宅団地の形成により子育て世代が多く居住していることから、子育て支援や青少年の健全育成を善実に推進する必要がある。その一方で、高齢化や核家族化の進行、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、地域コミュニティの希薄化なども目立ってきており、生活の核である家庭の重要性とともに、地域内の結びつきの必要性も一層高まってきている。こうしたことから、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また、学ぶ人を増やし、学んだ成果が地域活動に結びつききっかけとなる事業の充実を図り、地域課題解決と変化する社会に対応するための講座を展開する。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ講座【CKP】(中級編)	スマホの操作を学んで、日常生活を便利にするため、必要な知識・技術を身につける。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	10月	1回	【実施日】 令和5年12月7日 ～ 令和5年12月7日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 6人 うち子ども 0人 主な世代 70代	【今年度の実施状況】 スマホ基礎講座からレベルアップした中級編として、セキュリティ対策などを学ぶ内容とした。参加者は少なかったが、好評だった。	【次年度の方向性】 参加者には好評であり、今後も、デジタル化に向けて必要な講座であるため、継続して開催する。参加者の増加を目指し、実施方法や周知方法を検討する。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	9月2月	2回	【実施日】 令和5年9月7日 ～ 令和6年2月5日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 12人 うち子ども 0人 主な世代 70代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(2回中、1回開催) (スマホの利用技術の向上を図るため、基本的な操作方法を学ぶ内容とした。参加者は少なかったが、好評だった。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (今後も、デジタル化に向けて必要な講座であるため、継続して開催する。市民まちづくり部主催であることから、方針等を踏まえながら、地域の方が関心を持ってもらえるような内容を検討していく。)
	totraを使ってみよう	高齢者などが、交通系ICカード「totra」を上手に利用して、生活の向上や地域活用でのきっかけを作る。	市内在住者	11月	1回	【実施日】 令和5年11月10日 ～ 令和5年11月10日 【連携実績】 1 瑞穂野地区公共交通委員会 【参加者数】 合計 6人 うち子ども 0人 主な世代 70代	【今年度の実施状況】 交通系ICカード「totra」の利用方法や、今年度開通したLRTへの乗継方法などが学ぶことができ、参加者からは好評だった。	【次年度の方向性】 参加者が少なかったことから、瑞穂野地区公共交通委員会と協議しながら、再検討する。
	◎女性のための大人の学び講座	子育てなどが落ち着いた女性が、健康に関することや本センターで活動する自主学習グループに参加することなどで学び、継続的な「学び」へのきっかけづくりと参加者同士の交流を行う。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	9月	3回	【実施日】 令和5年9月14日 ～ 令和5年9月28日 【連携実績】 2 足利銀行 個人コンサルティング部、平石地区市民センター-保健福祉G 【参加者数】 合計 31人 うち子ども 0人 主な世代 70代	【今年度の実施状況】 ヨガやフラーワーアレンジメントなど、様々な内容を実施し、好評だったが、参加者が少なかったため、周知方法などを再検討する。	【次年度の方向性】 講座終了後も、新規の団体登録や既存の団体への参加などがあるため、継続して開催する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支援する。また、子育てに必要な知識の習得を促すとともに子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	就学前の幼児と保護者	6～10月	5回	【実施日】 令和5年6月1日 ～ 令和5年10月31日 【連携実績】 1 平石地区市民センター-保険福祉G 【参加者数】 合計 50人 うち子ども 25人 主な世代 30代	【今年度の実施状況】 リトミックやハロウィンパーティーなど、様々な内容を実施し、好評だったが、参加者が少なかったため、周知方法などを再検討する。	【次年度の方向性】 子育てしている世代からのニーズの高い講座であるため、継続して開催する。
	はっぴー子育て講座	乳児期の大切な時期に親子のスキンシップや学びを通して、家庭における子育ての向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	乳児と保護者	6～7月	2回	【実施日】 令和5年6月29日 ～ 令和5年7月6日 【連携実績】 1 平石地区市民センター-保険福祉G 【参加者数】 合計 37人 うち子ども 19人 主な世代 30代	【今年度の実施状況】 保健師によるミニ講話などを開催し、好評だったが、今後も参加しやすい内容を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 子育ての不安などに対する専門職のアドバイスが受けられ、地域のニーズが高い講座であるため、継続して開催する。
	少年ふるさと教室	体験活動を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する青少年	5月1月	2回	【実施日】 令和5年5月13日 ～ 令和6年1月21日 【連携実績】 1 瑞穂野地区青少年育成会 【参加者数】 合計 500人 うち子ども 0人 主な世代 30代	【今年度の実施状況】 地域との共済事業であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、数年、中止していたが、今年度は、久しぶりに開催することができ、参加者からは好評だった。	【次年度の方向性】 共催する青少年育成会との連携もよく、地区内の小中学校の交流のため、継続して開催する。
	親子チャレンジ教室	専門家や地域のボランティアによる指導を受けながら、親子でいるからこそにチャレンジすることにより絆を深めるとともに、体験活動を通して青少年のリーダーとしての資質向上と育成を図る。また、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設けて子育ての一助とする。	瑞穂野地区内に居住する青少年の親子	7・8・12月	4回	【実施日】 令和5年7月25日 ～ 令和5年12月23日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 74人 うち子ども 40人 主な世代 30代	【今年度の実施状況】 参加者から好評ではあるが、講座の内容によっては、集客が少ない回があるので、内容の再検討を行う。	【次年度の方向性】 地域のニーズが高い講座であるため、継続して開催する。
リーダー講習会	地区内の6年生を対象に、宿泊研修を行い、他校の仲間と交流を図る。	瑞穂野地区内の小学校6年生	7～8月	1回	【実施日】 令和5年7月30日 ～ 令和5年8月1日 【連携実績】 1 瑞穂野地区青少年育成会 【参加者数】 合計 44人 うち子ども 44人 主な世代 10代	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、数年、中止していたが、今年度は、久しぶりに開催することができ、参加者からは好評だった。	【次年度の方向性】 共催する青少年育成会との連携もよく、地区内の小中学校の交流のため、継続して開催する。	
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	【今年度活動事例】 瑞穂野中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援を行った。	【今年度の実施状況】 地域協議会に出席し、情報共有・意見交換等を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	

重点項目	事業の概要					令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針			
な③ なげ地 る域 理組 解み の促 充進 する 講座 と学 んだ 成果 を活動 につ	地域学「みずほの」	地域の特性や歴史、文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	5～12月	4回	【実施日】 令和5年5月22日 ～ 令和5年11月8日			【今年度の実施状況】 ダム見学の館外学習のほか蕎麦打ち体験などを実施し、参加者からは好評だった。		【次年度の方向性】 地域について学ぶことで、まちづくりに関心を持ってもらえるようにするため、継続して開催する。			
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 昨年度と同じ会場での開催だったこともあり、スムーズに運営することができた。		【次年度の方向性】 実施委員の意見を聞きながら、成人のつどいが円滑に進められるように支援する。		
の④ 基持 続的 の強 化に 地 域 住 民 の 学 習 や 活 動 ・交 流 を 支 援 す る 地 域 教 育	【みずほのフェスティバル】 瑞穂野生涯学習センター 文化祭 (同時開催：農業祭・福祉まつり)	センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示等の生涯学習の推進及び特色ある地域文化の向上発展、地域による主体的な地域づくりの推進、並びに地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般成人等・センター利用団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色		【今年度の実施状況】 コロナ禍前の同様の内容で開催することができた。「宮PASS」の活用もあり、多くの方が来場者し、盛況だった。		【次年度の方向性】 今年度同様の形でを行い、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を存分に発表できる場を提供する。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の掲示スペースを提供した。 ・団体一頁を作成し、活動を希望する方に配布した。			【今年度の実施状況】 学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供したほか、サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供した。		【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内において学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供するほか、生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供する。			
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。		【次年度の方向性】 引き続き、相談者のニーズに応じた団体情報の紹介や施設情報への対応を丁寧に行うほか、的確、迅速に対応できるよう取り組むことで、学習中の課題や悩み解決のための支援をしていく。				
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						10	1	0	0	0	11	16		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数			参加者数		
	講座数	実施回数				
子育て対象事業	2	講座	7	回	87	人
シニア対象事業	0	講座	0	回	0	人
成人対象事業	5	講座	11	回	115	人
青少年対象事業	3	講座	7	回	618	人
計	10	講座	25	回	820	人

令和5年度 城山生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現のために、個人の興味や関心に沿った多様な学習活動への支援を継続するとともに新型コロナウイルス感染症により社会情勢や生活様式が変化の中で、地域主体のまちづくりを推進するため、地域と連携した人づくりや地域づくりの講座を実施する。
 また、城山地区の豊かな自然と歴史ある地域資源を活かしその魅力を再認識できる講座や、災害対応など地域が抱える課題に対応するための講座を実施し、学習した成果を地域活動に生かすことができる地域の人材育成はもとより、家庭・地域の教育力の向上や、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりに取り組む。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【スタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針
① 地域の住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資す	◎ヒトマチづくり	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通して、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。	地域内住民	8月	1回	【実施日】 令和5年7月9日 ～ 令和5年7月9日			【今年度の実施状況】 地域住民の防災に関する関心が高いことから、昨年度に引き続き防災講座を実施した。 今年度は、防災会の役員及び協力員を対象とし、危機管理課による講義、グループディスカッションを行い、各自の防災に関する知識向上を図るとともに、防災会の底上げを図った。		【次年度の方向性】 次年度においても、防災講座を企画する予定であり、地区防災会の役員については、継続的に講座を受けてもらうことにより、地域の防災リーダーとしての知見を深めてもらう。また、地域住民も対象とし、いざという時の行動について考える機会とする。
	いきいきセミナー	多様化する住民のニーズに合わせて、今、住民が必要とする情報や学習機会を提供することで、生涯学習のきっかけとなり、心豊かな生活の一助となるよう支援する。	地域内住民	10月	1回	【実施日】 令和5年9月1日 ～ 令和6年2月1日			【今年度の実施状況】 スマホ基礎講座を実施。スマホを使いこなせない住民に対し、ボタン操作、画面の見方、QRコードの読み方など、実践を織り交ぜて講義。(全2回開催)		【次年度の方向性】 地域住民のスマホ利用技術の向上を図るため、スマホ基礎講座から一段階上の内容を企画する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	ともぞち広場	乳幼児の保護者と乳幼児が季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、親同士が情報交換や情報共有しながら、親子共々成長していく過程を支援していく。	0～3歳までの乳幼児とその保護者	5～12月	7回	【実施日】 令和5年5月19日 ～ 令和5年12月19日			【今年度の実施状況】 参加者からは毎回高い評価を得ることができた。 対象年齢が0歳から3歳と広いため、作業を簡単にしたり、体を動かす内容を多くするなど工夫したが、0歳児にとっては作業は難しかったため、きめ細かな内容検討が必要であると認識した。		【次年度の方向性】 「もっとやってほしい」という声も多かったため、次年度は回数を1回増し8回開催する。 また、0歳でも楽しめるよう体を動かす内容を多く取り入れるなど、内容の充実強化を図る。
	親子でにこにこクッキング	命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子で調理することにより、親子の絆を深める。また、地場産の食材を活用し、地域の関心を喚起する。季節の野菜を食材とすることで、季節を感じる豊かな心を育む。	地区内小学校に通学する児童とその保護者	7・12月	2回	【実施日】 令和5年7月9日 ～ 令和5年12月9日			【今年度の実施状況】 募集の対象を広げたことから、参加者増につながり活気ある講座となった。(小3～小4→小3～小6)		【次年度の方向性】 リピート参加者が多かったことから、新しい参加者を募集するため、実施内容や周知方法を工夫して開催する。
	★科学実験教室	身近なものをテーマにした科学実験や食中毒や感染症の予防に有効な正しい手洗い体験などを学習し、科学的なものの見方を学習する。 当初の事業計画では予定していなかったが、実施した。	小学3年生以上の児童	1月	1回	【実施日】 令和6年1月20日 ～ 令和6年1月20日			【今年度の実施状況】 当初の事業計画では予定していなかったが、衛生環境試験所の協力により、今年度初めて実施した。予想より多くの応募があり、活気のある教室になった。		【次年度の方向性】 次年度も実施することとし、衛生環境試験所と連携しながら充実した講座となるよう進めていく。
	魅力ある学校づくりの地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくりの地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 城山中学校魅力ある学校づくり地域協議会と協力し、生涯学習講座「しろやま地域学」を実施			【今年度の実施状況】 企画段階から協議に加わり、より充実した内容になるよう支援した。		【次年度の方向性】 さらに育成会等の地域団体と交流できるよう支援していく。
③ げ地る域仕理解を促進する講座と学んだ成果を活動につ	◎しろやま地域学	豊かな自然や文化財などの地域資源を知ること、地域の魅力や課題に気付くきっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。	地域内住民	8月	1回	【実施日】 令和5年7月10日 ～ 令和6年10月10日			【今年度の実施状況】 「城山再発見」と題し、城山中学校地域協議会と協力して講座を企画した。 内容としては、大谷の採石跡地の地下空間を探検しながら、大谷石の歴史を学ぶもので、日常生活では味わえない城山の魅力を再発見することができた。		【次年度の方向性】 講座内容を定型化せず、その時の社会情勢や地域のニーズに合った講座を企画し、継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学ぶ場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度新成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 実施委員数 23人	実施委員会 実施回数 1回	各地域の 取り組み 業務の効率化を図り、円滑に式典を開催した。また協賛金を使用して地域特有の記念品を配付した。	【今年度の実施状況】 当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。 【次年度の方向性】 継続して実施委員等と連携を図り、成人(二十歳)が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。 また、地域交流事業が充実したものとなるよう、二十歳の実施委員と連携を取りながら進めていく。		

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針		
域④ 教 育 統 的 基 に 盤 地 域 強 住 民 の 学 習 や 活 動 ・ 交 流 を 支 援 す る 地	城山生涯学習センター文化祭	地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山生涯学習センター利用団体、地域内小・中学校県立盲学校、及び各種団体、一般市民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色		【今年度の実施状況】 コロナ禍が明け、従来どおりホールアトラクション、作品展示、地域団体PRコーナー、模擬店、農産物販売（農業祭）、城山中学校吹奏楽演奏を行い、多くの来場者が訪れた。また、城山中学校生徒が模擬店やホールアトラクションなどにボランティアとして参加し、地域の人たちと一体となり、文化祭を盛り上げた。	【次年度の方向性】 実施内容の充実を図り、さらなる来場者数の増加を目指すほか、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を十分に発表できる場を提供する。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習センターの講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 継続して生涯学習センター内に設置している掲示板でのチラシやポスターなどの学習情報の提供等をおこなっていく。			
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の提供を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援する。また、登録団体の学習活動などを積極的に周知することで、活動の質や学習意欲の向上を図る。			
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
						2	0	0	0	0	2	23	

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	講座	実施回数	回		
子育て対象事業	1	講座	7	回	149	人
シニア対象事業	0	講座	0	回	0	人
成人対象事業	3	講座	5	回	103	人
青少年対象事業	2	講座	3	回	55	人
計	6	講座	15	回	307	人

令和5年度 国本生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>地域の生涯学習活動の拠点として社会の要請や地域住民のニーズに応じた多様な学習の場を提供することで、「地域で活躍できる人づくり」・「家庭や地域の教育力向上」・「絆づくり」を目的とした事業に取り組む。</p> <p>(ア) 地域人材や地域資源を活かし、地域を学ぶ講座を継続的に開催することで、地域の良さを再認識し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域に還元できる人づくりを目指す。</p> <p>(イ) 地域と連携し、防災に関する講座を開催することで、災害時に適切な対応ができるようにするなど、地域の安心・安全な生活を支えることができる人材の育成に繋げる。</p> <p>(ウ) 地域と家庭・学校等と連携した事業を実施し、家庭と地域が一体となって子どもを育てていくという意識を醸成し、地域全体の教育力向上を図る。</p> <p>(エ) サークル活動の支援及び趣味・教養・社会の要請等に応じた主催講座や地区文化祭の開催などを通して、地域の課題解決に役立てるとともに、地域の方々の絆を深める交流の機会を創出し、地域コミュニティづくりの強化を図る。</p>	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	9月・2月	2回	【実施日】 令和5年9月26日 令和6年2月20日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 12人 0人 70代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末現在、開催途中。(全2回中、1回開催) (参加者からはおおむね好評であるが、個人の技術的なレベルの差が大きく、多数の質問に回答が追いつかない場面があったことから、講師以外にアシスタントの数を増やすなどの対応が必要であるため、検討する。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (今後、ますますスマホ等のデジタル機器の知識の必要性は高まることから、継続して開催する。)
	くにもと元氣アップ講座	地域の人々が、日々元気に生き生きとした生活が送れるよう、フレイル予防等について学び、健康寿命の延伸に役立てるとともに、受講者同士の交流を通して地域の絆を深めていく。	地区内在住の一般成人	7月	2回	【実施日】 令和5年6月21日 令和5年7月13日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 21人 0人 60代	【今年度の実施状況】 参加者からは好評な講座であるが、より多くの人に参加してもらえよう、内容を見直す必要がある。	【次年度の方向性】 地区の介護健康度が低いことから、講座の内容を見直し、健康度向上に向けて引き続き取り組んでいく必要があるため、継続して開催する。
	◎くにもと生き生き教室【CKP】	地域から要望のあった、地域課題(防災関連)の解決に役立つ講座を開催することで、国本地区の人が安心・安全かつ生き生きとした生活を送れるようにするとともに、受講者同士の交流を通して地域の絆を深めていく。	地区内在住の一般成人	9月	1回	【実施日】 令和5年9月2日 令和5年9月2日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 国本地区づくり振興会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 26人 0人 60代	【今年度の実施状況】 地区の各種団体や自治会長などの参加を促すことで、地域の安全・安心な暮らしのための防災意識の高揚に役立つ講座となった。今後は地域活動を担う人だけでなく、個人が防災を意識し、どのように関わっていくのかを認識させる必要がある。	【次年度の方向性】 能登半島地震など災害が発生していることもあり、防災意識を啓発する講座を継続的に実施し、地域に浸透させる必要があるため、継続して開催する。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	親子ワクワク教室【Vスタッフ】	親子で様々な体験を通して、子育ての悩みを解決するための知識を習得するとともに、同世代の親子と触れ合い情報交換することで、家庭や地域内における教育力向上に役立てる。また、保健師の講話を聞くことで、子育ての環境をより充実できるよう、子どもと保護者それぞれの健康管理について学ぶ。	市内在住の未就園児とその保護者	6～12月	6回	【実施日】 令和5年6月22日 令和5年12月13日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 84人 42人 30代	【今年度の実施状況】 親子ともに楽しめる内容とする中で、参加者からはおおむね好評を得ているが、より多くの親子に参加してもらえよう、内容や日程、周知方法などについて検討する必要がある。	【次年度の方向性】 さまざまな体験等を通して同世代の親子と触れ合うとともに情報交換の場とすることで、地域の教育力を向上に繋がるため、継続して開催する。
	夏休みチャレンジ教室	小学生の夏休みの宿題に役立つ工作や科学実験など、体験型の講座を開催することで、ものづくりや科学の楽しさを学ぶとともに、他学年・他校の児童との交流を通して仲間づくりを図る。	地区内小学校の児童	7～8月	2回	【実施日】 令和5年7月27日 令和5年8月2日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 29人 29人 10代	【今年度の実施状況】 実験や給手紙などの子どもが楽しめる内容としたことで、参加者からは大変好評を得た講座だが、参加者を更に拡大させるために、学校以外での周知方法について検討していく。	【次年度の方向性】 学校では学べない内容を身近な生涯学習センターで体験できるとともに、他校の児童との交流も図ることができると、継続して開催する。
	くにもとyou・遊・club	地域で採れた食材を活かした料理やお菓子を作り、親子で地域の良さや食の大切さを再確認することで、郷土愛の醸成や地域の活性化のきっかけ作りとする。	地区内小学校の児童	12月・1月	2回	【実施日】 令和5年12月23日 令和6年1月20日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 27人 15人 10代	【今年度の実施状況】 地域の特産物を使った内容としたことで、地域理解のきっかけ作りとなり、参加者からの満足度も高い講座となったが、次年度以降は、材料費や講師などについて、十分な調整が必要のため、検討する。	【次年度の方向性】 地区の小学生の地域理解や郷土愛の醸成のため、必要な講座であることから継続して開催する。
③ 地域課題の解決を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくりの地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 国本中学校魅力ある学校づくり地域協議会の構成メンバーとして会議や行事に出席し、情報交換するとともに、当センターを会場に実施している学習支援事業「ありんこ学習室」などの実施について支援した。	【今年度の実施状況】 地域協議会に出席し、情報共有・意見交換を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、地域協議会の委員として地域の教育力向上に取り組む団体への協力・支援を行っていく。
	◎10倍楽しむ国本塾【CKP】	地域人材が講師となり、歴史・文化と地域行事、特産品などを組み合わせた地域学講座を開催することで、地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域課題解決のために還元できる人材の育成を図る。	地区内在住の一般成人	6～11月	5回	【実施日】 令和5年6月24日 令和5年11月25日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 国本地区づくり振興会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 86人 0人 70代	【今年度の実施状況】 地域の魅力を大谷石文化からの視点でとらえ、座学で学んだ内容を実際に現地学習で学ぶなど、満足度の高い講座となった。今後は、新規の参加者を増やすため、新たな視点からアプローチする内容となるよう、検討する。	【次年度の方向性】 地域の良さを再認識し、学習の成果を還元できる人材を育成するため、継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 実施委員会数 国本 23人 1回 実施委員会 実施回数 各地域の取り組み 地域事業者の物を記念品やお礼の品に取り入れた。	【今年度の実施状況】 安定した実施委員の活動により、スムーズに運営することができた。	【次年度の方向性】 継続して実施委員等と連携を図り、安定した運営を行うとともに、地域交流事業内容を充実させる。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
教④育の持続的益に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域	国本生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	国本生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色			【今年度の実施状況】 4年ぶりに例年通りの2日間での開催となったことから、多くの来場者で賑わい、地域の方に生涯学習事業を広く知っていただくことができた。	【次年度の方向性】 次年度も2日間開催することとし、今年度参加を見送った団体にも積極的に参加してもらおう声掛けをしていく。引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を存分に発表できる場を提供する。
					20 団体	約 1,000 人	・「くにもまつり」として文化祭と地区農業者祭を同時開催し、賑わいを創出している。 ・国本西小学校の「赤丹獅子舞」や文化財資料の展示で、地域の特色ある文化祭となっている。					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板を生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。		【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内でサークルのチラシやポスターなどを掲示し、市民に対し生涯学習情報を提供する。	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 団体状況の問い合わせがほとんどだったが、相談者のニーズに応じた適切な紹介をするなど、学習相談や悩み解決支援、学習情報を行った。		【次年度の方向性】 引き続き、相談者のニーズに応じた団体情報の紹介や施設情報への対応を丁寧に行い、学習中の課題や悩み解決のための支援をしていく。	
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
					4	7	0	0	0	11	16	

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	講座	実施回数	回		
子育て対象事業	1	講座	6	回	84	人
シニア対象事業	1	講座	2	回	12	人
成人対象事業	3	講座	8	回	133	人
青少年対象事業	2	講座	4	回	44	人
計	7	講座	20	回	273	人

令和5年度 富屋生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

富屋地区においては、まちづくり連絡協議会を核とした地域主体の事業が活発に展開がされており、今後も継続して「住民主体のまちづくり」を推進していくための人材育成が、一層求められている。こうしたことから、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づき、地域資源の活用や課題解決に向けた取り組みの契機とするためとみや魅力発見・ガイド養成講座などへの参画を通して、地域社会を支える「人づくり」を推進するため、生涯学習事業の充実を努める。

また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、子育て世代の親子を対象とした特色ある事業を展開していく。

また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、子育て世代の親子を対象とした特色ある事業を展開していく。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域がやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	8～2月	2回	【実施日】 令和5年8月30日 令和6年2月8日 【連携実績】 連携団体数 0 【参加者数】 合計 19人 うち子ども 0人 主な世代 60代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末現在、開催途中。(全2回中、1回開催) 【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (講師との事前打合せを行ったため、円滑な事業運営ができた。参加者を増やすため、効果的な周知を行う必要がある。)	【今年度の実施状況】 【次年度の方向性】 講座内容(趣味や生きがい、食生活改善)等への満足度も高いことから、継続して開催していく。	
	シニア講座	情報化や少子高齢化など、高齢者を取り巻く環境が変化している中、日常生活に即した課題解決に取り組むとともに、高齢者がいつまでも元気で心豊かに過ごせるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を図る。	地区内の60歳以上の成人	6～12月	2回	【実施日】 令和5年10月26日 令和5年12月4日 【連携実績】 連携団体数 0 【参加者数】 合計 22人 うち子ども 0人 主な世代 60代	【今年度の実施状況】 自治会回覧や団体への勧誘を実施したが、参加が低調であり、募集のさらなる強化を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 講座内容(趣味や生きがい、食生活改善)等への満足度も高いことから、継続して開催していく。	
	とみや女性学	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通して、地域のネットワークを広げるとともに、女性のために地域力アップを図る。	富屋地区在住の成人女性	6～8月	3回	【実施日】 令和5年6月7日 令和5年8月1日 【連携実績】 連携団体数 0 【参加者数】 合計 45人 うち子ども 0人 主な世代 60代	【今年度の実施状況】 防災やストレッチなど、多様な内容を開催し、参加者からの満足度は高かった。当日の欠席を考慮し、材料費がかかる講座は事前に集金が必要のため、検討する。	【次年度の方向性】 女性がいきいきと活躍するための知識を学び、地域で活動する仲間を作る講座のため継続して開催する。	
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 富屋生涯学習センター主催講座「とみや再発見」と「富屋小学校5年生の総合学習のフィールドワーク」時の引率及び説明を富屋小学校地域協議会メンバーとともに行った。	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスの影響で予定していた引率者の人数が減ってしまったことから、余裕をもって人材確保をする必要がある。	【次年度の方向性】 事前に小学校や引率者など入念な打ち合わせを行ったことから、円滑に事業を実施することができた。今後も継続して、地域協議会の委員として地域の教育力向上に取り組む団体への協力・支援を行っていく。	
	とみや再発見【CKP】	富屋小学校に学ぶ児童が、自分たちの住んでいる地区の自然や歴史、文化、産業などについて自ら調べ、学習能力を高めるとともに、地域の素晴らしさや魅力を知り、郷土愛の心を育てる。	富屋小学校児童	12～2月	4回	【実施日】 令和5年12月15日 令和6年2月29日 【連携実績】 連携団体数 1 富屋小学校 【参加者数】 合計 92人 うち子ども 92人 主な世代 代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末現在、開催途中。(全4回中、3回開催) (富屋小の5年生が、学習のテーマを自分で決め、地域の文化や史跡を調べ、成果を発表した。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (生涯学習センターと富屋小学校が連携し、富屋地区の歴史や文化財を子どもたちに学ばせ、郷土愛を育む貴重な場であるため継続して開催する。)	
	タコづくり講習会	子どもたちの遊びの主流がゲームになっている現代において、地域の伝統的な遊びである風あげを体験するための脈を自ら作成することにより、豊かな心と想像力を育むとともに、下野脈を後世に伝える。	富屋小学校児童	11～12月	2回	【実施日】 令和5年11月20日 令和5年12月3日 【連携実績】 連携団体数 1 富屋地区青少年育成会 【参加者数】 合計 33人 うち子ども 27人 主な世代 10代	【今年度の実施状況】 小学生にタコづくりを教えるため、育成会執行部が複数のタコの作り方を習得したことから、円滑な事業運営ができた。	【次年度の方向性】 地域の伝統的な事業でもあることから、次年度も富屋地区青少年育成会と共催で継続して開催する。	
つ③ 各地域の理解を促進する講座と学んだ成果を活動に	親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	就園前の乳幼児とその保護者	7～9月	3回	【実施日】 令和5年7月18日 令和5年9月26日 【連携実績】 連携団体数 0 【参加者数】 合計 48人 うち子ども 24人 主な世代 30代	【今年度の実施状況】 リトミックや夏祭りなど、多様な内容を実施したが、地区内には就園前の乳幼児が少ないことから、効果的な募集方法を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 受講者へのアンケートでは満足度がとても高く、親子のふれあいを深める機会の提供ができることも、同じ年代の子や親同士が交流できる機会作りが繋がることから、継続して開催していく。	
	◎とみや魅力発見ガイド養成講座	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特色を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。また、これらを後世に伝えるために、地域以外の住民にも広く受講者を募り、解説できる人材を育成する。	富屋の自然・歴史・文化財に興味のある方	6～7月	6回	【実施日】 令和5年6月15日 令和5年7月19日 【連携実績】 連携団体数 1 富屋地区まちづくり連絡協議会 【参加者数】 合計 107人 うち子ども 0人 主な世代 60代	【今年度の実施状況】 令和5年度はガイド養成講座の修了生の中から、『徳次郎案内人』を第1号認定するなど実績を作ることができた。今後も多くの人に受講してもらえよう、地区内外にPRを継続していく。	【次年度の方向性】 地域の魅力を伝える人材育成に繋がっているため、継続して開催する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにすることともに新成人(二十歳)が地域のひとから学べる場、地域へ貢献する場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	【実施日】 令和5年1月1日 【連携実績】 連携団体数 1 富屋地区まちづくり連絡協議会 【参加者数】 合計 21人 うち子ども 1人 主な世代 60代	【今年度の実施状況】 実施会場が変更となったが、実施委員等と連携を図ることで、式典および地域交流事業について、円滑に滞りなく開催することが出来た。 ※ 晃陽中学校区は、今年度は藤井生涯学習センターが担当した。	【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。 ※ 晃陽中学校区は、今年度は藤井生涯学習センターが担当した。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針			
域④ 教育続 の基に 盤地 域強 住民 の学 習や 活動 ・交 流を 支 援す る地	とみやふるさとまつり	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 コロナ禍前の状況に戻り、4年ぶりに通常開催となったことから、飲食関係の出店があった。地域を代表するイベントであることから、多くの団体が出展・出演し、より多くの地域住民が参加できるような事業となった。	【今年度の方向性】 より多くの団体に出演・出演してもらい、さらに賑わいのある地域イベントとするほか、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を十分に発表できる場を提供する。				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例					【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により生涯学習登録団体の活動や団体登録数が減っていることから、生涯学習センター内の掲示板上に各種生涯学習団体のポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内に設置の掲示板に各生涯学習団体のチラシやポスターなど掲示し、市民に対し生涯学習情報を提供する。		
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 市民からの問い合わせに対して、マナビス等を確認して回答するなど、相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに合わせ適切な対応を行い、学習相談や悩み解決を支援していく。				
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易 問い合わせ		
						2	3	0	1	0	6	13		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数		参加者数			
	講座数	実施回数				
子育て対象事業	1	講座	3	回	48	人
シニア対象事業	2	講座	4	回	41	人
成人対象事業	2	講座	9	回	152	人
青少年対象事業	2	講座	6	回	125	人
計	7	講座	22	回	366	人

令和5年度 豊郷生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 豊郷地区においては、地域まちづくり協議会が主体となった各種まちづくり事業をはじめ、地域団体・学校との連携を組織である各種団体が主体となり地域活動が活発に展開しているが、地域住民のコミュニティ意識や連帯感の希薄化、少子・超高齢化や都市化・核家族化の進行による家庭・地域の教育力低下など、地域を取り巻く環境に様々な課題が生じている。
 このようなことから、多様化する地域ニーズや課題等を的確に捉え、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象とした講座を開催し、学ぶことの喜びを通した仲間づくり・生きがいづくりや郷土愛の醸成へとつなげるとともに、学んだ成果を地域づくりに活かせる環境を構築するなど、人間力や家庭の教育力の向上に資する事業に取り組む。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 業地の域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	未定	2回	【実施日】 令和5年9月6日 ～ 令和6年2月28日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 19人 0人 70代	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(2回中、1回開催) (参加者がスマホの基本操作やWEBサイトの検索方法などを覚える機会を提供することができた。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (身近なスマートフォンの基本操作やWEBサイトを活用した情報収集の方法などを学ぶ機会を提供することは、市民のデジタルデバイス対策として有効であることから、次年度も継続し開催する。)
	とよさと元気塾	情報化、国際化、少子高齢化など、高齢者を取り巻く生活環境は常に変化している。そのような中で、心豊かに過ごせるよう、仲間づくり、生きがいづくりを支援するとともに、地域社会を支える人づくりを目指す。	地区内在住の成人(60歳以上)	6～11月	5回	【実施日】 令和5年6月20日 ～ 令和5年10月17日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 158人 0人 70代	【今年度の実施状況】 高齢者のデジタルデバイス対策として初めてスマホ講座を取り入れたところ、受講者からの評価が高かったほか、健康づくりや特殊詐欺、音楽療法など、多様なテーマを提供することで、受講者の満足度が高い講座を開催できた。 今後は、受講者から体を動かす講座を取り入れてほしいとの意見があったことから、学歴ばかりにならないように体を動かすような講座を組み込む必要がある。	【次年度の方向性】 シニア世代を対象とした講座であり、市民のニーズが高いことから、プログラムを見直しながら次年度も継続して開催する。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、保護者同士の情報交換の場を提供し、子育て中の親の仲間づくりを図る。	就学前の幼児と保護者	5月～10月	6回	【実施日】 令和5年6月22日 ～ 令和5年12月21日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 92人 47人 30代	【今年度の実施状況】 リトミックやヨガなど親子で参加できる内容だったが、参加者が少なかったことから、参加者のニーズを把握して、講座内容の見直しが必要である。また、外出機会が確保されたことから、参加者からは、満足度が高く好評だった。	【次年度の方向性】 親子の外出機会の確保のため、継続して開催するが、参加者のニーズを把握し、講座内容を変更するほか、参加者募集は市のLINEを活用するなど、デジタル活用を図る等、内容や実施方法を検討する。
	◎親育ち講座	家庭を取り巻く社会情勢が変化するなか、子育てへの自信喪失や不安感を解消することにより、家庭における親の教育力の向上を図る。	市内在住の1～3歳児の保護者	9月～10月	4回	【実施日】 令和5年9月14日 ～ 令和5年10月26日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 28人 0人 30代	【今年度の実施状況】 ・グループワークを実施。講座内容が充実したほか、託児を設けたことで、講座に集中できて良かったとの声があり、参加者の満足度が高く、好評だった。また、自主サークルの立ち上げのため、連絡先やLINEを交換するなど、親同士の交流が図られ、問題解決に向けて効果が得られた。	【次年度の方向性】 社会の中で孤立してしまう親子もおり、問題解決のためには必要な講座であるほか、参加者の目的が達成され、有意義な講座内容のため、継続して開催する。子ども家庭支援室と連携を図りながら、講座内容の充実を図る。
	わくわく体験教室	子どもの頃の体験や多くの人の出会いが、生きる力を育み人間力の向上を培うことから、学校、学年、学級を超えた仲間との交流や、生活体験・社会体験を通して自ら考え行動できる青少年の育成を図る。	地区内小学校4・5年生	6～10月	5回	【実施日】 令和5年6月3日 ～ 令和5年9月30日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 3回 帝京大学、本田技研、泉陽がいの者スポーツ協会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 146人 146人 10代	【今年度の実施状況】 市の出前講座や大学の出前講座、企業の出前講座などを活用することにより、日ごろ学校では体験することができないプログラムを提供することができた。	【次年度の方向性】 地区内には4小学校があるため、小学校の4年生と5年生を対象とした体験型の講座を通して、新しい仲間づくりにもつなげる有意義な講座であることから、継続して開催する。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	【今年度の実施状況】 令和5年度活動事例 ・豊郷中学校地域協議会の作成する「学校園カレンダ―」を地域へ配布協力を行った。 ・豊郷中央小学校地域協議会の主催する「あいさつ運動」のポスターをセンター内に掲示し、来庁者に周知を行った。	【今年度の実施状況】 豊郷中学校地域協議会の作成する「学校園カレンダ―」を地域へ配布したほか、豊郷中央小学校地域協議会が主催する「あいさつ運動」のポスターをセンター内に掲示した。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会の要請や依頼に応じながら、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	◎まほろば探検塾	地域の歴史や文化を学ぶことにより、地域の持つ魅力や課題に気づき、それを活かした地域の活動や課題解決につなげるとともに、学びを通じた仲間づくりを目指す。	地区内在住の成人	9～12月	4回	【実施日】 令和5年9月20日 ～ 令和5年12月13日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 138人 0人 70代	【今年度の実施状況】 地域資源である美術館と栃木県誕生150年をテーマにした構成としたが、地域密着型と県域に視点を広げたものとバランスが取れた内容となり、参加者からの満足度も高かった。	【次年度の方向性】 受講生の満足度が高く、地域を知ることや郷土愛を醸成する有意義な講座であることから、次年度も継続して開催する。
	防災力UP講座【CKP】	いつやってくるかわからない災害に備えるために防災に関する様々な知識を習得し、命を守る行動につなげるための地域防災力の向上を目指す。	地区内在住の成人	10月	1回	【実施日】 令和6年1月21日 ～ 令和6年1月21日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 豊郷地区防災会、豊かな郷づくり推進協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 43人 0人 60代	【今年度の実施状況】 令和元年度台風19号による災害発生時にできたこと、できなかったことを振り返り、今後地域で取り組む課題について共有することができた。また、ブロックごとに班分けを行い、グループワークを行ったことで、各ブロックごとの課題や今後の取り組みについても情報共有することができた。	【次年度の方向性】 地域の課題を共有したところであり、次のステップとして課題解決に向けた地域の今後の取組を考える機会を提供できるよう、次年度も継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	【今年度の実施状況】 【実施回数】 中学校区 実施委員数 実施回 豊郷 25人 2回 【参加者数】 各地域の取り組み 成人代表の希望を取り入れ、クラス担任の教師に加え、当時の校長先生を初めて来賓として招待した。	【今年度の実施状況】 クラスの誘導など、成人代表にあらかじめ式典等をお願いしたい役割をよく伝えておいたことから、写真撮影時の集合や退場等が混乱なく実施できた。	【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と連携を図り、成人代表の希望を取り入れながら、安定した運営を行い、心に残るつどいとなるよう取り組んでいく。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針										
		内容	対象	時期	回数	事業実績				評価		今後の方針				
域④ 教持育続 的基に 盤地の 域強住 民の学 習や活 動、交 流を支 援する 地	豊郷まつり (センター文化 祭)	センター利用団体の学習 成果の発表の場を提供す る。	豊郷生涯 学習セン ター利用 団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数		特色		【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスが5類感染症に 移行してから初めての開催だったた め、来場者数を予測することが困難 だったが、多くの市民が生涯学習団 体の成果発表を観覧し、大変盛況で あった。		【次年度の方向性】 生涯学習活動団体の成果がより多く の市民に発表できる機会を提供でき るよう、今後も「豊郷まつり」との 同時開催を継続していく。			
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動 を啓発・支援し、生涯学 習に対する市民ニーズに 的確に対応するため、学 習施設や学習機会等の生 涯学習関連情報を収集す るとともに、その情報を 市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例				【今年度の実施状況】 ・生涯学習に関するチラシやポス ターを配架・掲示し、市民に情報提 供を行った。 ・配架依頼物が多いため、配架期間 を調整しながらできる限り多くの生 涯学習情報を提供した。		【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センタ ー内で民間学習事業者や生涯学習に 関わる団体等のチラシやポスターを掲 示し、生涯学習情報を提供する。				
	学習相談	相談者のニーズに応じた 具体的な学習活動への引 き上げや相談者の活動の 質の向上、学習活動中の 問題や悩みへの解決の手助 けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績				【今年度の実施状況】 生涯学習登録団体に関する問い合わ せがほとんどであったため、登録団 体一覧表の配布や団体の事務連絡者 の案内を行い、市民の学習への支援 を行った。		【次年度の方向性】 引き続き、相談者のニーズに応じた 団体情報の紹介や施設情報への対応 を丁寧に行い、学習中の課題や悩み 解決のための支援をしていく。				
						18	1,300		地域文化の向上と主体的な地 域づくりの推進及び地域住民 の連帯意識の高揚を図ること を目的としている「豊郷まつ り」と同時開催とすることに より、より多くの市民に生涯 学習団体の成果を発表するこ とができた。							
						1	0	0	0	0	1	80				

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	講座	実施回数	回		
子育て対象事業	2	講座	10	回	120	人
シニア対象事業	1	講座	5	回	158	人
成人対象事業	3	講座	8	回	200	人
青少年対象事業	1	講座	5	回	146	人
計	7	講座	28	回	624	人

令和5年度 篠井生涯学習センター事業計画・事業実績

<p>基本方針</p> <p>篠井地区は、古くから豊かな自然に恵まれ、世代間の交流を大切に、歴史と伝統が大切に守られてきた地域であり、まちづくり協議会とその構成団体である各種団体が主体となり地域活動を活発に行ってきた。しかしながら、少子超高齢化、コミュニティ意識の希薄化、団体役員の固定化や担い手不足など、さまざまな課題も生じている。このことから、学びを通して豊かな人間性を育み、地域コミュニティや地域教育の向上を図るため、「篠井地域ビジョン」の考えに基づき、地域教育の向上を図る講座、子育ての仲間づくりや家庭教育を学ぶ体験的な講座、魅力や課題を捉える地域学講座などに取り組み、地域の人材育成とともに「自然と共に伸び伸びと生きるまち 篠井」を目指す。</p>
--

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
生①活の地域向住民にの資学習する意欲の高推進と	輝き人生教室	余暇の有効活用、健康の維持促進、世代間交流を通して、健康で生きがいのある生活ができる力を身につける。	高齢者	5～1月	8回	【実施日】 令和5年8月22日 ～ 令和6年1月19日		【今年度の実施状況】 小学校と連携し、昔あそびや手打ちうどんづくりなどの講座を通して、高齢者と児童がふれあいながら学べる場を提供することが出来た。参加者については、高齢者が主体であることから、参加増員よりも現状維持に努めていく必要がある。	【次年度の方向性】 小学校児童とのふれあい学習は、重要であり、小学校からも依頼があることから継続して開催する。
	【連携実績】		【参加者数】		【参加者数】		【参加者数】		
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】			合計		うち子ども	主な世代	
	1	篠井地区松寿会連合会			183人	93人		代	
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	ワクワク子育て仲間づくり	親子の絆や愛情を深め、心身の健康を育むとともに、受講生同士の交流を促進し、仲間づくりや子育てに必要な情報を提供する。	0歳児～3歳児までの未就園児とその保護者	7～2月	8回	【実施日】 令和5年6月27日 ～ 令和6年3月13日		【今年度の実施状況】 令和6年1月末現在、開催途中。（全10回中、8回開催） （広報紙やチラシにより呼びかけを行うことで、参加者の維持・確保をすることが出来た。また、講座を通じて、参加者同士の横の繋がりを作ることが出来たほか、アンケートの結果については満足度の高い内容で講座を実施することが出来た。）	【次年度の方向性】 令和6年3月以降の実施を踏まえて決定する。 （参加者の維持継続に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行っていく。また、参加者のニーズに沿った内容で講座を企画・運営し、継続して開催する。）
	【連携実績】		【参加者数】		合計		うち子ども	主な世代	
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】			120人	62人		30代	
	-	-							
少年大空教室	日常生活では経験できない多様な学習・体験を通じ、自主性や好奇心、考える力を養うとともに、他者との交流を通じて協調性や社会性の育成を図る。また、講座をおして、参加者に篠井地区の魅力を発信する。	篠井小学校の児童とその保護者および市内在住の小学生とその保護者	8～1月	5回	【実施日】 令和5年8月1日 ～ 令和6年1月14日		【今年度の実施状況】 広報紙やチラシにより、呼びかけを行ったが、参加者数が定員に満たないものもあり、周知方法や内容の見直しを検討する必要がある。	【次年度の方向性】 参加者のニーズに沿った企画・運営を行い、継続して開催する。また、周知方法については、広報紙やチラシなどを活用し、市全体に呼びかけていく。	
	【連携実績】		【参加者数】		合計		うち子ども	主な世代	
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】			41人	22人		10代	
	-	-							
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	【令和5年度活動事例】 ・ホラソフティア組織が奉仕活動の一環として、小学校の資料室の清掃や校庭の落ち葉破棄など、小学校児童と一緒に活動している。 ・生涯学習講座を通じて、地域の老人クラブと小学校児童が世代間交流を図っている。		【今年度の実施状況】 生涯学習講座を通じて、高齢者と小学校の世代間交流支援を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、小学校の奉仕活動に協力していく。また、生涯学習講座についても、地域の老人クラブと小学校児童が世代間交流を図っていく。	
	【連携実績】		【参加者数】		合計		うち子ども	主な世代	
み③の地域実理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組み	◎地域力アップ教室	地域をより一層成長させるために地域を確認し、地区内にある資源・文化伝統等を新発見し、地域ビジョンの実現へと繋げる。	地域住民	7～11月	4回	【実施日】 令和5年7月29日 ～ 令和6年2月7日		【今年度の実施状況】 令和6年1月末現在、開催途中。（全6回中、5回開催） （「スマホ基礎講座」と抱き合わせによる実施） （地区内のほか、広報紙やチラシにより呼びかけを行うことで、参加者の維持・確保をすることが出来た。災害時対策の講座について、地域住民が積極的に参加できるように周知方法を工夫する必要がある。）	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 （参加者の維持継続に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行っていく。また、参加者のニーズや地域力を高めるための内容など、講座の内容を工夫しながら、継続して開催する。）
	【連携実績】		【参加者数】		合計		うち子ども	主な世代	
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】			56人	0人		60代	
	-	-							
二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	
	【連携実績】		【参加者数】		合計		うち子ども	主な世代	
21人	1回						集合写真等をQRコードからダウンロード出来るようにすることで、成人者による卒業送付封筒の宛名書きの負担をなくすることが出来たとともに、その分の時間を地域交流事業に有効に活用することが出来た。	【今年度の実施状況】 実施会場が変更となったが、実施委員等と連携を図ることで、式典および地域交流事業について、円滑に滞りなく開催することが出来た。	【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針																	
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針													
基④ 盤持の強化的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の	篠井生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	<table border="1"> <tr> <th>出展団体数</th> <th>のべ来場者数</th> <th>特色</th> </tr> <tr> <td>21 団体</td> <td>900 人</td> <td>篠井生涯学習センター対象地域住民の関心により文化祭事業を展開し、地域文化の向上発展と生涯学習推進、地域住民の連携意識の高揚を図り、豊かで活力あるまちづくりに寄与することを目的に実施した。</td> </tr> </table>	出展団体数	のべ来場者数	特色	21 団体	900 人	篠井生涯学習センター対象地域住民の関心により文化祭事業を展開し、地域文化の向上発展と生涯学習推進、地域住民の連携意識の高揚を図り、豊かで活力あるまちづくりに寄与することを目的に実施した。	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>「秋まつり」「文化祭」の通常開催については、アフターコロナの影響もあり、出演団体等に減少があったものの、会場は賑わっており、円滑に開催することが出来た。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>作品展やホール部門について、生涯学習団体および地域関係団体ほか、地域住民から参加を募るほか、「秋まつり」で運営する模擬店や文化祭と共催のアトラクションなども地域全体で盛り上げていく。</p>									
	出展団体数	のべ来場者数	特色																				
	21 団体	900 人	篠井生涯学習センター対象地域住民の関心により文化祭事業を展開し、地域文化の向上発展と生涯学習推進、地域住民の連携意識の高揚を図り、豊かで活力あるまちづくりに寄与することを目的に実施した。																				
情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	<p>令和5年度活動事例</p> <p>生涯学習センター内に設置している掲示板へ民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。</p>			<p>【今年度の実施状況】</p> <p>センター内に設置の掲示板に生涯学習講座など学習情報を提供した。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>今後も継続して、生涯学習センター内で民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。</p>														
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みへの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	<p>令和5年度実績</p> <p>内訳（件）</p> <table border="1"> <tr> <th>来館</th> <th>電話</th> <th>FAX</th> <th>Eメール</th> <th>その他</th> <th>合計</th> <th>簡易問い合わせ</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </table>			来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	0	0	0	0	0	0	7	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。</p>
来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ																	
0	0	0	0	0	0	7																	

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数		参加者数			
	講座数	実施回数				
子育て対象事業	1	講座	10	回	120	人
シニア対象事業	1	講座	7	回	183	人
成人対象事業	1	講座	6	回	56	人
青少年対象事業	1	講座	3	回	41	人
計	4	講座	26	回	400	人

令和5年度 姿川生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>当地区では、姿川地区将来ビジョンに掲げた将来像を実現するため、地域と行政が協働して取り組んでいるところである。このため、まちづくりを身近に感じてもらえる講座や地域の人が講師として活躍できる講座を開催し、地域まちづくりへの関心や参加意識を高め、学んだ成果を地域に還元できる機会を提供するとともに、地域の学習拠点として内容の充実を図ることにより、地域力の向上を図っていく。</p> <p>また、当センターが保健福祉における南部地域の拠点であることから、まちづくり支援グループと保健福祉グループとで連携して、健康づくりや子育てに関する講座など特色ある事業を展開していく。</p> <p>(ア) 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 ・高齢者がいつまでも明るく安心して生活するためには、健康で充実した生活と地域社会との関わりが必要であることから、健康や生きがいづくりに係る知識の習得や運動等と内容とする事業を推進する。 (イ) 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進 ・親子の絆を深めながら子どもの健全育成に繋げるため、親と子どもが触れ合う機会を提供していく。 ・地域団体や企業等と連携し、子どもたちの連帯感や共同意識を醸成するとともに、将来の地域まちづくりを担う人材に繋げるための学習活動を推進する。 ・保健福祉の拠点という当センターの特性を活かした講座を開催するなど、子育て世代の親子を対象に、より充実した子育てにつながる学習やふれあいの場を提供していく。 (ウ) 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 ・地域団体と連携しながら、地域の文化・歴史に係る学習等の機会を提供し、地域に対する理解や愛着を育むとともに、学んだ成果を地域に生かせる機会の提供につながる情報を充実させていく。</p>	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かやプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績		
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマートフォン初心者向け講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器への使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住のスマートフォン初心者	9～1月	2回	【実施日】 令和5年9月1日 ～ 令和6年1月22日	【今年度の実施状況】 内容はとても分かりやすいと評判であった。応募数が定員をはるかに超えて、抽選で受講生を決定したが、それだけニーズが多いことから、回数を増やして多くの人に受講してもらおうべきか、検討する必要がある。また、単発ではなく、2回連続講座にし、スマートフォンに慣れてもらう必要があるため、実施方法等を検討する。	【次年度の方向性】 デジタル化の推進には欠かせない講座であることから、市民ニーズや講座を主導しているみんなでもちづくりの意向を確認しながら事業を進めていく。
	ここにこシニアすかたがわ	健康や生きがいづくりに係る知識の習得や運動等を実践し、家庭内でも手軽に実践することにより、シニア世代が健康で充実した毎日を送るためのきっかけづくりを目的とする。	姿川地区在住の60歳以上の方	7～12月	6回	【実施日】 令和5年7月28日 ～ 令和5年11月9日	【今年度の実施状況】 健康づくり、スポーツレクリエーション、薬の知識などを実施し、参加者からは概ね好評だった。	【次年度の方向性】 地域から一定のニーズがある講座であるため、継続して開催する。
	ヘルシー料理教室	家庭内で料理を手軽に取り組むことができ、健康増進に繋がる調理実習を地域健康づくり団体等と連携して企画し、家庭生活での充実を図る。	姿川地区在住者	7～12月	3回	【実施日】 令和5年8月3日 ～ 令和6年2月8日	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(全4回中、3回開催) (開催するにあたって館内掲示及び回覧で対応しているが、回覧が滞ることにより参加を希望する市民に対し、情報が行き届かない事例が見られた。今後は、回覧の時期を早めるなど周知の在り方について検討する。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (地域から一定のニーズがある講座であるため、令和6年2月以降の実施を踏まえながら、継続して開催する。)
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	親子ふれあい広場	親子のスキンシップを通して、健やかな親子関係を育むとともに、参加者同士のコミュニケーションを深め、子育てネットワークの促進を図る。	乳幼児とその保護者	6～2月	8回	【実施日】 令和5年6月12日 ～ 令和6年2月28日	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(全8回中、2回開催) (ヘビーダンスや乳園のお手入れなど、様々な内容で実施し、企画運営は円滑に実施できたが、若干定員が割れた回があったことから、今後は、募集の仕方に工夫が必要である。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (子育て支援の一環とした講座であり、今後のニーズも見込まれることから、令和6年2月以降の実施を踏まえながら、継続して開催する。)
	親子エンジョイ講座	親子で触れ合いながら楽しく体験することにより、家庭教育や子育て・子育ての充実につなげる。	姿川地区内在住の小学生とその保護者	12月～1月	2回	【実施日】 令和5年 - 月 - 日 ～ 令和5年 - 月 - 日	【今年度の実施状況】 青少年対象講座であり、連続講座として実施していた「ふるさと教室」と統合し、単発講座として実施することとした。	【次年度の方向性】 左記のとおり、「ふるさと教室」に統合する。
	ふるさと教室	地域団体や企業等と連携しながら、地域内の自然環境・歴史文化や工作など幅広いジャンルの学習の機会を提供することにより、子どもたちの連帯感や共同意識を醸成し、将来の地域まちづくりを担う人材に繋げる。	姿川地区内在住の小学生	11月～2月	4回	【実施日】 令和5年8月19日 ～ 令和6年1月14日	【今年度の実施状況】 勾玉づくりを実施し、参加者からは大変好評だったが、申込みが予想より少なかったことから、開催時期等について検討する必要がある。	【次年度の方向性】 地域に愛着を持ってもらうための講座であることから、継続して開催する。
③ 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	【令和5年度活動事例】 2中学校、3小学校の魅力ある学校づくり地域協議会に委員として出席した。	【今年度の実施状況】 各小中学校の地域協議会に出席し、情報提供等を行った。	【次年度の方向性】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組み、団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら、支援していく。
	姿川歴史教室	「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「姿川さんぽ」を活用し、「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	姿川地区在住者	11月	1回	【実施日】 令和5年11月13日 ～ 令和6年2月18日	【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(全4回中、3回開催) (姿川の石碑についての講義や、現地見学を実施したところ、定員以上の申込みがあり、参加者からは好評だった。)	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (地域から一定のニーズがある講座であるため、令和6年2月以降の実施を踏まえながら、継続して開催する。)

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
な③ 地域理解促進の促進する講座と学んだ成果を活動につ	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、式典を実施したが、さらに円滑に実施するために、会場等を検討していく。	【次年度の方向性】 継続して実施員等と連携を図るほか、会場等を検討することで、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。	
	ゆず染め教室(上河内地区との連携事業)	・他地区の特色を学び、人的交流する機会を創出することで、改めて、地区内の特色や気づきを促すことができる学習の機会を企画する。 ・地区間での技術貿易(技術や知恵、人材交流など)の活性化を図る。	姶川地区在住者	8月	1回	【実施日】 令和5年7月18日 ～ 令和5年7月18日			【今年度の実施状況】 当センター調理実習室での開催では人数に制約があり、多くの参加希望者の参加が見込めないことから、実施方法等を検討する。	【次年度の方向性】 上河内地区との地域交流事業の一環でもあることから、継続して開催する。		
④ 持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基盤の強化	★目指せ! 姿人(すがたびと)講座	厚生労働省が定める3月1日から3月8日までの「女性の健康習慣」にあわせ、姶川地区においても女性の心や身体の健康増進を図る。	普段生涯学習センターを利用されていない世代で18歳以上の女性	2～3月	3回	【実施日】 令和6年2月24日 ～ 令和6年3月9日			【今年度の実施状況】 令和6年2月以降実施予定	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。		
	姶川地区文化祭	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般市民及び姶川生涯学習センター利用団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 ・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、4年ぶりの平時開催内容となり、多くの市民が生涯学習団体の成果発表を観覧し、大盛況で賑やかな文化祭となった。 ・久しぶりの平時開催で運営側が運営方法等に戸惑いながら進出し、展示・アトラクション・模擬店等、無事故で開催できた。特に地域間交流事業における「新たな文化に触れる機会の創出」として、上河内地区ブース出展及びスペシャルイベント(歌うま高校生による歌謡ショー、ポディビルショー)が大反響だった。	【次年度の方向性】 今年度同様に地域の特色あるアイデアや意見を活かして、地域住民同士が文化祭を楽しみ、かつ生涯学習活動団体の成果がより多くの市民に発表できる機会を提供できるよう工夫を重ねる。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供している。			【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 継続して、センター内に設置している掲示板での学習情報の提供等を行っていく。		
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳(件) 来館 電話 FAX Eメール その他 合計 簡易問い合わせ 0 0 0 0 0 0 20			【今年度の実施状況】 相談の多くが、生涯学習登録団体に関するものであったことから、登録団体一覧表の配布や団体の事務連絡者への案内を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどをを行う。		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数				
子育て対象事業	1	講座	8	回	78	人
シニア対象事業	1	講座	6	回	94	人
成人対象事業	5	講座	60	回	94	人
青少年対象事業	1	講座	8	回	1	人
計	8	講座	82	回	267	人

令和5年度 雀宮生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
地域の生涯学習の拠点として、幅広い世代を対象に「学び」の機会を提供し、学んだ成果が地域に還元され、地域活動が活発に展開されるよう、以下の考え方に基づき、「人づくり」と「地域づくり」の観点から生涯学習を推進する。	
(ア)	ものづくりや体験活動を通して、仲間との連帯感や責任感を養い、リーダーシップを醸成し、次代を築く「青少年の健全育成」を図る。
(イ)	子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を促し、「家庭教育支援」を図る。
(ウ)	心身ともに健康で充実した高齢期を過ごせるよう、健康づくりや趣味・教養の習得を支援し、「高齢者の生きがいづくり」の促進を図る。
(エ)	雀宮の文化や歴史など、地域の資源や魅力を再認識し、地域への理解や愛着を深め、「地域コミュニティの強化」を図る。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域ががやプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	未定	2回	【実施日】 令和5年10月2日 ～ 令和6年1月26日		【今年度の実施状況】 募集開始早々に定員に達したこと、ニーズは高い。また、みんなでまちづくり講座の主催の講座ではあるが、参加者が初心者からある程度知識がある方まで混在していたことや、何度かスマホ講座に参加しているが、前回学んだことを忘れてしまうことから、繰り返し学習したいという方もいたため、もっと細かくレベル分けをした内容など、講座内容を検討していく。	【次年度の方向性】 応募者が多く、市民ニーズが高いことや、市民のデジタルデバイス対策として有効であることから、今後も継続して開催する。 また、今年にはほぼ同じ内容を、2回、別の方々を対象に行ったが、来年度は1回目、2回目とも同じ方を対象に行い、2回目は、前回のあさらいと少しレベルアップした内容を行うことも検討していく。
	さわやか倶楽部【Vスタッフ】	豊かな経験を引き続き社会に活かしながら、新しい知識や趣味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。	雀宮地区内の60歳以上の方	5～11月	6回	【実施日】 令和5年5月30日 ～ 令和5年11月21日		【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症が落ち着く中で、館外学習の開催や本市の出勤講座等を活用し、多様な内容の講座を実施することができた。毎年、リピーターの受講者が1/3ほどいることから、あまりかぶらない内容を企画する必要がある。	【次年度の方向性】 参加者の満足度も高いことから、引き続き興味をもてる講座を企画し、継続して開催する。
	ライフアップセミナー【CKP】	社会全体のデジタル化、進展するグローバル化に興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通して新たな学びを促す機会を図る。	雀宮地区内の一般成人	7月	1回	【実施日】 令和5年7月20日 ～ 令和5年7月20日		【今年度の実施状況】 参加者から求められているニーズに合わせた研修内容で実施することが出来た。受講希望者が多いことから、より多くの方が受講できる仕組み作りが必要であるため、検討する。	【次年度の方向性】 社会のデジタル化が進む中、スマートフォンでの基本的な操作は日常生活を便利にするために必要であることから、参加希望者も多いことから、継続して開催する。
	雀宮の歴史を学ぶ	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくりに推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施に際しては地域行事と連携し、充実を図る。	雀宮地区内在住者	11月	1回	【実施日】 令和5年11月12日 ～ 令和5年11月12日		【今年度の実施状況】 所要時間・見学箇所ともに適正であったが、見学する史跡の新たな掘り起こしが必要であるため、検討する。	【次年度の方向性】 地区文化祭・収穫祭の催しとして雀宮地区まちづくり推進協議会と連携して実施することにより、地域住民が地域の歴史に目を向け、郷土愛の醸成に寄与していることから、継続して開催する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	ちゅんちゅん親子ふれあい広場（親子ふれあい編）	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭教育支援の充実を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。	未就学児とその保護者	7～12月	7回	【実施日】 令和5年7月13日 ～ 令和5年12月7日		【今年度の実施状況】 定員いっぱいの子供と保護者を確保することができた。人形劇鑑賞や親子フィットネスでは、マットを用意し参加者が過ごしやすい活動状況を構築した。今後は、運動や季節の行事等、多様な内容の講座を企画していく。	【次年度の方向性】 核家族世帯が多い中、親子のスキンシップや親同士の交流の場が必要であることから、継続して開催する。
	青少年セミナー	自然に親しむ活動やものづくりの活動を通して、なにかまとの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	7～8月	5回	【実施日】 令和5年7月22日 ～ 令和5年8月18日		【今年度の実施状況】 内容的には充実しており、参加者には概ね好評であったが、参加者数が少なく、また学校に偏りがあったことから、今後は、周知方法や募集方法を工夫する必要がある。	【次年度の方向性】 学校の枠を越えたなにかまづくりを促進するほか、交流を通して、地域を支える人材を育成することができるため、継続して開催する。
	ちゅんちゅん親子チャレンジ	親子で協力して取り組む体験の機会を提供することにより、親子の絆を深めるとともに、親同士、子ども同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	雀宮地区内の小学生（1～3年生）とその保護者	8月	1回	【実施日】 令和5年8月19日 ～ 令和5年8月19日		【今年度の実施状況】 小学校低学年の子供と親同士の共同作業や共通体験ができ、参加者からは好評であったが、定員40名のところ、参加者が親子11組22名と少なかったことから、より多くの応募があるよう、企画や講座の周知方法を検討していく必要がある。	【次年度の方向性】 今後も親子の絆と地域内の交流を深めるため、継続して開催する。
	地域わくわく子ども塾	雀宮地区の特性を生かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくりや体験学習を通して、知識・技術を習得することで、自立心の向上やリーダーシップの精神を育む。また、世代間の連帯感や郷土愛の精神を深め、地域づくりの礎を築いていく。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	7～8月	2回	【実施日】 令和5年8月2日 ～ 令和5年8月10日		【今年度の実施状況】 抽選を行う講座が発生したが、参加者が楽しかったと思える満足度の高い結果を得ることができた。今後は、夏休み期間の開催が妥当であることから、宇都宮工業高校や自衛隊との日程調整や講座内容について早めの協議を行い、円滑に実施するよう努める。	【次年度の方向性】 地域内にある施設（宇都宮工業高校、自衛隊）と連携しながら講座を実施することで、地域を知ることにもつながるから、楽しさが味わえるような内容を企画し、継続して開催する。
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	【令和5年度活動事例】 ・1中学校、3小学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力支援を行った。 ・雀宮中央小学校の雀央サミット及び雀央フェスタに地域協議会委員として参加した。		【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会会議に出席し、情報交換を行ったほか、雀宮中央小学校の雀央サミット及び雀央フェスタへの参加するなど、子どもたちとの交流も図った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、地域協議会の委員として協力支援を行っていく。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
		内容	対象	時期	回数	事業実績				評価		今後の方針		
③ 地域組織の充実を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	I LOVE雀宮講座【CKP】	自分の住む地域の魅力や課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。	雀宮地区内の成人	3月	2回	【実施日】 令和6年2月1日 ～ 令和6年2月1日				【今年度の実施状況】 令和6年2月以降実施予定		【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。		
	二十歳を祝う成人のつどい	成人（二十歳）が地域のひととともに式典を作り上げるにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つとともに、成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 協賛事業を活用し、地元企業等と協力して、成人（二十歳）へ記念品を配付することができたほか、従来の実施内容の様に、成人（二十歳）による地域交流事業を実施するなど、滞りなく運営することができた。		【次年度の方向性】 引き続き、実施委員と連絡調整を密に行い、有意義な協賛金使途を検討していく。また、実施委員会への成人（二十歳）の参加・開催方法を検討するなど、安定した運営を行うとともに、地域交流事業内容を充実させる。		
④ 持続的強化地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育	雀宮地域文化祭・収穫祭	「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	雀宮地区内一般市民と雀宮生涯学習センター利用団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 4年ぶりにコロナ禍前の実施形態に戻したが、展示・アトラクション・模擬店等の参加がコロナ前より少なく、その割に来場者が予想より多かったため、飲食物の終了が早く、不満の声が多かった。今後は、積極的に生涯学習団体等に参加してもらうよう、努めていく。		【次年度の方向性】 展示・アトラクション・飲食店の充実を図り、従来のような賑わいと活気のある文化祭・収穫祭を目指していく。			
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、講座やイベントなどのポスターやチラシなどの配架・掲示などを行い、その情報を市民に提供する。				【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座やイベントなどのポスターやチラシを配架・掲示し、学習情報を提供した。		【次年度の方向性】 市民の生涯学習意欲の向上のため、今年度も継続して、生涯学習センターの講座やイベントなどのチラシやポスターをセンター内に配架・掲示し、学習の周知を図っていく。		
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）				【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。		【次年度の方向性】 学習相談における相談を受けた際には、関係機関・団体等と連携を図り、対応していく。また、相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。		
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						0	0	0	0	0	0	17		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数			参加者数
	講座数	実施回数		
子育て対象事業	2	講座	8	225
シニア対象事業	2	講座	8	271
成人対象事業	3	講座	4	49
青少年対象事業	2	講座	7	94
計	9	講座	27	639

令和5年度 上河内生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>上河内地域における資源や特性、住民ニーズなどを踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスを配慮しながら、多様な事業を推進する。事業の実施にあたっては、関係部局や関係機関団体と連携を図り、とりわけ地域の課題解決や活性化につながる事業については地域まちづくり推進団体とともに取り組んでいく。</p> <p>(ア) 住民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる趣味・教養的な講座を地域課題や生活課題を十分に盛り込みながら継続していく。</p> <p>(イ) 「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。</p> <p>(ウ) 地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える人材の発掘や育成に取り組んでいく。</p> <p>(エ) ICT社会の到来に伴い、地域住民誰もがスマートフォンを敬遠せず身近に感じ、有用な生活情報を入力し快適な暮らしを送るとともに、災害情報などを入力し安全安心な暮らしが送れるよう情報リテラシーの向上を図る講座を実施する。</p>	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	◎スマートフォン講座	地域住民の情報リテラシーの向上を図るため、スマートフォンが身近に感じている内容を含めるなど、幅広い世代の地域住民が参加できる内容とする。	市内在住・在勤の成人	8月	4回	【実施日】 令和5年8月29日 ~ 令和6年3月6日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1回 上河内地域内交通運営協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 38人 0人 70代			【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(全4回中、2回開催) (スマホの基礎操作や、地域内交通予約・配車システムなど、多様な内容を実施した。今後は、基礎講座のほか、受講後の振り返り講座など、受講者が継続して受講できる場を設けるほか、電子申請サービスなど市のオンラインサービスについても周知できるよう、内容を検討していく。)	【次年度の方向性】 令和6年3月以降の実施を踏まえて決定する。 (地域からのニーズが高く、地域住民の情報リテラシーの向上を図るため必要な講座であることから、継続して開催する。)
	ライフアップセミナー かみかわち	健康、生活、歴史、文化、国際交流の5つの分野を柱に、専門性を高めつつ、地域住民のニーズや時宜を反映した内容とする。	市内在住・在勤の成人	7~12月	8回	【実施日】 令和5年6月21日 ~ 令和6年2月21日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1回 ライフアップセミナー運営委員会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 136人 0人 70代			【今年度の実施状況】 令和6年1月末日現在、開催途中。(全7回中、6回開催) 受講生が関心を得られるよう、ライフアップセミナー運営委員と協議・検討し、様々な講座内容を決定しており、参加者からの満足度も非常に高い講座となっている。今後は講座を地区内外に幅広く周知できるよう、更なる周知手法を検討していく。	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 (地域の参加者やライフアップセミナー運営委員から強い継続の希望があり、地域の学びに大きく寄与する講座であることから、継続して開催する。)
	◎★ゆずのアロマでリラックス講座	上河内地区まちづくり協議会との共催で、ゆずのアロマを活用し、アロマを通して、心身のケアを学ぶ。	市内在住・在勤の成人	11月	2回	【実施日】 令和5年12月9日 ~ 令和5年12月9日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1回 上河内ブランドアンバサダー 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 7人 0人 40代			【今年度の実施状況】 上河内地区まちづくり協議会と連携し、昨年度から継続してゆずのアロマを活用したヨガ講座を実施しており、今後は、ノウハウを培ったまちづくり協議会が講座実施を担えるよう、一定の道筋を立てることができた。	【次年度の方向性】 上河内地区まちづくり協議会の主催講座として実施予定。
② 動家の庭教養推進の充実と学校や地域と連携・協力した教育	◎子育て講座	上河内地区子育て支援会議と連携し、子育てや家庭教育の学びの場を提供するほか、子育て中の保護者が情報交換できる機会を提供する。	市内在住の未就学児とその保護者	6月	3回	【実施日】 令和5年6月15日 ~ 令和5年6月29日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1回 上河内地区子育て支援会議 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 59人 31人 30代			【今年度の実施状況】 親子のふれあいや子育ての学びのほか、参加者同士の交流の場にもなったとの意見も見られ、参加者からの評価は概ね好評だった。参加者の半数以上が地区外からの応募であり、地区内の未就学児とその保護者の参加を増やすため、地区内の児童施設等と連携し、更なる事業周知に努める必要がある。	【次年度の方向性】 子育て中の保護者が家庭教育について学び、情報交換ができる場を提供するほか、地区の児童施設や保健師、保育士との連携により、保護者が子育ての悩み等を相談できる場を設けることで、地区をあげて子育てを応援する気運を醸成するため、継続して開催する。
	◎子ども体験教室	上河内民俗資料館と共催し、地域の魅力を再発見する内容に加え、郷土産の醸成を図るとともに、幅広い分野を学ぶ内容とするほか、参加者同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	市内在住の小学生とその保護者	7月~12月	4回	【実施日】 令和5年7月23日 ~ 令和5年7月23日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2回 上河内民俗資料館、西山文化財愛護会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 20人 10人 10代			【今年度の実施状況】 土器づくりの体験だけでなく、上河内地区の遺跡の説明や、実際に地区内の遺跡で出土された土器を身近に観察できたことなどから、地元に残された歴史に興味を持つきっかけとなる講座となった。	【次年度の方向性】 小学生版の地域学講座として、より地域を学ぶプログラム内容に変更するとともに、「上河内ふるさと教室」と改名し、継続して開催する。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 上河内中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援を行った。			【今年度の実施状況】 地域協議会に出席し、情報共有・意見交換等を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	ゆず染め講座【CKP】	受講者のゆず染め体験を通して上河内地区特産のゆずを活用した「ゆず染め」を新たな地域文化として普及啓発を図るほか、ゆずを活用した地域活性化、地域コミュニティの再構築、地域ブランド力の向上を図る。	市内在住・在勤の成人	7月	2回	【実施日】 令和5年12月9日 ~ 令和5年12月9日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1回 上河内ブランドアンバサダー 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 5人 0人 60代			【今年度の実施状況】 上河内地区まちづくり協議会と連携し、昨年度から継続してゆず染め講座を実施しており、今後は、ノウハウを培ったまちづくり協議会が講座実施を担えるよう、一定の道筋を立てることができた。	【次年度の方向性】 上河内地区まちづくり協議会の主催講座として実施予定。
	いろはゆず×モイストボプリ・ゆずグミ講座【CKP】	小学生とその保護者を対象に、上河内地区特産の「ゆず」の魅力を広げ発信するほか、ゆずを丸ごと使い切ることで、SDGsの意識啓発を図る。	市内在住の小学生とその保護者	12月	2回	【実施日】 令和5年 - 月 - 日 ~ 令和5年 - 月 - 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 -回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 -人 -人 -			【今年度の実施状況】 調理実習を伴う講座を計画したが、地区内の小学校でインフルエンザ等の感染症患者が急増したことから、安全を考慮して中止した。	【次年度の方向性】 上河内地区まちづくり協議会主催講座として実施予定。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域入籍の場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	【実施日】 中学校区 実施委員数 実施委員会実施回数 各地域の取り組み 上河内 14人 1回 地元の授産施設と協力し、ゆずのマドレーヌなど、地域の特産品を使用したお菓子を新成人へ配布した。			【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。	【次年度の方向性】 継続して実施委員等と連携を図り、二十歳の成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針				
盤④の持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基	上河内地域文化祭	地域の幼稚園、保育園、小中学校の児童生徒及び生涯学習センター利用団体の作品を一堂に展示し、またセンター利用団体をはじめ地域の方々が日ごろの学習成果をステージ発表することにより、地域文化の向上と生涯学習推進の機会とする。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	31	団体	1,266	人	地区内小学校や中学校だけでなく、地区内の幼稚園や保育園の児童の作品も展示しており、子どもから高齢者まで、幅広い世代が参加する事業となっている。	【今年度の実施状況】 上河内民俗資料館、上河内図書館の企画展を同時開催し、地区全体で地域文化の向上を図る機会とした。	【次年度の方向性】 今後も地区内の各種施設や団体と連携し、地域全体で地域文化の向上と生涯学習推進の気運を高めていく。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 生涯学習に関する掲示板を設置し、センターや地区内施設が実施する生涯学習講座を案内するほか、市や近隣自治体の美術館、博物館等の企画展の情報、希望する生涯学習団体の情報を提供している。	【次年度の方向性】 引き続きセンター内に生涯学習に関する掲示板を設置し、センターや地区内施設が実施する生涯学習講座を案内するほか、市や近隣自治体の美術館、博物館等の企画展の情報、希望する生涯学習団体の情報を提供していく。				
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援する。また、登録団体の学習活動などを積極的に周知することで、活動の質や学習意欲の向上を図る。				
						内訳（：件）								
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						0	0	0	0	0	0	7		

区分	事業数				参加者数	
	講座数	講座	実施回数	回		
子育て対象事業	1	講座	3	回	59	人
シニア対象事業	0	講座	0	回	0	人
成人対象事業	4	講座	13	回	186	人
青少年対象事業	1	講座	1	回	20	人
計	6	講座	17	回	265	人

令和5年度 河内生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>身近な生涯学習の拠点として様々な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに社会環境が急激に変化する中において、社会の要請に対応する事業や人間力の向上、家庭・地域の教育力の向上に資する事業に取り組んでいく。</p> <p>(ア) 地域の魅力を発見できる事業の充実を図る。 (イ) 地域の人材等を活用した講座を実施するとともに地域で活躍できる人材の育成に努める。 (ウ) 仲間づくりや交流の場を提供し、人と人の絆づくりを推進する。 (エ) 人間力の向上や家庭教育力の向上に資する事業を積極的に展開する。</p>	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
進① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイト及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	未定	2回	【実施日】 令和5年9月28日 ～ 令和6年2月20日		【今年度の実施状況】 令和6年1月末現在、開催途中。 (全2回中、1回開催) 受講者がすぐに定員となり、人気のある講座である。スマホの基本操作、検索方法などを覚える機会を提供することができた。 3週間前に、自治会回覧での周知を行ったが、自治会での回覧に時間差があり、申込開始日以降に見た市民の方もいたことから、回覧するタイミングを見直す必要がある。	【次年度の方向性】 令和6年2月以降の実施を踏まえて決定する。 あらゆる場で、スマホを活用したサービスや情報収集など、デジタル機器が日常生活を送るのに必要な物となっていることから、学ぶ機会を提供するため、継続して開催する。
	◎かがやくセミナー	受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い生き甲斐のある豊かな人生を過ごす力を身につける「仲間づくり」と地域活動等に関心を持つきっかけづくりを推進する。※館外学習あり	市内在住・在勤している成人の方	7～9月	2回	【実施日】 令和5年7月13日 ～ 令和5年7月13日		【今年度の実施状況】 スマホの基本操作、検索方法などを覚える機会を提供することができた。 新型コロナウイルス感染症対策の一環として地域限定で周知し、参加者が少なかったことから、周知方法を見直す必要がある。	【次年度の方向性】 あらゆる場で、スマホを活用したサービスや情報収集など、デジタル機器が日常生活を送るのに必要な物となっていることから、学ぶ機会を提供するため、継続して開催する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て広場	子育ての学習を通して親子のふれあいを深め、情報交換の場を提供し、「仲間づくり」・「ネットワークづくり」を推進するとともに、新たに両親が参加できる仕組みを取り入れる。※相談タイムあり	市内在住・在勤の乳幼児とその保護者	7～9月	2回	【実施日】 令和5年7月25日 ～ 令和5年7月25日		【今年度の実施状況】 リトミックや運動会など親子で楽しめる内容とし、参加者からは、満足度が高く好評だったが、まだ、新型コロナウイルス感染症対策の一環として地域限定で周知し、参加者が少なかったことから、周知方法を見直す必要がある。	【次年度の方向性】 親子でふれあえる機会や若年層のコミュニケーションの場であることから、継続して開催する。
	オモシロ夏休み	子どもたちが「学ぶ楽しさ」を感じ、子どもたちの「自ら考える力」をはぐくむとともに、「仲間づくり」を推進する。	市内在住・在学の小学4年生～6年生	8月	2回	【実施日】 令和5年8月4日 ～ 令和5年8月22日		【今年度の実施状況】 企業や大学と連携した講座を実施し、参加者からは、満足度が高く好評だった。新型コロナウイルス感染症対策の一環として地域限定で周知し、参加者が少なかったことから、周知方法を見直す必要がある。	【次年度の方向性】 子どもたちが仲間づくりの楽しさを学ぶとともに、学習意欲の向上を図るため、継続する。
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 魅力ある学校づくり地域協議会主催の古里・田原東菜塾への支援を行った。		【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行った。	【次年度の方向性】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、継続的な支援を行っていく。
	仕③ 組み地域の理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	いきいき河内発見講座	河内の地域資源を学ぶことにより、地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくりを推進する。	市内在住・在勤している成人の方	6～11月	2回	【実施日】 令和5年6月17日 ～ 令和5年6月17日		【今年度の実施状況】 河内地区まちづくり協議会との連携を図り、学習目標に沿ったテーマを検討することができた。引き続き、魅力ある新たな地域資源を活用した講座を取り入れる。
二十歳を祝う成人のつどい	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域のひととともに式典を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人（二十歳）が地域のひとから学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	【今年度の実施状況】 今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を行わなかったため、当センター職員のみで対応し、式典等を滞りなく行うことが出来たが、依然、3中学校をセンター職員のみで対応することは負担が大きい状況である。担当の負担を減らすため、従事者に情報・手順等を記載した資料づくりを行った。今後も、実施委員等と連携を図り、円滑に運営するよう努める。		【次年度の方向性】 引き続き、関係課と連携を図るとともに、更なる職員の負担軽減に努め、安定した式典等の運営を行っていく。	
						中学校区 古里 22人 田原 21人 河内 25人	実施委員会 実施回数 1回 1回 1回	各地域の取り組み 集合写真等をQRコードから申し込めるようにし、成人者による写真送付用封筒の宛名書きの負担をなくすことが出来たとともに、その時間を地域交流事業に有効に活用することが出来た。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針		
地④ 域持 統育 的の 基盤 域の 住強 民化 の学 習や 活動 、交 流を 支 援す る	河内地域文化祭	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施した。	【次年度の方向性】 引き続き、河内地域内の文化の祭典を支援していく。		
					24 団体	100 人	河内地域内の芸術文化活動に係る人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、文化の祭典を実施することで地域の芸術の向上に取り組み。					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 継続して、生涯学習センター内に設置している掲示板でのチラシやポスターなどの学習情報の提供等を行っていく。		
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行っている。	【次年度の方向性】 継続的に相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。			
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易 問い合わせ	
					0	0	0	0	0	0	0	

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数	回数	人数	人数	
子育て対象事業	1	講座	2	回	36	人
シニア対象事業	1	講座	2	回	30	人
成人対象事業	2	講座	6	回	107	人
青少年対象事業	1	講座	2	回	16	人
計	5	講座	12	回	189	人

(協議事項(1)) 令和5年度生涯学習センター事業実績 及び
令和6年度生涯学習センター事業計画(案) について

令和6年度生涯学習センター事業実施計画書

生涯学習課

目次

中央生涯学習センター	1
東生涯学習センター	2
西生涯学習センター	3
南生涯学習センター	4
北生涯学習センター	5
平石生涯学習センター	6
清原生涯学習センター	7
横川生涯学習センター	8
瑞穂野生涯学習センター	9
城山生涯学習センター	10
国本生涯学習センター	11
富屋生涯学習センター	12
豊郷生涯学習センター	13
篠井生涯学習センター	14
姿川生涯学習センター	15
雀宮生涯学習センター	16
上河内生涯学習センター	17
河内生涯学習センター	18

【所在地】宇都宮市中央1丁目1番13号 【電話番号】028-632-6331 【ファクス】028-639-7579
 【開設】昭和44年4月1日
 【対象区域】市域全体及び中央・東・西・築瀬・西原・昭和・錦・宮の原小学校の各通学区



基本方針

市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。
 (ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍するための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学び人」の支援を行う。
 (イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。
 (ウ) 地域大学や専修学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。
 (エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
① 資地す域住の民の学推進意欲の高場と生活の向上	金曜まなび塾	行政等が実施する活動や施策についての学習に加え、市民の生活課題になっている事柄や社会情勢の変化に対応した内容の拡充、 企業等と連携した講座 を企画する。また中央生涯学習センターの立地を活かし、 地域の伝統・文化・まちづくり・人づくり を学習することで、受講生の知識・識見の向上につなげ宮に生きる価値観向上のきっかけとする。	市内在住・在勤の成人	7月～12月	10回
	地域連携特別講座	ICTの活用も図りながら、多様化する地域課題の解決や情報共有の機会をさらに幅を広げ、 学校や地域まちづくり と連携できる企画をする。	市内在住・在勤の成人	未定	1回
	◎修道館アカデミー【Vスタッフ】	人材かがやきセンターに登録している Vスタッフ に活動の場を提供し、市民目線での講座の企画を行う。内容については、多様化する 市民ニーズに対応するための企画 を充実させる。	市内在住・在勤の成人	6月～7月	4回
	いきいきシニアアップ講座	人生100年時代を迎え、より良い豊かなセカンドライフを送れるよう、学びあう人の輪の構築に努める。超高齢社会に受講生が生きがいを保ちながら生活するための素材・素地として、健康づくりや趣味・教養に幅広く興味を持つ学習機会を提供する。	市内在住の65歳以上の一般成人	1月～2月	5回
	★公共施設予約案内システムスマホ講座	公共施設予約案内システムを導入し、利用者に活用してもらえるように、 デジタル機器への対応方法や基本操作 などを実演し、体験する。	市内在住者	未定	1回
② つた地域教育学活校動の家庭推進が連携・協力し、一と	子育て広場	子育て世代の悩みやニーズを捉えた講座を実施するため、子育て相談員の配置や、親子同士の交流の場を拡充し、気軽に情報が得られる環境を整え、家庭教育の問題解決や支援に繋げる。また、 ICTの活用も 取り入れる企画を検討し、在宅でも気軽に受講できる機会をつくる。さらに 月に1度読み聞かせボランティアが実施している「おはなしひろば」の周知 するとともに、年齢層に合う 読書の機会 を設ける。	乳幼児(0～6歳)とその保護者	5月～11月	5回
	パパママもはぐはぐ子育て	子育て情報交換の場の提供。父親に参加してもらい、母親の育児ストレス軽減やリフレッシュできるような機会を提供するプログラムとなるよう、更なる内容の充実にも努める。また、 地域専門学生のボランティア参加 をすることで、学生との交流がうまれ、学びとふれあいの場とする。	乳幼児(0～6歳)とその保護者	6月～12月	2回
	親子のワクワク体験講座	子どもたちの社会性の向上や生きる力の実践スキルを養うため、日常生活で体験できない内容や体験の機会を盛り込むとともに、参加者同士の交流の更なる促進を図り、親子の絆を深めていけるよう努める。また、 図書室と連携し 、本への関心を持つきっかけとなるよう、資料や情報の提供を図る。	市内在住の小中学生とその保護者	7月～8月	5回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
③ みの地充成果理を解活を動促に進つすなるげ講座仕と組学	地域応援講座	地域の持つ魅力や人材を探すべききっかけづくりに関連する企画や、地域の課題解決や活性化に資する内容を取り入れることで、地域づくりの醸成に繋げる。また、国際交流の理解に繋げられる出前講座や地域企業と連携した講座を企画する。	各地域在住者	未定	各1日
	★中央地域講座【CKP】	地域が抱える課題の一つに高齢化があげられる。健康寿命を目指して自宅でできるロコモ体操などの実演とスキル向上のための講習を開催する。	地域在住の成人	未定	1回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳(成人)が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人(二十歳)	1月	1日
④ 盤強交統化流的をに支地援域す住の民の域学教習育の活基	中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民	9月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

令和6年度 東生涯学習センター基本方針・事業計画

【所在地】 宇都宮市中今泉3丁目5番1号 【電話番号】 028-638-5782 【ファクス】 028-638-1171
 【開設】 昭和53年4月1日 【移 転】 平成22年4月1日
 【対象区域】 今泉・峰・泉が丘・石井・御幸・城東・陽東・御幸が原小学校の各通学区域



基本方針

東部地区における生涯学習の拠点として地域住民の学習活動を支援するとともに、社会教育やまちづくりなどを通して、地域に学習成果を還元する。

(ア) 複雑かつ多様化する社会環境や市民ニーズに対応するため、地域住民が生活課題の解決や学ぶ楽しさを実感できるような魅力ある事業を展開する。

(イ) 子育て世代を支援するため、学校や地域と連携しながら、親同士の交流機会の充実や、仲間づくりのネットワークが構築できるような事業を推進する。

(ウ) 市民の学んだ成果を活動につなげるため、地域の各種団体やボランティア団体等と積極的に連携しながら、市民が地域で活動する機会や場の提供を行い、地域力の向上を目指す事業を推進する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
資① す地 域 事 住 業 民 の 推 学 進 習 意 欲 の 高 揚 と 生 活 の 向 上 に	<u>ふれあい塾</u> 【Vスタッフ】	様々な課題についてグループワークを行いながら考えとともに、受講生同士の交流を深める。	市内在住・在勤の20歳以上の方	5月～12月	8回
	東雲塾	高齢者が年齢にふさわしい社旗的能力を高め、明るく健康で充実した生活を送るため、知識・健康・レクリエーション等の学習を行う。	市内在住・在勤の65歳以上の方	6月～R7.1月	6回
	おとなの学び講座	世相を反映した様々な地域課題などを取り上げ、暮らしを生き抜くための基礎情報や身に付けておきたいこと、ものなどについて学ぶ。	市内在住・在学・在勤の18歳から	11月	2回
	働き世代講座（仮）	仕事や子育てで忙しい世代を対象に、現代の課題や自己実現に取り組み活躍している人を講師として講話やワークショップなどを行い、これからの生き方や働き方について一度立ち止まって考える機会を提供する。	市内在住の18～55歳くらいまでの方	8月	2回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	未定	2回
し② 、地 一 域 体 ・ と 学 な 校 っ ・ 家 庭 育 が 活 連 動 携 の 推 協 進 力	親子でDoing	体験を通して、親子の絆を深める。地域人材の協力を得て地域教育力の向上を目指す。	市内在住の小学5～6年生とその保護者	8月	1回
	すくすく子育て講座	季節の行事や体操・音楽鑑賞などを通して、親子のスキンシップを深め、生き生きとした親子関係を育み、参加者同士の交流を図る。また、親が子育てについて学び、よりよい子育て生活が送れるよう支援する。	就学前の乳幼児と保護者	5月～12月	8回
	◎ <u>子ども国際理解サマースクール</u>	参加型の活動を通して、「協力・相互理解」などの力を養う。また、外国人と身近に接し、異文化に触れることにより、外国に目を向けるきっかけや国際理解の推進を図る。	市内在住の小学4～6年生	8月	3回
	★ <u>親子で学ぼう作文の書き方講座</u>	作文の書き方を学ぶことで、苦手意識をなくし、「考え」を文章にまとめる力を養い、コミュニケーション力をつける。	市内在住の小学3～4年生	8月	2回
みん③ のだ 地 域 成 果 実 果 理 を 解 活 を 動 促 に 進 つ す な る げ 講 座 仕 と 組 学	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げるにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
を④ 支 援 続 的 に 地 域 教 育 民 の 基 礎 学 習 の 強 化 ・ 交 流	東生涯学習センター文化祭	東生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体に学習成果発表の場を提供することにより、親睦を図り、仲間づくりを進め、さらに質の高い生涯学習活動を推進する。	東生涯学習センター登録団体及び一般（地域住民）	10月	1回
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

令和6年度 西生涯学習センター事業計画

【所在地】宇都宮市西一の沢町17番32号 【電話番号】028-648-7480 【ファクス】028-648-8241
 【開設】昭和59年4月1日
 【対象区域】富士見・桜小学校の各通学区及び明保小学校通学区のうち鶴田町の区域



基本方針

「令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、生涯学習及び市民活動の拠点として、多様な学習機会の提供やまちづくり活動を支援するとともに、ボランティアなど地域で活動する団体と連携を図りながら、学んだ成果を地域に還元できる機会の提供に努める。
 (ア) 「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座、「生活課題の解決」に資する講座を実施する。
 (イ) 地域の人々と子育て世代の親やその子どもたちとが交流する機会、次世代を担う青少年と子育て世代の親子が交流する機会、また子育て世代の親同士が交流する機会を充実させた「参加交流型講座」を学校や地域と連携を図りながら実施する。
 (ウ) 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用促進を図るため、地域の魅力を再認識し愛着を育む講座や、学んだ成果を活かし、地域活動や交流の促進につながる講座を実施する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
す① 地域 在住の 民の 推し 進め る 学 習 意 欲 の 高 揚 と 生 活 の 向 上 に 資 す	ソニアクエスト！元気講座 【Vスタッフ】	受講者に有用な知識を深め、様々な活動を通して受講者同士の仲間意識を高めるとともに、生きがい学習の場とする。Vスタッフの自主性と独自性を尊重し、受講者の関心が高い活動を中心に講座企画を行う。	50歳以上の方 (市内在住・在勤)	6月～11月	6回
	西楽アカデミー	健康など現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行うとともに、運動を伴ったレクリエーションや創作活動を通して受講者同士のつながりが深まるようコミュニケーション活動を取り入れる。	一般成人	6月～12月	7回
	◎宇都宮再発見！	日本史における激動の時代、封建制から「近代化」へ向けた時代にスポットをあて、宇都宮の歴史を再確認するとともに、歴史の表舞台だけでなく、あまり語られなかった一般の人々の暮らしや考え方について知る。	18歳以上の人 (市内在住か通勤通学)	6月～11月	5回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	未定	2回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動の啓発や支援を行い、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、本市の生涯学習関連情報を広く市民に提供していく。	全市民	通年	随時
し② 、地 一 域 体 ・ 学 な 校 つ ・ た 家 教 庭 育 が 活 連 動 携 の ・ 推 協 進 力	すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう支援する。また、子育ての知識・技術を身につけ、家庭の教育力の向上を図る。	1歳～3歳の乳幼児とその親	6月～12月	6回
	親子トライ&ゴー	工作など様々なアクティビティを行う中で、親子の絆を深めながら、生活に役立つ知識や体験を共有することにより、家庭の総合的な教育力の向上を図る。	小学校1年生～3年生とその保護者(市内在住・通学)	6月～10月	5回
	◎わくわくサマースクール	夏休みを利用して普段なかなかできない体験学習を行い、好奇心や想像力、思考力を培う。また他校の仲間との交流を深めると共に、地域の施設を生かした館外学習を行い、社会性育成を図る。	小学4年生～6年生(市内在住・通学)	7月～8月	6回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
果③ を地 活 域 動 理 に 解 つ を な 促 げ 進 る す 仕 組 講 み 座 の と 充 学 実 ん だ 成	地域コミュニティの促進 【CKP】	地域のニーズに沿った課題解決や地域住民のコミュニティの促進を図る。	富士見地域住民	7月	1回
	わがまち桜から見る宇都宮の歴史 【CKP】	宇都宮の歴史のなかで、自分たちの住むまちがどのような役割を果たし、どのように変容してきたかを知ることにより、地域への理解を一層深め、愛着心を高めることで、まちづくりのさらなる推進を図る。	桜地域住民	10月～11月	4回
	持続可能なまちづくり 【CKP】	明保地区や他地区の地域資源を学ぶことにより、地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくりを推進する。	明保地域住民	11月	1回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳(成人)が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人(二十歳)	1月	1日
育活④ の動 持 基、 統 盤 交 的 の 流 に 強 を 地 化 支 援 住 す 民 の 地 学 域 習 教 や	西生涯学習センター文化祭	西生涯学習センター利用者などの各種団体や地域・学校・企業が一体となって事業を展開することにより、特色ある地域文化の向上ならびに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	西生涯学習センター利用者及び一般市民	11月	1回
	クールシェア・コンサート	演奏会を通してより多くの市民に生涯学習への関心を持ってもらう機会とする。	市内在住・通勤・通学の人	7月	1回
	学習相談	相談者のニーズに応じて具体的な学習活動へつなげるとともに、相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援などを行う。	全市民	通年	随時

令和6年度 南生涯学習センター基本方針・事業計画

【所在地】 宇都宮市江曾島2丁目4番23号 【電話番号】 028-645-0006 【ファクス】 028-659-9953
 【開設】 昭和46年4月1日
 【対象区域】 陽南・陽光・緑が丘小学校の各通学区五代・新田・姿川第一小学校の各通学区の一部



基本方針

「令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、地域住民の生涯学習ニーズや地域及び全学的な課題に応じた学習支援をするとともに、地域の学習情報拠点として地域団体等と連携し情報の発信や地域で活躍できる人材の育成を図る。
 (ア) 地域の特性や課題及び社会的に関心の高い課題に応じた学習支援を行い、積極的に地域まちづくり活動に参加する人材の育成に取り組む。
 (イ) 増加する高齢者の健康を保ち生きがい創出につながる講座や、子育て世代の不安を解消し、親子双方の成長を促す講座、豊かで実りある生活設計のための講座など、幅広い世代を対象に多様な学習の提供を図る。
 (ウ) 地域でのボランティア活動や、地域のまちづくり活動を支援し、学習の成果や経験を活かせる機会と場の提供などに努める。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
業①の地域推進住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事	◎シニアセミナー南悠塾	シニア世代の受講者が、学びを通して交流を図り教養を深めることで、充実した日々を送る手助けをする。	市内在住、通勤の60歳以上の人	6月～12月	6回
	暮らし彩り講座～セカンドライフに向けて～	人生100年時代、セカンドライフ充実に向けて、衣・食・住プラスアルファの暮らしを彩るアイデアを学ぶ。	市内在住、通勤の18歳以上の人	6月	3回
	健康講座	健康年齢・健康寿命・平均寿命について考え、健康を保つための知識・運動を学ぶ。	市内在住、通勤の18歳以上の人	5月	2回
	宇都宮再発見講座	映画・テレビドラマのロケ地を多角的な視点でとりあげ、宇都宮市の魅力や取り組みなどについて紹介する。	市内在住、通勤の18歳以上の人	7月	2回
	★シニア向けプログラミング入門講座	シニア世代がゲーム感覚で楽しめるプログラミングの基礎を学び、デジタル技術を身近に感じることで、デジタル機器利用促進のきっかけとする。	市内在住、通勤の60歳以上の人	8月	1回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内に在住のスマホ初心者	7月	2回
動②の地域推進・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動	すくすく子育て応援講座（前期）	親子が楽しみながら触れ合い、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら交流を図る。	市内在住の乳幼児(概ね生後4カ月程度～1歳前後)とその保護者	5月～7月	4回
	すくすく子育て応援講座（後期）	親子で遊びや運動をすることでふれあいを深め、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら孤立しがちな子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。	市内在住の2～3歳児とその保護者	10月～12月	3回
	親子で学ぶ作文の書き方講座	作文の書き方を基礎から学ぶことで、「考え」を文章にまとめる力を養い、コミュニケーション力をつける一助とする。	市内在住の小学4～6年生の児童とその保護者	8月	2回
	プログラミング入門講座	小学校で必修科目となったプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。	市内在住の小学生	7月	2回
	夏休み小学生講座	小学4～6年生の児童が、他の学区の児童と親睦を深めながら学び、夏休みの工作や自由研究などの一助とする。	市内在住の小学4～6年生の児童	8月	2回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
げと③の学地域組だ理み成解の果を充を促実活進動するつ講な座	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
域や④の教持育動統的基交に盤流地のを域強支住民化する学地習	南生涯学習センター文化祭	南生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体等が一致協力して、日頃の活動成果を発表することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の向上を図る。	南生涯学習センター登録団体、地域コミュニティセンター登録団体及び一般市民	10月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

【所在地】 宇都宮市若草3丁目12番25号 【電話番号】 028-621-7745 【ファクス】 028-622-7093
 【開設】 昭和57年4月1日



基本方針

市民に最も身近な地域の学習と活動の拠点として、多様な学習機会や学びを通して、人々がつながり学び合うことができる機会の提供、さらには、地域特性や地域資源を活用した講座やイベントなど、以下3点を基本方針とし実施する。
 (ア) 学ぶ楽しさを実感し、個人の成長や生きがいづくりに繋がる講座や子育て世代の親同士や子ども同士の交流機会を図る参加交流型の講座を開催する。
 (イ) 地域や学校、サークル団体等と協働・連携した文化祭や団体活動に結び付く参加型体験型の事業を実施する。
 (ウ) 市民が学習しやすく、様々な年代の地域住民が交流・活動する場として活用できるよう、情報提供や環境整備に努める。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
上①に地域資源を住する民の事業の学習の推進意欲の高揚と生活の向上	北洲塾【Vスタッフ】	生きがいづくりを目的に幅広い分野の知識を学び、様々な学習を通して受講者同士の交流を深め、地域社会への参加の輪を広げる。	65歳以上の市民	6月～12月	6回
	聴いて読む名作	専門的技術を有する講師の朗読を鑑賞し、名作をより深く味わうとともに、多様な朗読の世界に出会う機会を創出する。	全市民	10月	1回
	◎和文入門講座	和文を楽しむ学び・体験を通して日本文化の粋に触れ、和の心をもったコミュニケーション力を養う。	全市民	11月～12月	5回
	★コーヒー淹れ方講座	コーヒー淹れ方講座を行うことで、参加者同士の交流を図りコミュニケーション力の向上、「エスプレッソシティ宇都宮」等の地域ブランドの周知を行うことで地域理解を深める。	全市民	9月	1回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイト及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学部、利用技術の向上を図る。	市内在住者（主に地区住民）	9月1月	2回
教②育地活動・学校推進・家庭が連携・協力し、一体となった	◎親子自然探検隊	地域の未来を担う世代（子育て世代とその子ども）が、地域の自然（本市の中心市街地に立地する戸祭山緑地）をフィールドに、専門家の指導のもと、身近な自然といのちの繋がりに関して学び、その緑地を保全する活動を体験することで、地域愛を深める。	小学生以下の子どもとその保護者	5月～1月	5回
	子育てパパ・ママ応援講座	専門的知識を有する講師の指導を受けながら子育てに必要な知識を学び、未就学児をもつ親への子育て支援と交流の場とする。	未就学児の保護者	6月～7月	3回
	親子でチャレンジ	親子がともに、体験活動を行い、それらの活動を通しながら相互理解を深めると共に、参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。	小学1年～4年生とその保護者	7月～8月	4回
	アンガーマネジメント講座	アンガーマネジメントを学び実践することで、自己肯定感を育み、精神的なゆとりをもって家庭教育に取り組めるように、子どもを持つ親への子育て支援を行う。	未就学児の保護者	9月1月	2回
	昔あそび体験講座	昔あそび体験を通して、各自の学びや子ども同士のふれあいの機会を提供する。また、子どもたちがセンターに足を運ぶことで、図書室の利用など生涯学習センターの利用促進へとつなげる。	小学生とその保護者	7月	1回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
げと③る学地仕ん域組だ理み成解の果を充を促実活進動するにつ講な座	サークル活動を体験してみよう	生涯学習サークル活動に関心のある方や未経験でも気軽に参加しやすい環境を提供することにより、活動への興味・関心を高め、センター利用団体への加入促進及び活動の活性化を図る。	全市民	2月	1回
	★小学生夏休み講座	小学生の高学年を対象に、地域の教育機関等と連携し体験学習を行い、多世代交流を推進する。	小学4年～6年生	7月	1回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳となった成人が地域のひととともに式典を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、二十歳となった成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和7年成人（二十歳）	1月	1日
育活④の動持基、統盤交的の流に強を地化支域援住す民の地学域習教や	北生涯学習センター文化祭	北生涯学習センター対象地域内における各種団体と北生涯学習センターが一体となって諸事業を展開することにより、生涯学習の推進並びに地域文化の向上発展、連帯意識の高揚を図る。	北生涯学習センター対象地域団体、利用団体及び一般市民	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、図書コーナーを充実し、学生や乳幼児を持つ親子などが気軽に集える場所を提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

【所在地】 宇都宮市下平出町158番地1 【電話番号】 028-660-1964 【ファクス】 028-689-2814
 【開設】 昭和25年1月26日 【施設複合化】 平成14年6月24日
 【対象区域】 平石中央・平石北小学校の各通学区域



基本方針

- 平石地区においては、少子高齢化の進行、特に高齢化が顕著であるとともに、核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化などにより、地域活動の担い手の固定化や若い世代の担い手が少ないことなどから、地域活動の活性化や新たな人材の発掘・育成が必要な状況である。
- このような現状を踏まえ、子どもから高齢者に至るまでの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活を送り、学んだ成果が地域活動への参加や次代を担う地域リーダーの育成に結び付けきつかけとなるよう、自助・共助の理解を育むとともに、交流による仲間づくりや、LRTの開通や東部総合公園の建設（令和8年3月供用開始予定）など身近な社会環境の変化をとらまえて、新たな地域の魅力発見・体験をとおり、郷土愛を醸成するなど、地域活動の活性化と若い世代の担い手を育成していく。
- 東部地区における保健福祉の拠点として、地域住民が生活していくうえで多様性・複雑性から表れる支援ニーズを的確に捉え、人と人とのつながりや参加の機会を生み育む多様な活動を通して、重層的な支援に結び付けられるよう、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携し、地域住民の健康づくりや子育てに関する講座など、特色ある事業を積極的に展開していく。
- 地域住民がICT利活用の恩恵を享受できるよう、参加者の年代やレベルに応じた講座や発表の機会を創出するほか、地域資源を活かした個性あふれる地域づくりをデジタルの活用による文化・芸術・スポーツ等の振興を推進していく。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
る高① 事場地業と域の生住推活民進のの向学上習に意資欲すの	◎★きらきらセミナー	幅広い世代が交流するきっかけづくりと、社会性や適応力を高めるため、学びをとおして個々の教養を深めて人間力を高め心の豊かさに繋げる。また、 <u>地域活動を通じて、自助・共助の理解を深めるとともに、次代の担い手の発掘・育成に取り組む。</u>	地域内の成人	9月～1月	4回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	7月	2回
一② 体地と域な・つ学校・育家庭がの連携進・協力し、	親子の広場「はぐはぐ」	乳児を持つ親と子ども（子育て中の親子）が気軽に集い、親同士の情報交換、育児相談、子育て事業（年7回のお楽しみ講座「はぐはぐ」）を実施することで、親が精神的な安心感を持って、地域の子育て支援の充実を図る機会を提供する。	主に乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親子	5月～R7.3月	40回
	わくわく教室	地域共生社会や多文化共生社会の推進につながる体験活動や交流を通じて、仲間との関わりを深めるとともに、育成会などの各種地域団体等と連携しながら郷土愛や生きる力を育む。また、 <u>デジタル技術を効果的に活用し、児童目線からの地域資源や地域情報を収集し、発表する機会を創出する</u> など、児童の自主性や自己肯定感を高める。	地域内の小学生	7月～8月	2回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。また、地域コーディネーターとの意見交換を踏まえ、地域・学校・家庭の協働事業の連携強化を促進し、安心・安全で魅力ある学校づくりを推進するための支援を行う。	地域団体	通年	随時
仕学③ 組ん地みだ域の成理充果解実をを活促動進にするな講げ座ると	ひらり発見	各種地域団体との連携により、身近な地域活動を地域住民が体験・学習し、理解促進に繋げるとともに、 <u>地域資源の情報発信や有効活用</u> することによって、地域に関心を持ち、地域活動の活性化や郷土愛を育む取組に繋げる。	地域内の成人	5月～9月	3回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域のひととともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
流④ を持支統援的すにる地地域域住教民育の学基習盤やの活強動化、交	平石地区文化祭（同時開催：農業祭）	小学生の作品展示や、平石生涯学習センター利用団体による学習成果を発表することで、文化活動や生涯学習を推進する機会とする。また、参加することにより、地域住民との連帯意識の高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズを的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 ・生涯学習団体や地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	市民ニーズに応じた学習活動へのつなぎや支援を迅速に行うほか、相談者の活動に関する課題や相談内容について助言・支援を行うなど、多種多様な分野の学習が持続的に学習できるよう取組を強化する。	全市民	通年	随時

令和6年度 清原生涯学習センター基本方針・事業計画

【所在地】 宇都宮市清原工業団地15番地4	【電話番号】 028-667-5696	【ファクス】 028-667-9062
【開設】 昭和26年8月1日	【施設複合化】 平成3年4月1日	
【対象区域】 清原中央小・清原南小・清原北小・清原東小学校・ゆいの杜小学校の各通学区域		



基本方針

清原地区は、ゆいの杜地域を中心に新たな居住者が増えており、転入者の地域コミュニティへの参加やわがまち意識の醸成が課題となっている。さらには、LRTの開通を生かした地域の観光振興や活性化を推進していくため、次世代のまちづくりを担う人材の育成が不可欠である。

このようなことから、まちづくりの推進力となる人材育成に資する講座を開催するとともに、オンラインを積極的に活用し、幅広い世代が講座に参加しやすい環境整備を図る。

○住民が地域の魅力を再認識し愛着を深めるとともに、地域の観光振興や賑わいの創造に携わる人材の育成につながる講座を展開する。

○子育て世代の不安解消や地域・家庭の教育力向上を図るため、地元大学や地域在住の専門家などとの連携により、子育て世代や子育てに関わる人材のニーズに対応した事業を展開する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
活①の地域向上に住に民資の学習事業意欲の推進場と生	青少年指導者・育成者研修会	地区内の青少年育成協議会及び子ども会育成会連絡協議会などと連携し、新たな地域居住者とのつながりを育みながら、子育て中の若年世帯の不安解消や地域で子育てに関わる人材のスキルアップを図ることを目的とした講座を開催する。	地区内青少年育成関係者	5月～12月	2回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	7月	2回
一②地域と域な・学校・家庭活動の連携・協力し、	ふれあい子育て広場	親子のふれあいを通し、親子の絆を深めるとともに、同世代の保護者同士の交流を深め、子育て世代の不安解消を図り、生き生きとした親子関係を育む。	地区内の未就学児とその保護者	5月～12月	3回
	チャレンジ遊び塾	日常生活では体験できない「遊び」や「学び」を通じて、新たな物事への好奇心やチャレンジ精神を育む。	地区内小学生	7月～8月	1回
	企業体験教室	清原工業団地の企業との連携による講座を開催し、「日本のものづくり」の技術や、日本を代表する企業が地域にあることを認識させ、子ども達の郷土の誇りと愛着を育む。	地区内小学生	7月	1回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
つ座③など地げ学域るん理仕だ解組成をみ果促のを進充活す実動るに講	◎清原の魅力を発信しよう!!	地域住民が地区の歴史・文化や農産物などの地域資源の魅力幅広く学び、わがまち意識の醸成を図るとともに、SNS等を活用した情報発信や、新たな賑わいの創出が図れるような講座を開催する。	地区内住民	5月～12月	3回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
基盤④盤、持の交統強流的化をに支地援域す住の地学域教育の活	清原地区文化祭	清原生涯学習センターの利用団体が、日頃の成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	生涯学習センター利用団体及び地区内小・中・高・市民	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

令和6年度 横川生涯学習センター事業計画

【所在地】宇都宮市屋敷町576番地1 【電話番号】028-656-6452 【ファクス】028-656-7702
 【開設】昭和29年9月25日
 【対象区域】横川中央・横川東・横川西小学校の各通学区域と瑞穂台小学校通学区域のうち、さるやま町及び下栗町の区域



基本方針

横川地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が中心となり、様々な活動を展開しており、また、近年人口が増加するとともに、若い世代の割合が高い状況にある。
 一方で、少子・超高齢化や核家族化の進行に伴い、地域コミュニティの希薄化など様々な課題が生じており、地域の連帯感の醸成や地域を担う人づくりが急務となっている。
 このようなことから、住民自らが地域に目を向け、地域の課題に気づき、解決に向けた契機とするための講座や、青少年や子育て世代、高齢者など幅広い世代を対象に、学ぶことの楽しさや仲間づくり、生きがいづくりにつながる講座を実施し、学んだ成果を活かして地域で活動する人材の育成や、家庭・地域の教育力の向上に結びつくような事業を展開する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
上①に地資域住する民の事業の学習の推意進の高揚と生活の向	ことぶき塾	日常生活に即した課題や社会問題、歴史、文化、芸能等、生きがいの創出につながるような講座を開催することで、高齢者がいつまでも元気でいきいきと豊かな暮らしを送れるよう支援を図る。	横川地区の60歳以上の住民	6月～11月	5回
	大好きヨコカワ【CKP】	横川地区のまちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用につながるよう、地域活動参画の契機となるような内容の講座を実施する。	横川地区住民等	7月	1回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	9月1月	2回
教携②育・地活協域動力・の学推、校進一・体家と庭ながつ連た	親子のびのび講座	就園前の幼児期に、体操やレクリエーション等を通して、親子のスキンシップを深め、親子双方の育ちを支援するとともに、同じ子育て世代同士が知り合う場や母親のライフデザインを考える契機を提供する。	2～3歳児とその保護者	7月～12月	5回
	ワクワク体験教室	児童が、同年代の子ども達と「ものづくり」などの体験活動を通して仲間意識を育みながら、創意工夫する力を身に付ける講座を実施する。	小学生	8月	3回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時
に③つ地な域げ理る解仕を組促み進のす充る実講座と学んだ成果を活動	まるごと横川【CKP】	地域学講座として地元横川の魅力などについて学ぶことを通して、地域に対する理解や愛着を深め、地域づくりに対する意識の醸成を図ることで、人材育成や地域ビジョンの推進につなげる。	横川地区住民等	10月1月	2回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
	横川ふれあいまつり（文化祭）	横川生涯学習センター利用団体や地区内の小中学校及び各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上や生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	横川生涯学習センター利用団体、地区内の小中学生及び各種団体、一般市民	11月	1回
域や④教活持育動続の、的基交に盤流地のを域強支住化援民すの学地習	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

【所在地】 宇都宮市下桑島町1030番地1 【電話番号】 028-656-4250 【ファクス】 028-656-7704
 【開設】 昭和26年4月1日 【施設複合化】 平成4年4月13日
 【対象区域】 瑞穂野北・瑞穂野南小学校の各通学区域と瑞穂台小学校通学区域のうちさるやま町及び下栗町を除く通学区域



基本方針

瑞穂野地区においては、まちづくり協議会を組織する各種団体が中心となり様々な「まちづくり活動」を展開している。当地域は、大規模な住宅団地の形成により子育て世代が多く居住していることから、子育て支援や青少年の健全育成を着実に推進する必要がある。その一方で、高齢化や核家族化の進行、さらには新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活様式の変化などにより、地域コミュニティの希薄化も目立ってきており、生活の核である家庭の重要性とともに、地域内の結びつきの必要性も一層高まってきている。こうしたことから、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また、学ぶ人を増やし、学んだ成果が地域活動に結びつくきっかけとなる事業の充実を図るとともに、地域課題解決や社会の変化に対応するため、デジタル技術を活用した講座等を展開する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
業場①の地推生域進活住の民向の上学習意欲するの高	◎女性のための大人の学び講座	子育てなどが落ち着いた女性が、健康に関することや本センターで活動する自主学習グループに参加することなどで学び、継続的な「学び」へのきっかけづくりと参加者同士の交流を行う。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	10月	3回
	スマホ講座【CKP】	スマホの操作を学んで、日常生活を便利にするため、必要な知識・技術を身につける。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	10月	1回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	9月1月	2回
教②育地活動・学校進・家庭が連携・協力し、一体となった	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支援する。また、子育てに必要な知識の習得を促すとともに子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	就学前の幼児と保護者	6月10月	5回
	はっぴー子育て講座	乳児期の大切な時期に親子のスキンシップや学びを通して、家庭における子育て力の向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	乳児と保護者	6月7月	2回
	少年ふるさと教室	体験活動を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する青少年	5月1月	2回
	親子チャレンジ教室	専門家や地域のボランティアによる指導を受けながら、親子でいろいろなことにチャレンジすることにより絆を深めるとともに、体験活動等を通して青少年のリーダーとしての資質向上と育成を図る。また、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設け子育ての一助とする。	瑞穂野地区内に居住する青少年の親子	7月8月12月	4回
	リーダー講習会	地区内の6年生を対象に、宿泊研修を行い、他校の仲間と交流を図る。	瑞穂野地区内に小学校6年生	8月	1回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
げと③る学地仕ん域組だ理み成解の果を充を促実活進動するにつ講な座	◎地域学「みずほの」	地域の特性や歴史、文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	6月12月	4回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
流④を持支援的する地地域域住民育の学基習やの活強動化、交	【みずほのフェスティバル】瑞穂野生涯学習センター文化祭（同時開催：農業祭・福祉まつり）	センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示等の生涯学習の推進及び特色ある地域文化の向上発展、地域による主体的な地域づくりの推進、並びに地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般成人等・センター利用団体	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

令和6年度 城山生涯学習センター事業計画

【所在地】 宇都宮市大谷町1059番地5 【電話番号】 028-652-4794 【ファクス】 028-652-5570
 【開設】 昭和24年10月17日 【施設複合化】 平成6年4月1日
 【対象区域】 明保・城山中央・城山西・城山東小学校の各通学区



基本方針

第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現のために、個人の興味や関心に沿った多様な学習活動への支援を継続するとともに、地域主体のまちづくりを推進するため、地域と連携した人づくりや地域づくりの講座を実施する。
 また、城山地区の豊かな自然と歴史ある地域資源を活かしてその魅力を再認識できる講座や、災害対応など地域が抱える課題に対応するための講座を実施し、学習した成果を地域活動に生かすことができる地域の人材育成はもとより、家庭・地域の教育力の向上や、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりに取り組む。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
資① す地 域 事 住 業 民 の 推 学 進 習 意 欲 の 高 揚 と 生 活 の 向 上 に	◎ヒトマチづくり	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通し、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。 講座内容は、地域住民の関心が高い防災講座を企画する。	地域内住民	7月	1回
	◎いきいきセミナー	多様化する住民のニーズに合わせて、今、住民が必要とする情報や学習機会を提供することで、生涯学習のきっかけとなり、心豊かな生活の一助となるよう支援する。 講座内容は、まちづくり活動に役立つスマホ講座を企画する。	地域内住民	6月	1回
	★科学実験教室	身近なものをテーマにした科学実験や食中毒や感染症の予防に有効な正しい手洗い体験などを学習し、科学的なものの方見方等を学習する。	地区内に在住または通学する小学3年生以上の児童	7月	1回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内に在住のスマートフォン初心者	未定	2回
と② な 域 た・ 域 教 育 校 活 ・ 家 庭 推 が 進 携 ・ 協 力 し 、 一 体	ともそだち広場	乳幼児とその保護者が、季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、親同士が情報交換や情報を共有しながら、親子共々成長していく過程を支援していく。	0～3歳までの乳幼児とその保護者	5月～12月	7回
	親子でにこにこクッキング	命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子で調理することにより、親子の絆を深める。また、地産の食材を活用し、地域への関心を喚起する。季節の野菜を食材とすることで、季節を感じる豊かな心を育む。	地区内に在住または通学する児童とその保護者	7月・12月	2回
	★親子寄せ植え講座	親子で花の寄せ植えを行うことで、親子の絆を強めるとともに、季節を感じる豊かな心を育む。	地区内に在住または通学する児童とその保護者	11月	1回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
仕③ 組 み 地 域 の 成 理 充 果 解 実 を 活 促 進 に す つ な 講 座 と	しろやま地域学	豊かな自然や文化財などの地域資源を知ることで、地域の魅力や課題に気付くきっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。	地域内住民	8月	1回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度新成人（二十歳）	1月	1日
流④ を 持 支 統 援 的 に す る 地 域 住 民 育 の 学 基 盤 の 活 強 動 化、 交	城山生涯学習センター文化祭	地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山生涯学習センター利用団体、地域内小・中学校、県立言学校、地域団体、一般市民	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

【所在地】宇都宮市宝木本町1868番地1【電話番号】028-665-2942【ファクス】028-665-7225
 【開設】昭和25年7月20日
 【対象区域】市域全体及び国本中央・国本西・兎宝小学校の各通学区域



基本方針

地域の生涯学習活動の拠点として社会の要請や地域住民のニーズに応じた多様な学習の場を提供することで、「地域で活躍できる人づくり」、「家庭や地域の教育力向上」、「絆づくり」を目的とした事業に取り組む。
 (ア) 地域人材や地域資源を活かし、地域を学ぶ講座を継続的に開催することで、地域の良さを再認識し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域に還元できる人づくりを目指す。
 (イ) 地域と連携し、防災に関する講座を開催することで、災害時に適切な対応ができるようにするなど、地域の安心・安全な生活を支えることができる人材の育成に繋げる。
 (ウ) 地域と家庭・学校等と連携した事業を実施し、家庭と地域が一体となって子どもを育てていくという意識を醸成し、地域全体の教育力向上を図る。
 (エ) サークル活動の支援及び趣味・教養・社会の要請等に応じた主催講座や地区文化祭の開催などを通して、地域の課題解決に役立てるとともに、地域の方々の絆を深めるための交流の機会を創出し、地域コミュニティづくりの強化を図る。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
生① 活地の域 向住上 民の資 学する 意欲 事業の 高推 進と	くにもと元気アップ講座	地域の人々が日々元気で生き生きとした生活が送れるよう、フレイル予防等について学び、健康寿命の延伸に役立てるとともに、受講者同士の交流を通じて地域の絆を深めていく。	地区内在住の成人	6月～7月	2回
	◎くにもと生き生き教室【CKP】	地域団体と連携しながら、防災意識を啓発する講座を開催することで、国本地区の人が安心・安全かつ生き生きとした生活を送れるよう地区の防災力を高めるとともに、受講者同士の交流を通じて地域の絆を深めていく。	地区内在住の成人	8月	1回
	スマホ講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学ぶ。	市内在住もしくは在勤のスマートフォン初心者	未定	2回
体② と地 な域 つた 学 校 教 育 ・ 家 庭 の が 推 進 携 ・ 協 力 し 、 一	親子ワクワク教室	親子でのさまざまな体験等を通して、子育ての悩みを解決するための知識を習得するとともに、同世代の親子と触れ合い情報交換することで、家庭や地域内での教育力の向上に役立てる。また、保健師の講話を聞くことで、子育ての環境をより充実できるように、子どもと保護者それぞれの健康管理について学ぶ。	市内在住の未就園児とその保護者	6月～12月	5回
	夏休みチャレンジ教室	小学生の夏休みの宿題に役立つ工作や科学実験など、体験型の講座を開催することで、ものづくりや科学の楽しさを学ぶとともに、他学年・他校の児童との交流を通じ、仲間づくりを図る。	地区内の小学4年生～6年生	7月～8月	2回
	くにもとyou. 遊.club	地域や学校と連携し、地域で採れた食材で伝統食やお菓子を作ることで、親子で地域の良さや食の大切さを再認識してもらい、郷土愛の醸成や地域の活性化のきっかけ作りとする。	地区内の小学生とその保護者	12月R7.1月	2回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
つ座③ など地 げ学 域 の 理 仕 だ 解 組 成 を み 果 促 の を 進 充 活 す 実 動 る に 講	◎100倍楽しむ国本塾【CKP】	地域団体と連携し、歴史・文化と地域行事、特産品などを組み合わせた地域学講座を開催することで、地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域課題解決のために還元できる人材の育成を図る。	地区内在住の成人	6月～11月	5回
	二十歳を祝う成人の集い	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げるにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1回
盤動④ の、持 強交 統 化流 的 をに 支 援 域 住 民 の 域 学 教 育 の 活 基	国本生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、団体同士の交流を図るとともに、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	国本生涯学習センター利用団体、地区内小中学校及び一般市民	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・提案し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや、相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

【所在地】 宇都宮市徳次郎町80番地2【電話番号】 028-665-1663【ファクス】 028-665-7226
 【開設】 昭和24年12月 1日
 【対象区域】 富屋小学校通学区域



基本方針

富屋地区においては、まちづくり連絡協議会が中心となり地域主体の事業が活発に展開されており、今後も継続して「住民主体のまちづくり」を推進していくためには、地域を担う人材の育成が、一層求められている。

こうしたことから、令和6年度においても、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づき、地域資源の活用や課題解決に向けた取り組みの契機とするための地域学講座などへの参画を通して、地域社会を支える「人づくり」の推進につながる事業を展開する。

また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、子育て世代の親子を対象とした特色ある事業を展開する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
生① 活地の域 向住上民 にの資学 す習る意 事欲業の 高推揚進 と	シニア講座	デジタル化など、シニアを取り巻く環境が変化している中、シニアがいつまでも元気で心豊かに過ごせるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を図る。	地区内の60歳以上の成人	9月～12月	2回
	とみや女性学	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通して、地域のネットワークを広げるとともに、女性の力で地域力アップを図る。	富屋地区在住の成人女性	5月～9月	3回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	未定	2回
な② つ地た域 教・育学 活校動・家 推庭進が 連携・協力 し、一体 と	とみや再発見【CKP】	富屋小学校に学ぶ児童が、自分たちの住んでいる地区の自然や歴史、文化、産業などについて自ら調べ、学習能力を高めるとともに、地域の素晴らしさや魅力を知り、郷土愛の心を育てる。	富屋小学校児童	12月～2月	4回
	タコづくり講習会	子どもたちの遊びの主流がゲームになっている現代において、地域の伝統的な遊びである凧あげを体験するための凧を自ら作成することにより、豊かな心と想像力を育むとともに、下野凧を後世に伝える。	富屋小学校児童	11月～12月	2回
	親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	就園前の乳幼児とその保護者	7月～9月	3回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
仕学③ 組んだ地 みだの成 理充果解 実をを活 促進にす つるな講 げ座と	◎とみや魅力発見ガイド養成講座	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特徴を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。また、これらを後世に伝えるために、地域以外の住民にも広く受講者を募り、解説できる人材を養成する。	富屋の自然・歴史・文化財に興味のある方	6月～7月	5回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
域や④ 教活持育 動続の、 的基交に 盤流地の のを域強 支住化援 民すの学 地習	とみやふるさとまつり	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

【所在地】 宇都宮市岩曾町825番地1 【電話番号】 028-660-2340 【ファクス】 028-660-2270
 【開設】 昭和25年3月20日 【施設複合化】 平成8年4月1日
 【対象区域】 豊郷中央・豊郷南・豊郷北・海道小学校の各通学区域



基本方針

地域の生涯学習活動の拠点として、豊郷地区内の豊かな地域資源を活用しながら、多様化する地域ニーズや話題を捉え、幅広い世代に、多様な「学び」の場を提供し、学ぶことの喜びを通じた「仲間づくり」「生きがいづくり」「郷土愛の醸成」などに加え、地域課題の対応につながるような生涯学習を推進する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
向① 上地に域 資住する 民の学 業の意 推欲進 の高揚 と生活の	★スマホステップアップ講座	「スマホ基礎講座」の受講生等への ステップアップ講座 として、行政サービスの利用やLINEなどのSNSを活用するために必要な基本操作を学ぶとともに、ネット詐欺やウィルス感染などのセキュリティに係る知識を習得する。	地区内の一般成人	10月～11月	2回
	とよさと元気塾	超高齢社会において、シニア世代が豊かで潤いのある人生を送れるよう教養や知識を身に付け、健康で元気に生活することを旨とする。	地区内在住の成人（60歳以上）	6月～10月	5回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデハイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	未定	2回
と② な地 つ域 た・学 校校 活・家 動の庭 が推が 進連携 ・協力 し、一 体	子育て広場	音楽鑑賞 を通して、親子で音楽を楽しみながら、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むきっかけとする。	就学前の幼児とその保護者	5月～10月	2回
	◎ 親育ち講座	子育て中の母親が抱える子育ての悩みや心配事、また、 ライフプランなども含めて、様々なことを語り合い、それぞれの持つ問題を解決していく糸口を見いだせるようにする。 また、今までどおり、託児を付けて、安心して講座に参加できるようにする。	市内在住の1～3歳児の保護者	9月～10月	4回
	わくわく体験教室	子どもの頃の体験や多くの人との出会いが、生きる力を育み人間力の向上を培うことから、学校、学年、学級を超えた仲間との交流や、生活体験・社会体験を通して自ら考え行動できる青少年の育成を図る。	地区内小学校4・5年生	6月～10月	5回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
動③ に地 つ域 な理 げ解 るを仕 組進 みす の充 講 実 と学 んだ 成 果 を 活	まほろば探検塾	地域の歴史や文化を学ぶことにより、郷土への関心や愛着心を高め、地域の持つ魅力や課題に気づくとともに、まちづくり意識の高揚を図り、地域活動のきっかけとする。	地区内在住の成人	9月～12月	4回
	◎ 防災力UP講座【CKP】	地震や風水害など、突然起こる自然災害に関する知識を習得するとともに、 防災に関する意識の醸成を図り、地域防災力の向上を目指す。	地域団体の役員等	6月	1回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
化交④ 流持を 統支 援に す地 域域 住地 民民 教の育 学の習 基や 盤活 の動 強、	豊郷まつり（センター文化祭）	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供する。	豊郷生涯学習センター利用団体	11月	1回
	情報の収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

【所在地】 宇都宮市下小池町466-1 【電話番号】 028-669-2515 【ファクス】 028-669-2972
 【開設】 昭和26年1月26日 【施設複合化】 平成3年4月1日
 【対象区域】 篠井小学校通学区



基本方針

篠井地区は、古くから豊かな自然に恵まれ、世代間の交流を大切に、歴史と伝統が大切に守られてきた地域であり、まちづくり協議会とその構成団体である各種団体が主体となり地域活動を活発に行ってきた。
 しかしながら、少子超高齢化、コミュニティ意識の希薄化、団体役員の固定化や担い手不足など、さまざまな課題も生じている。
 このようなことから、学びを通して豊かな人間性を育み、地域コミュニティや地域教育の向上を図るため、「篠井地域ビジョン」の考え方にに基づき、地域教育の向上を図る講座、子育ての仲間づくりや家庭教育を学ぶ体験的な講座、魅力や課題を捉える地域学講座などに取り組み、地域の人材育成とともに「自然と共に伸び伸びと生きるまち 篠井」を目指す。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
業場① のと地 推生域 進活住 の民 向の 上学 に習 資意 す欲 の事 高	輝き人生教室	余暇の有効活用、健康の維持促進、世代間交流を通して、健康で生きがいのある生活ができる力を身につける。	地域の高齢者	8月～ R7.1月	7回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	未定	2回
一② 体地 と域 な っ 学 た校 教・ 育家 活庭 動が の連 推携 進・ 協 力 し 、	ワクワク子育て仲間づくり	親子の絆や愛情を深め、心身の健康を育むとともに、受講生同士の交流を促進し、仲間づくりや子育てに必要な情報を提供する。	市内在住の乳幼児とその保護者	6月～ R7.1月	8回
	少年大空教室	日常生活では経験できない多様な学習・体験を通じ、自主性や好奇心、考える力を養うとともに、他者との交流を通じて協調性や社会性の育成を図る。また、講座をとおして、参加者に篠井地区の魅力を発信する。	地域の小学生とその保護者および市内在住の小学生とその保護者	8月～ R7.1月	4回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
みんな③ の地 成域 実果 理を 解活 を動 促に 進つ すな げ講 る座 仕と 組学	◎地域力アップ教室	地域をより一層成長させるために地域を確認し、地区内にある資源・文化伝統等を新発見し、地域ビジョンの実現へと繋げる。	地域住民および市内在住の一般成人	7月～ 11月	5回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域のひととともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げるにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
流④ を持 支統 援的 する 地域 域住 教民 育の 学基 習や の活 強動 化、 交	篠井生涯学習センター文化祭	篠井生涯学習センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

令和6年度 姿川生涯学習センター基本方針・事業計画

【所在地】 宇都宮市西川田町805番地1 【電話番号】 028-658-1594 【ファクス】 028-659-9425
 【開設】 昭和26年12月1日 【施設複合化】 平成15年12月22日
 【対象区域】 姿川中央・姿川第一・姿川第二小学校の通学区域と新田小学校の通学区域のうちみどり野町、針ヶ谷町、針ヶ谷1丁目及び若松原3丁目を除く区域



基本方針

姿川地区においては、「姿川地区将来ビジョン」に掲げた将来像を実現するため、地域まちづくり組織が主体となって様々なまちづくり活動に取り組んでいる。
 このような中、姿川地区においては、地域まちづくりへの関心や講座への参加意識を高め、学んだ成果を地域に還元できる機会を提供するとともに、まちづくりに関わる人材の確保・育成や、新たな利用者層の拡大に向けた講座を展開していくことが必要である。
 このようなことから、保健福祉における南部地域の拠点であることを活かした子育て・健康づくり等の講座や、魅力ある地域資源を活かし郷土愛の醸成を図る講座のほか、交流事業をおとした新しい文化に触れ地域活性化に繋がる講座、さらには、新たな姿川地区のイメージの創出が図れる講座等、既存の枠にとられない多様な事業を展開していく。

★：令和6年度新規事業， ◎：令和6年度重点事業， 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座， 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
す① る地 域 住 民 の 推 進 の 学 習 意 欲 の 高 揚 と 生 活 の 向 上 に 資	スマートフォン初心者向け講座	市民へのデジタルデバイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地区内の一般成人	未定	2回
	親子ふれあい広場	乳幼児とその保護者に育児に必要な知識の提供を行い、育児支援を行うことで、母子の健康増進と育児不安の軽減を図る。	乳幼児（0～6歳）とその保護者	6月～R7.2月	8回
	いきいきシニアすかたがわ	健康や生きがいづくりに係る知識の習得や運動等を体験し、家庭内でも手軽に実践できるよう、シニア世代が健康で充実した毎日を過ごすためのきっかけづくりを提供する。	地区内の60歳以上の一般成人	6月～R7.2月	6回
	ヘルシー料理教室	家庭内で料理を手軽に取り組むことができ、健康増進に繋がる調理実習を地域健康づくり団体等と連携して企画、家庭内での充実を図る。	地区内の一般成人	8月～R7.2月	4回
	★目指せ！姿人（すかたがわ）講座	厚生労働省において、毎年3月1日から8日までの期間、「女性の健康週間」と定め女性の健康づくりを国民運動として展開している中、姿川地区においても、女性の心と身体の健康増進とともに幅広い世代の利用促進を図る。	市内在住の成人女性	R7.2月～3月	1回
動協② の力 地 域 推 進 、 一 学 体 校 と な 家 つ 庭 た が 教 連 育 携 活・	★姿川地区イメージお絵描きワークショップ	お絵描き創作の楽しさに触れ、その中で姿川地区をイメージするアートを制作し地元の魅力に気付くきっかけとする。ワークショップにおいては、コロナ過で使用し余った飛沫防止シート（クリアシート）を使用することで、アップサイクルによるSDGsの促進も図る。	市内在住の小学5年生から高校生	8月	2回
	ふるさと教室	地域団体や企業等と連携しながら、地域内の自然環境・歴史文化や工作など幅広いジャンルの学習の機会を提供することにより、子どもたちの連帯感や共同意識を醸成し、将来の地域まちづくりを担う人材に繋げる。	地区内の小学4年生	未定	1回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく	地域団体	通年	随時
充③ 成地 果域 を理 活解 動を に促 つ進 すす げる 講 仕座 組と み学 のん	★姿川地区ワークショップフェス～暮らしに“おめかし”！ワークショップ～【CKP】	これまで実施した講座「アロマ制作」「お絵かき」「ゆず染め体験」の”フェスタ”を開催し、参加者等が一堂に会することで、人的・文化交流を図るとともに姿川地区の新たな文化を創出する。	市内在住の成人	12月	1回
	姿川歴史教室	「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「姿川さんぽ」を活用し、「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	地区内在住の成人	未定	1回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳となった成人が地域の人とともに式典を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つとともに、二十歳となった成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
を④ 支 援 続 的 るに 地 域 域 教 育 民 の 学 盤 習 の や 強 化 動 ・ 交 流	ゆず染め教室 ※交流事業	他地区の特色を学び、人的交流する機会を創出することで、改めて地区内の特色や気付きを促すことができる学習の機会を提供するもの。（再掲）	地区内の一般成人	12月	1回
	姿川生涯学習センター文化祭 ※交流事業	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、団体同士の交流を図るとともに、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	姿川生涯学習センター利用団体、地区内小中学生及び一般市民	11月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

令和6年度 雀宮生涯学習センター事業計画

【所在地】宇都宮市新富町9番4号 【電話番号】028-654-1013 【ファクス】028-653-5646
 【開設】昭和28年12月1日 【施設複合化】平成元年10月16日
 【対象区域】雀宮中央・雀宮東・雀宮南小学校の各通学区、新田小学校通学区のうち針ヶ谷町、針ヶ谷1丁目及び兵庫塚3丁目の一部、五代小学校通学区のうち北若松原1丁目、北若松原2丁目、五代2丁目の一部、五代3丁目の一部、みどり野町、若松原1丁目、若松原2丁目及び若松原3丁目を除く区域



基本方針

地域の生涯学習の拠点として、幅広い世代を対象に「学び」の機会を提供し、学んだ成果が地域に還元され、地域活動が活発に展開されるよう、以下の考え方に基づき、「人づくり」と「地域づくり」の観点から生涯学習を推進する。

- (ア) ものづくりや体験活動を通して、仲間との連帯感や責任感を養い、リーダーシップを醸成し、次代を築く「青少年の健全育成」を図る。
- (イ) 子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を促し、「家庭教育支援」を図る。
- (ウ) 心身ともに健康で充実した高齢期を過ごせるよう、健康づくりや趣味・教養の習得を支援し、「高齢者の生きがいづくり」の促進を図る。
- (エ) 雀宮の文化や歴史など、地域の資源や魅力を再認識し、地域への理解や愛着を深め、「地域コミュニティの強化」を図る。

★：令和6年度新規事業、◎：令和6年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
の① 向地上域に住 資する学習意 欲の推進と生 活	さわやか倶楽部 【Vスタッフ】	豊かな経験を引き続き社会に活かしながら、新しい知識や趣味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。	雀宮地区内の60歳以上の方	6月～12月	6回
	ライフアップセミナー 【CKP】	社会全体のデジタル化、進展するグローバル化に興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通じた新たな学びを促す機会を図る。	雀宮地区内の一般成人	7月	1回
	雀宮の歴史を学ぶ	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施においては地域行事と連携し、充実を図る。	雀宮地区内在住者	11月	1回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	未定	2回
動②の地域 推進・学校・家 庭が連携・協 力し・一体とな った教育生活	ちゅんちゅん親子ふれあい広場	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭教育支援の充実を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。	未就学児とその保護者	7月～12月	7回
	青少年セミナー	自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なかまとの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	7月・8月	5回
	ちゅんちゅん親子チャレンジ	親子で協力して取り組む体験の機会を提供することにより、親子の絆を深めるとともに、親同士、子ども同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	雀宮地区内の小学生（1～3年生）とその保護者	8月	1回
	地域わくわく子ども塾	雀宮地区の特性を生かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくりや体験学習を通して、知識・技術を習得することで、自立心の向上やリーダーシップの精神を育む。また、世代間の連帯感や郷土愛の精神を深め、地域づくりの礎を築いていく。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	7月・8月	2回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
果③を地域動 理に解つな 促す組 み座の充 実	1 LOVE 雀宮講座 【CKP】	<u>自分の住む地域の魅力や課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。</u>	雀宮地区内の成人	2月	2回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことへの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
	雀宮地域文化祭・収穫祭	「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	雀宮地区内一般市民と雀宮生涯学習センター利用団体・雀宮地区内小中高校等	11月	1回
る習④地や持 域活 動的育、に の交地 基流 盤を住 民強 化す学	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

【所在地】宇都宮市中里町181番地3 【電話番号】028-674-3131 【ファクス】028-674-3139
 【開設】昭和49年 4月 1日
 【対象区域】上河内地区



基本方針

上河内地域における資源や特性、住民ニーズなどを踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスを配慮しながら、多様な事業を推進する。事業の実施にあたっては、関係部局や関係機関団体と連携を図り、とりわけ地域の課題解決や活性化につながる事業については地域まちづくり推進団体とともに取り組んでいく。

- (ア) 住民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる趣味・教養的な講座を地域課題や生活課題を十分に盛り込みながら継続していく。
- (イ) 「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。
- (ウ) 地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える人材の発掘や育成に取り組んでいく。
- (エ) ICT社会の到来に伴い、地域住民誰もがスマートフォンを敬遠せずに、有用な生活情報や災害情報等を入手することによって、快適な暮らしや安全安心な暮らしを送ることができるよう、情報リテラシーの向上を図る講座を実施する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
の① 向地上域に住 資民する学 事習業意の 推の欲推の 進高揚と 生活	◎スマートフォン講座	地域住民の情報リテラシーの向上を図るため、スマートフォンが身近に感じる内容を含めるなど、幅広い世代の地域住民が参加できる内容とする。	市内在住・在勤の成人	9月	2回
	ライフアップセミナー in かみかわち	健康、生活、歴史、文化、国際交流の5つの分野を柱に、専門性を高めつつ、地域住民のニーズや時宜を反映した内容とする。	市内在住・在勤の成人	7月～12月	8回
	★丁寧な暮らしを学ぶ【CKP】	生涯学習へ興味を持つきっかけ作りとして、郷土料理づくりなど日常生活に彩りを添える内容の講座を実施し、楽しみながら学び続ける学習機会を提供する。	地区内在住・在勤の成人	11月～12月	3回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	未定	2回
教携② 育・地 活協域 動力・ のし学 推、校 進一・ 体家 とな がっ つ連 た	◎子育て講座	上河内地区子育て支援会議と連携し、子育てや家庭教育の学びの場を提供するほか、子育て中の保護者が情報交換できる機会を提供する。	市内在住の未就学児とその保護者	6月	3回
	◎★子どもふるさと教室	地区内の各種団体との共催により、地域の様々な活動や魅力に触れ、郷土愛の醸成を図るとともに、参加者同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	市内在住の小中学生	7月～8月	3回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時
成③ 果地 を域 活理 動解 にを つ促 な進 げす る仕 講組 みと の学 充ん 実だ	◎★上河内地域学	地域の歴史や伝統文化を次世代へ継承していくため、有識者から上河内地区の歴史、伝統文化について学び、これらを地区内外に伝承できる人材を育成する。	地区内在住・在勤の成人	1月	3回
	上河内地区文化交流祭	地域の幼稚園、保育園、小中学校の児童生徒及び生涯学習センター利用団体の作品を一堂に展示し、またセンター利用団体をはじめ地域の方々が日ごろの学習成果を発表することにより、地域文化の向上と生涯学習推進の機会とする。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことへの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
基動④ 盤、持 の交統 強流的 化をに 支地 援域 す住 る民 地の 域学 教育 やの 活	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者の様々なニーズに応じて情報提供や助言をするなど、学習活動を具体的に支援する。	全市民	通年	随時

【所在地】 宇都宮市中岡本町3221番地4 【電話番号】 028-671-3201 【ファクス】 028-671-3220
 【開設】 昭和53年4月1日 【施設複合化】 平成28年3月22日
 【対象区域】 岡本・白沢・田原・岡本西・岡本北・田原西小学校の各通学区



基本方針

身近な生涯学習の拠点として様々な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに社会環境が急激に変化する中において、社会の要請に対応する事業や人間力の向上、家庭・地域の教育力の向上に資する事業に取り組んでいく。

- (ア) 地域の魅力を発見できる事業の充実を図る。
- (イ) 地域の人材等を活用した講座を実施するとともに地域で活躍できる人材の育成に努める。
- (ウ) 仲間づくりや交流の場を提供し、人と人との絆づくりを推進する。
- (エ) 人間力の向上や家庭教育力の向上に資する事業を積極的に展開する。

★：令和6年度新規事業、 ◎：令和6年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			
		内容	対象	時期	回数
生① 活地 の域 向住 上民 にの 資学 す習 る意 事欲 業の 高推 揚進 と	◎かがやくセミナー	受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い生き甲斐のある豊かな人生を過ごす力を身につける「 <u>仲間づくり</u> 」と <u>地域活動等に関心を持つきっかけづくり</u> を推進する。※館外学習あり	市内在住・在勤している成人の方	7月 9月	2回
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	未定	2回
な② つ地 た域 教・ 育学 校校 動・ の家 庭推 進が 連携 ・協 力し ・一 体と	子育て広場	子育ての学習を通して親子のふれあいを深め、情報交換の場を提供し、「仲間づくり」・「ネットワークづくり」を推進するとともに、新たに両親が参加できる仕組みを取り入れる。 ※相談タイムあり	市内在住・在勤の乳幼児とその保護者	7月 9月	2回
	オモシロ夏休み	子どもたちが「学ぶ楽しさ」を感じ、子どもたちの「自ら考える力」をはぐくむとともに、「仲間づくり」を推進する。	市内在住・在学の小学4年生～6年生	8月	2回
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 ※親子で学ぶ郷土料理講座（1月）	地域団体	通年	随時
仕学③ 組ん みだ 域の 成理 充果 解実 をを 活促 動進 にす つる な講 げ座 と	◎いきいき河内発見講座	河内の地域資源を学ぶことによって <u>地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくり</u> を推進する。	市内在住・在勤している成人の方	6月 11月	2回
	二十歳を祝う成人に つどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和6年度成人（二十歳）	1月	1日
基動④ 盤、持 の交 統強 流的 化を に支 地援 域す 住る 民地 の域 学教 習育 やの 活	河内地域文化祭	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	団体及び一般市民	10月	1回
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時

令和6年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどい 会場一覧

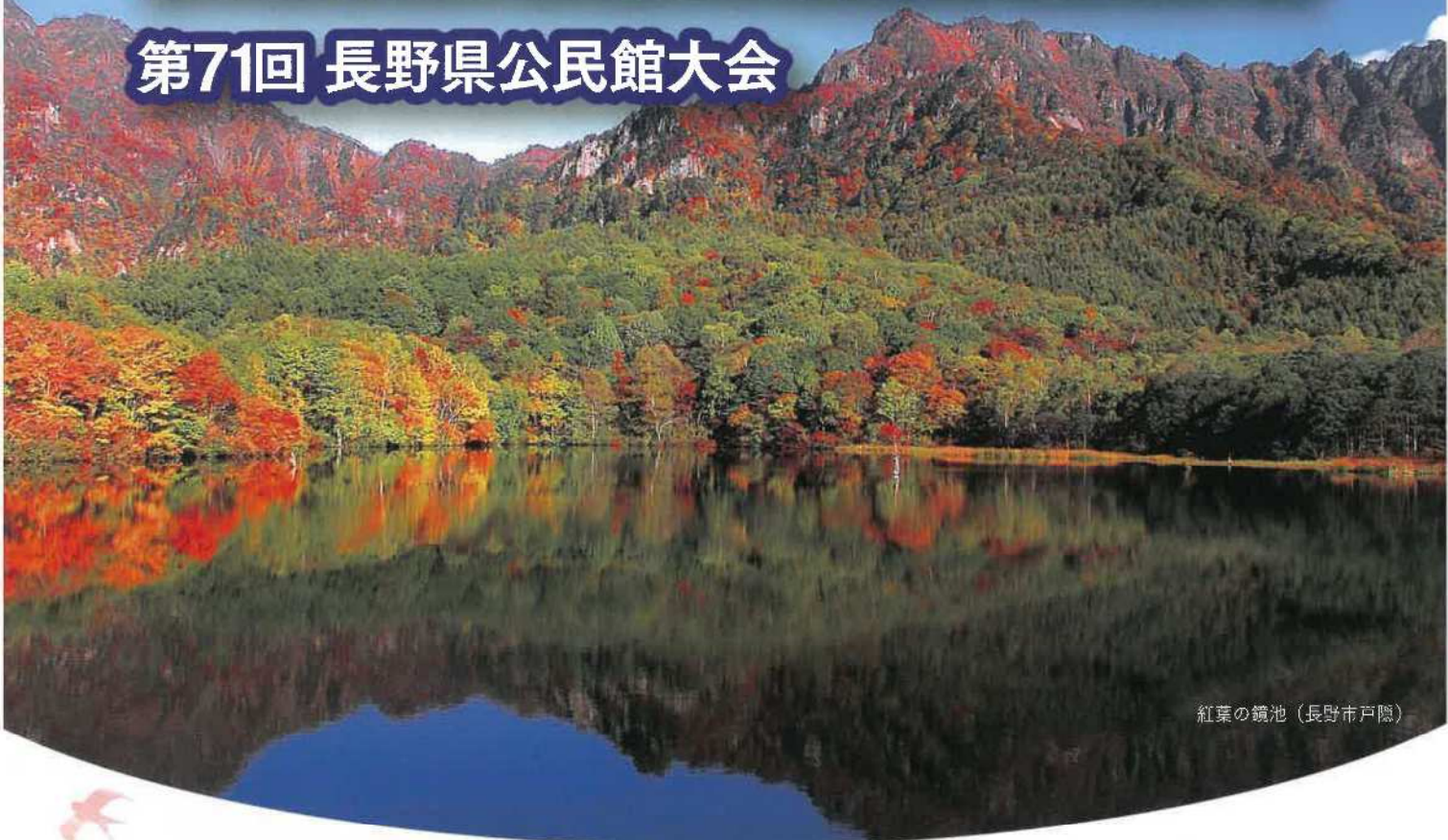
開催日	令和6年1月7日（日曜日）	
開催時間	午前開催	午後開催
受付	午前9時30分～10時	午後1時30分～2時
式典等	午前10時～	午後2時～

中学校区など	会場	
	午前開催	午後開催
一条中学校区		ライトキューブ宇都宮
陽北中学校区 栃木県立のざわ特別支援学校 栃木県立わかくさ特別支援学校		ホテル東日本宇都宮
旭中学校区	ライトキューブ宇都宮	
陽南中学校区	ベルヴィ宇都宮	
陽西中学校区 作新学院中等部 宇都宮短期大学附属中学校 文星芸術大学附属中学校 栃木県立盲学校 栃木県立聾学校 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校		ライトキューブ宇都宮
星が丘中学校区	東武ホテルグランデ	
陽東中学校区 宇都宮東高等学校附属中学校	ライトキューブ宇都宮	
泉が丘中学校区		ライトキューブ宇都宮
宮の原中学校区	ライトキューブ宇都宮	
清原中学校区 宇都宮海星女子学院中学校		ライトキューブ宇都宮
横川中学校区		Cotoneau
瑞穂野中学校区	Cotoneau	
豊郷中学校区	ホテル東日本宇都宮	
国本中学校区		ホテル東日本宇都宮
城山中学校区		コンセーレ
晃陽中学校区 栃木県立富屋特別支援学校	コンセーレ	
姿川中学校区	ホテルニューイタヤ	
雀宮中学校区	ホテルニューイタヤ	
鬼怒中学校区	ライトキューブ宇都宮	
宝木中学校区 宇都宮大学教育学部附属中学校		東武ホテルグランデ
若松原中学校区		ベルヴィ宇都宮
上河内中学校区	ライトキューブ宇都宮	
古里中学校区	ホテル東日本宇都宮	
田原中学校区		ホテル東日本宇都宮
河内中学校区 栃木県立岡本特別支援学校	ホテル東日本宇都宮	

第45回 全国公民館研究集会

第63回 関東甲信越静公民館研究大会長野大会

第71回 長野県公民館大会



紅葉の鏡池（長野市戸隠）

開 催 要 項

人をつなぎ、時をこえて、未来を創る

～住民とともに今を切り拓く公民館～

令和5年 9月28日（木）～29日（金）

開 催 地 長 野 市

会 場 第1日 全 体 会：長野市芸術館

情報交換会：長野ホテル犀北館

第2日 分 科 会：長野市生涯学習センター

長野県農協ビル、長野市東部文化ホール



1 趣 旨

公民館は、戦後の民主化と郷土の復興を目的として誕生して以来、時代のニーズや社会の変化に対応しながら、「集う・学ぶ・結ぶ」実践的な活動を通じて住民自治を創造する役割を担ってきました。

近年、大規模な自然災害が全国で多発し、ここ長野県においても、令和元年東日本台風の豪雨により甚大な被害を受けました。会場となる長野市は千曲川の堤防が決壊し、濁流が住宅地に流れ込む映像が全国に流れました。この時、公民館はいくつかの施設に被害を受けながらも、住民の避難所として、また、災害復興の拠点として大きな役割を果たしました。

しかし、その年の冬から流行が始まった新型コロナウイルス感染症により、公民館活動の原点でもある「集う」ことが大きく制限され、受け継がれてきた伝統行事や住民同士を繋ぐイベント等を中止、縮小せざるを得ませんでした。それとともに、人口減少や少子高齢社会が進み、地域の連帯感の希薄化や人々の公民館離れに一層拍車がかかることが懸念されます。さらに、国際事情の不安定化がもたらす経済の悪化も人々の生活に不安の影を落としています。

このような中で、今、公民館は何をすべきなのでしょう？

今こそ「集う・学ぶ・結ぶ」原点に立ち戻り、これまでの公民館の存在価値を維持しつつも、時代の変化やニーズに合った新たな役割や理念を模索していく必要があります。

コロナ禍で失われつつある住民共助の精神、ICTの進化の中で取り残される情報弱者の学びの支援、SDGsの取り組み、行政・学校・企業を超えた多様な主体との連携・協働など視野を広げ、住民にとって真に必要な「学びの場・交流の場」としての公民館であるために、語り合う大会にしましょう。

人生100年時代、公民館は、これからも住民とともに今を切り拓く伴走者でありたいと願います。

2 大会テーマ

人をつなぎ、時をこえて、未来を創る
～住民とともに今を切り拓く公民館～

3 開催期日

令和5年9月28日(木)～29日(金)

4 会 場

第1日： 全 体 会 長野市芸術館 長野市鶴賀緑町 1613
情報交換会 長野ホテル犀北館 長野市県町 528-1

第2日： 分 科 会 長野市生涯学習センター 長野市鶴賀問御所町 1271-3
長野県農協ビル 長野市南長野北石堂町 1177-3
長野市東部文化ホール 長野市小島 804-5

5 開催方法

- ・対面による通常開催とします。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法を変更することがあります。

6 主 催

公益社団法人全国公民館連合会、関東甲信越静公民館連絡協議会
長野県公民館運営協議会、長野県教育委員会

主 管 第63回関東甲信越静公民館研究大会長野大会実行委員会
後 援 文部科学省 長野県 長野市長会 長野県町村会 長野市
(予 定) 長野市教育委員会 長野県市町村教育委員会連絡協議会 長野県社会教育委員連絡協議会
信濃教育会 信濃毎日新聞社 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州
abn長野朝日放送 NHK長野放送局(順不同)

7 参 加 者

公民館職員 公民館運営審議会委員 社会教育委員 教育委員会事務局職員
社会教育関係施設職員 社会教育団体関係者 その他本研究大会への参加希望者

8 日 程

第1日 全体会 9月28日(木)

受付	長野県公民館大会	受付	式典 表彰式	記 念 講 演	文 部 科 学 省 施 策 説 明	閉 会 行 事	分 科 会 打 合 せ	情 報 交 換 会						
10:15	11:20	11:50	12:00	13:00	14:00	14:15	15:30	15:45	16:15	16:45	17:00	17:40	18:00	20:00

記念講演 講師



小平 奈緒 さん

社会医療法人財団 相澤 病院

長野県茅野市出身。豊平小学校、茅野北部中学校、伊那西高校、信州大学教育学部卒。

中学2年時に全日本ジュニア選手権スプリント総合部門で優勝し、“スーパー中学生”と呼ばれる。高校3年時はインターハイ500m・1000mの2冠。

大学時代は日本学生氷上選手権大会（通称インカレ）500mで4連覇。大学2年時に全日本距離別選手権の1000mで初優勝しワールドカップデビュー。大学3年時にユニバーシアード1500mで優勝。卒業後は相澤病院の支援を受け、信州大学教育学部を拠点に活動を継続。バンクーバー・ソチオリンピックを経験したのち、2014-2016に2年間練習拠点をオランダに移して研鑽を積み、帰国後のシーズンから国内外の500mで2年半負けなしの37連勝を記録（ワールドカップは20連勝）。その間、平昌オリンピックでのスピードスケート日本女子初の金メダル、世界スプリント総合優勝2回などに輝いた。

2022年10月競技生活のラストレースとなった全日本距離別選手権女子500mを8連覇13回目の優勝で有終の美を飾った。11月より母校信州大学の特任教授に就任。現在は、講演やイベントに充実した毎日を送っている。

第2日 分科会 9月29日（金）

受付	分科会（発表・討議・まとめ）	閉会
9:10	9:30	12:10 12:20

9 分科会

分科会名	討議の柱	発表都県	発表テーマ	会場
1	地域防災① 関係部局とともに、危機管理体制を築くうえで公民館の果たすべき役割について考えます。	茨城県 結城市立公民館 埼玉県 行田市長野公民館	市指定避難所のうち、感染症等体調不良者の避難所 災害時における避難場所としての公民館の課題と対策について一考	長野市生涯学習センター
2	地域防災② 関係部局とともに、危機管理体制を築くうえで公民館の果たすべき役割について考えます。	群馬県 前橋市元総社公民館 新潟県 糸魚川市田沢地区公民館	地域・学校・市の連携を強化し、みんなで災害に強いまちづくりを！ 子どもたちと一緒に考える地域防災	長野市生涯学習センター
3	公民館のあり方 公民館の5年後、10年後のあり方を通して公民館の持続可能性について考えます。	神奈川県 平塚市中央公民館 長野県 富士見町公民館	ESDの視点で企画と評価。未来を魅せる公民館事業 長野県南信地区公民館の5年後・10年後	長野市生涯学習センター
4	これからの情報発信 地域で身近な公民館が、地域住民とつながるために必要な情報発信について考えます。	千葉県 船橋市東部公民館 長野県 塩尻市塩尻東公民館	ニューウェーブ～公民館の新時代を目指して～ 新たな選択肢が、「これからの情報発信」だ	長野県農協ビル
5	多様な連携・協働① 人々が豊かに暮らせる地域づくりのための多様な主体との連携・協働について考えます。	山梨県 上野原市公民館連絡協議会 長野県 佐久市中央公民館	地域と連携した公民館活動を目指して 「公民館でつながる」6つの取組み	長野県農協ビル
6	多様な連携・協働② 人々が豊かに暮らせる地域づくりのための多様な主体との連携・協働について考えます。	栃木県 栃木市栃木公民館 東京都 小金井市公民館	地域を“つなぐ”公民館を目指して～栃木市公民館の取組～ 公民館が多様な主体との連携・協働の中核となる地域人材とつながるヒント	長野県農協ビル
7	地域コミュニティの復興 災害からの地域コミュニティの復興に果たすべき公民館の役割について考えます。	長野県 長野市長沼交流センター 家庭・地域学びの課	令和元年の長野市長沼地区における被災後の社会教育活動について	長野市東部文化ホール